

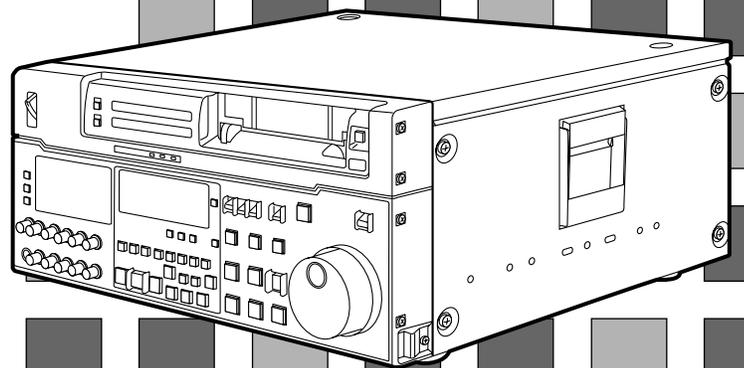
Panasonic

DVCPRO 50

Digital Video Cassette Recorder

AJ-D960

取扱説明書



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

上手に使うって上手に節電——
ご使用後は、忘れずに電源スイッチを切ってください。

目次

安全上のご注意	4
概要・特長	8
各部の名称と機能	10
•フロントパネル	10
•コネクタ部	20
接続	23
•1台での接続	23
•2台での接続例	24
•編集コントローラとの接続例	25
•ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整のための接続	26
テープ	27
電源投入/カセット挿入	28
STOP/STANDBYモード	29
記録	30
再生	31
ジョグ/シャトル	32
手動編集	33
プリロール	34
自動編集	35
•スイッチの設定と調整	36
•編集モードの選択	37
•編集点の登録	38
•編集点の確認	39
•編集点の訂正	40
•プレビュー	41
•自動編集の実行	42
•レビュー	43
オーディオスプリット編集	44
ヴォイスオーバー(内蔵)	46
オーディオクロスチャンネル編集(内蔵)	49
MULTI CUE(マルチキュー)	51

保証書別添付

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

著作権(録画テープの取扱い)

あなたがビデオで録画したテープは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整	56
セットアップ(初期設定)	57
セットアップメニュー	58
•SYSTEM	62
•USER	64
•BASIC	64
•OPERATION	67
•INTERFACE	71
•EDIT	73
•TAPE PROTECT	77
•TIME CODE	78
•VIDEO	80
•AUDIO	82
•V BLANK	86
•MENU	92
タイムコード/ユーザービットについて	93
内部/外部タイムコードの記録	94
タイムコード/ユーザービットの再生	95
スーパーインポーズ画面	96
出力映像信号とサーボのリファレンス	97
音声Vフェード機能	99
音声の記録チャンネルとモニター出力の選択	100
回路板	101
ラックマウント	102
ビデオヘッドクリーニング	103
結露	103
エラーメッセージ	104
エラーメッセージ(AUTO OFFランプ点灯)	107
RS-232Cインターフェース	109
SDTIインターフェース	116
コネクタの信号	119
定格	121

本機をご使用になる前に、付属品が入っていることをお確かめください。

電源コード 1pc.

オプション

- ラックマウントアダプタ AJ-MA75P
- アナログビデオ入力ボード AJ-YA955、AJ-YA956、AJ-YA957、AJ-YA958
- SDTIインターフェースボード AJ-YAC960P
- オーディオメモリーユニット AJ-YA752

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

不安定な場所に置かない！



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

電源コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

コードに重いものを載せない！



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。
コードが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

<p>水場に設置しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない！</p> <p> 感電の原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない！</p> <p> たこ足配線などで定格を越えると、発熱による火災の原因となります。</p> <p>禁止</p>
<p>付属品・オプションは、指定の製品を使用する！</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>	<p>本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！</p> <p> 本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>本機を改造しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>分解禁止</p>	<p>機器が濡れたり、水が入らないようにする！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない！ 傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！</p>
<p>水場で使用しない！</p> <p> 火災・感電の原因となります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>表示された電源電圧以外は、使用しない！</p> <p> 火災・感電のおそれがあります。</p> <p>禁止</p>	<p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

指定のカバー以外は、
外さない！



分解禁止

感電の原因となり
ます。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

電源プラグは、根元ま
で確実に差し込む！



感電の原因になりま
す。

本機の裏ぶた・キャビ
ネット・カバーなどを
外さない！



分解禁止

感電の原因となりま
す。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

本機を落としたり、破
損した場合は、電源ス
イッチを切り、電源プ
ラグを抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用する
と、火災・感電を
起こすおそれがあ
ります。

本機の内部に水などが
入った場合は、電源ス
イッチを切り、電源プ
ラグを抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用する
と、火災・感電を起
こすおそれがありま
す。

本機の内部に異物が入
った場合は、電源スイ
ッチを切り、電源プラ
グを抜く！



電源プラグ
を抜く

そのまま使用する
と、火災・感電を起
こすおそれがありま
す。

煙が出ている、変なに
おいや音がするなどの
異常状態の場合は、電
源スイッチを切り、電
源プラグを抜く！



電源プラグ
を抜く

火災・感電の原因と
なります。

お買い上げの販売店
に、修理をご依頼く
ださい。

電源コードが傷んだ場
合は、交換を依頼す
る！



そのまま使用する
と、火災・感電を
起こすおそれがあ
ります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

電源プラグのほこりなど
は、定期的にとる！



プラグにほこりがた
まると、湿気等で絶
縁不良となり、火災
の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない！</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気が当たる場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い場所に置かない！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>持ち上げや移動には、十分注意する！</p> <p> 落としたりすると、けがの原因となります。</p> <p>●10kg以上の機器は、2人以上で持ち上げるなど、慎重に取り扱ってください。</p>	<p>プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止 ●必ずプラグを持って抜いてください。</p>	<p>本機の通風孔をふさがない！</p> <p> 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p> <p>禁止 次のような使い方は、しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">●本機を風通しの悪い所に押し込む。●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
<p>カセットテープ挿入口に、手をはさまれないように注意する！</p> <p> けがの原因となります。</p> <p>指に注意</p>	<p>本機の上に重い物を置かない！</p> <p> バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	
<p>本機に乗らない！</p> <p> 倒れたり、壊れたりし、けがの原因となります。</p> <p>禁止</p>	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す！</p> <p> コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く！</p> <p> 火災の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>
<p>お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！</p> <p> 火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま、で使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。</p>	<p>外装部品のお手入れの際、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しない！</p> <p> デッキ内部の電気部品に接触すると火災や感電の原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>

概 要

本機は、1/4インチ幅の小型カセットテープを使用し、映像記録レート50Mbpsの高画質の記録・再生・編集ができ、既存のDVCPRO(25Mbps)の記録・再生・編集も可能なマルチパスのスタジオデジタルVTRです。ワールドワイド対応のスタジオVTRとして、525/625スイッチャブル機能になっています。

デジタル圧縮技術を採用した高画質VTRで、ダビング時の画質・音声の劣化が大幅に少なくなっています。

また、本機は4Uサイズの小型・軽量設計になっていますので持ち運びにも負担が軽く、19インチのラックに設置する時にも楽に行えます。

機器のセットアップのための各設定はモニターテレビの画面メニューを見ながら対話方式で行い、編集機能として、アSEMBル・インサートの両編集が行えます。

特長

小型・軽量

本機は4UサイズのデジタルVTRです。ラックマウントアダプタ(オプション、AJ-MA75P)を使用すれば19インチラックにも手軽に取りつけることができます。

最大92分記録

使用するカセットテープは、Mカセット(最大33分用)とLカセット(最大92分用)です。テープ幅は1/4インチのコンパクト設計になっています。

高画質

既存DVCPROの2倍の記録レートを持った4:2:2コンポーネント信号記録により高画質を実現しています。

525i/625iスイッチャブル

映像入力信号(525i/625i)に合わせたスイッチ切り換えを行うことにより、それぞれの信号を記録・再生することができます。

SDIインターフェース

4:2:2シリアルデジタルインターフェースを標準装備しています。

DVCPROとの互換

既存のDVCPROの記録・再生・編集ができます。

民生機器との互換

民生機器のデジタルカメラで撮影した民生用カセットテープはカセットアダプタ(オプション、AJ-CS750P)を使用すると、本機で再生できます。

< ノート >

- 民生のLPモードで記録されたテープの再生はできません。

デジタルスローモーション/ダイヤルジョグ

パナソニック独自のデジタルスロー技術により、以下の速度のスロー再生画像は、クリアな再生が行えます。

DVCPRO50(50Mbps) : -1 ~ +2倍速

DVCPRO(25Mbps) : -1 ~ +2倍速

DV : -1 ~ +1倍速

DVCAM : -1 ~ +1倍速

特長（つづき）

ダイヤルシャトル

シャトル操作は、正・逆方向に最大32倍速までカラー画像で再生が可能です。

タイムコード

本機はTCG(タイムコードジェネレータ)/TCR(タイムコードリーダ)を内蔵しています。タイムコードは内部タイムコードの他に、外部タイムコード入力または入力信号のVITCを、LTCとして本機に記録することが可能です。

多機能なインターフェース

- シリアルデジタル入出力

コンポーネントシリアルインターフェースを標準装備しており、シリアルデジタルで、コンポーネント信号でのインターフェースが行えます。(SMPTE 259M-C / 272M-A)

- アナログビデオ入出力

コンポジット・コンポーネント出力を標準装備し、アナログビデオ入力ボード(オプション)を使用しますとコンポーネント(Y、PB、PR)とコンポジットの入力インターフェースが行えます。

- AES/EBUオーディオ入出力

デジタルオーディオ入出力端子を装備しています。

- SDTI入出力

SDTIボード(オプション)を使用しますと、圧縮されたコンポーネント信号のままのインターフェースが行えます。(SMPTE 305M / 321M)

- 9ピンRS-422A/RS-232Cリモート

標準的な9ピンシリアルリモート(RS-422A)の他、RS-232Cおよび25ピンパラレルのリモート端子を装備しています。

RS-422Aは本機と別のVTRをループ接続すれば並列運転ができます。

4チャンネルの高音質デジタルオーディオ

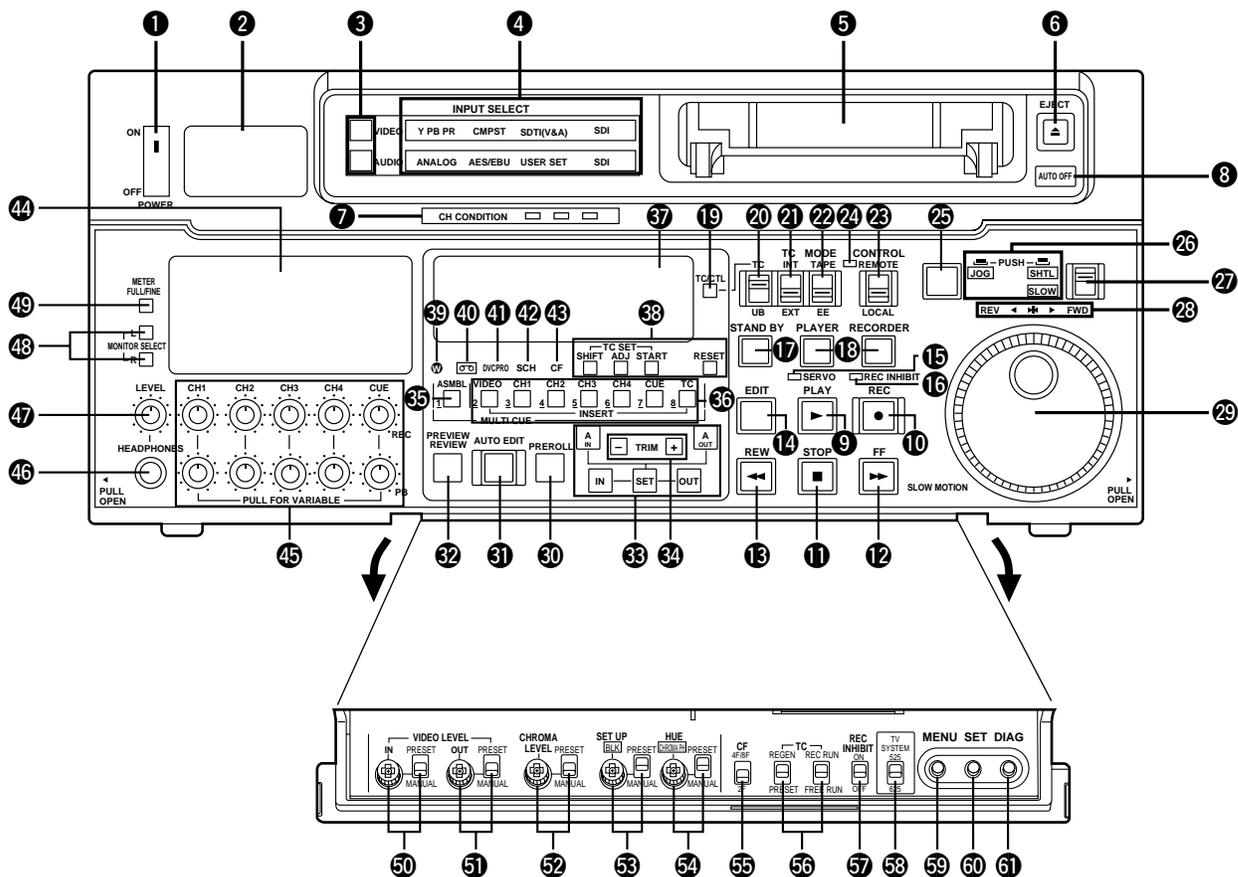
4チャンネルのPCMオーディオを持ち、4チャンネルは独立して編集ができるほか、チャンネルミックスが可能です。アナログキュートラックも1チャンネル装備しています。

メニュー方式のセットアップ

本機を操作する前に行うセットアップの各設定は、本機のディスプレイまたはモニターテレビのセットアップメニューを見ながら行います。

各部の名称と機能

フロントパネル



フロントパネル上部

- ① POWER スイッチ
- ② TVシステム/フォーマット表示部
 選択されたTVシステムとフォーマットが表示されます。
 < 525/625 >
 525 : 525インターレースのTVシステムが選択されると点灯します。
 625 : 625インターレースのTVシステムが選択されると点灯します。
 < 25Mbps/50Mbps >
 25Mbps : DVCPRQ (25Mbps) の記録および再生モードを示します。またDVおよびDVCAMの再生モードも示します。
 DVCPRQ (25Mbps) の記録および再生モードの場合は、フロントパネル中央のDVCPRQ (25Mbps) カセット表示ランプ⑪も合わせて点灯します。
 50Mbps : DVCPRQ50 (50Mbps) の記録および再生モードを示します。
- ③ INPUT SELECTスイッチ
 ビデオとオーディオの入力信号を切替えます。
 < ビデオ >
 VIDEOボタンを押すごとに、入力ビデオ信号が、Y/P_B/P_R、COMPOSITE、SDT(V&A)、SDI、Y/P_B/P_R、・・・の順に切替わり、選択されます。SDT(V&A) を選択するとビデオとオーディオの両方がSDTIからの入力になります。

フロントパネル上部

< オーディオ >

AUDIOボタンを押すごとに、入力オーディオ信号が、ANALOG、AES/EBU、USER SET、SDI、ANALOG、・・・の順に切替わり、選択されます。USER SETは、PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4に記録する入力信号を個別に記録する機能で、セットアップメニューと併用して使用します。ただし、ビデオ入力でSDTIが選択された時は、オーディオ入力も強制SDTI入力になります。例えば、INPUT SELECTでUSER SETを選択し、セットアップメニューNo.715でCH1=ANALOG、No.716でCH2=DIGITALさらにNo.719でCH2=AES、No.717でCH3=DIGITALさらにNo.720でCH3=SIF、No.718でCH4=ANALOGを選択すれば、テープ上に記録されるPCMオーディオ信号CH1にはアナログ入力信号が、CH2にはAES/EBUデジタル信号、CH3にはSDI入力のデジタル信号が、CH4にはアナログ入力信号が記録されます。

< ノート >

INPUT SELECTスイッチでのビデオまたはオーディオ入力切替モードをセットアップメニューNo.112(V IN SEL INH)またはNo.113(A IN SEL INH)により選択できます。

④ INPUT SELECT表示部

選択された入力信号に対応する文字部が点灯します。

アナログオーディオを除き、選択された入力信号がない場合は点滅してお知らせします。

< ビデオ >

Y PB PR : アナログ・コンポーネント・ビデオ信号(オプション)

CMPST : アナログ・コンポジット・ビデオ信号(オプション)

SDTI (V&A) : シリアル・デジタル・圧縮ビデオ/オーディオ信号(オプション)

SDI : シリアル・デジタル・ビデオ信号(SMPTE 259M-C)

(セットアップメニューNo.600(INT SG)で内蔵の信号発生を選択した場合は表示部がすべて点灯します。)

< オーディオ >

ANALOG : アナログ・オーディオ信号

AES/EBU : デジタル・オーディオ信号

USER SET : 記録オーディオ信号の選択

SDI : シリアル・デジタル・オーディオ信号(SMPTE 259M-C / 272M-A)

(セットアップメニューNo.700(INT SG)で内蔵の信号発生を選択した場合は表示部がすべて点灯します。)

⑤ カセット挿入口

⑥ EJECT ボタン

押すとテープがアンロードし、数秒後自動的にカセットを排出します。

カウンタ表示部がCTL表示の時は、表示がリセットされます。

EJECTボタン操作の許可/禁止をセットアップメニューNo.115(EJECT SW INH)により選択できます。

⑦ チャンネルコンディション・ランプ

エラーレートの状態に応じて点灯します。(緑 アンバー 赤)

緑 : ビデオ/オーディオの再生信号のエラーレートが、共に良好な時に点灯します。

アンバー : ビデオ/オーディオの再生信号のいずれかのエラーレートが悪化した時に点灯します。
このランプが点灯しても、再生画は正常です。

赤 : ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修整/補間がかかった時に点灯します。

⑧ AUTO OFFランプ

本機の動作に異常が発生した時に点灯します。

各部の名称と機能

フロントパネル中央

- ⑨ PLAYボタン
押すと再生が始まります。
RECボタンと同時に押すと記録が、PLAY中にEDITボタンと同時に押すと手動編集が始まります。ただし、サーボがロックしていない時は手動編集には入りません。
手動編集中にPLAYボタンだけを押し、編集はカットアウトされ、再生モードになります。
- ⑩ RECボタン
このボタンとPLAYボタンを同時に押すと、記録が始まります。
再生、サーチ、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押している間、E-Eモードの画像と音声信号をモニターすることができます。
ストップモード中にこのボタンを押すと、E-Eモードの画像と音声をモニターできます。
STOPボタンを押すと、元の画像・音声にもどります。
- ⑪ STOPボタン
押すとテープ走行が停止し、TAPE/EE切換スイッチが「TAPE」の時には静止画をモニターすることができます。
ストップモード中でもドラムは回転し、テープはドラムに密着しています。
ストップモードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモード、またはSTEP FWDモードになります。(セットアップメニューNo.400～403で設定)
本機にカセットを入れた直後は、ストップモードになります。
- ⑫ FFボタン*1
押すと、テープを早送りします。
- ⑬ REWボタン*1
押すと、テープを巻き戻します。
- ⑭ EDITボタン
手動編集をする時、PLAY中にこのボタンとPLAYボタンとを同時に押します。
再生、サーチ*2、早送り、巻き戻し中にこのボタンを押すと、押している間、ASMBLボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。
ストップモード中にこのボタンを押すと、ASMBLボタンまたはINSERTボタンで選んだモードの入力信号をE-Eモードでモニターすることができます。
STOPボタンを押すと、元の画像・音声にもどります。
- ⑮ SERVOランプ
ドラムサーボおよびキャプスタンサーボがロックすると点灯します。
- ⑯ REC INHIBITランプ
フロント下部のREC INHIBITスイッチが「ON」か、カセットが誤消去防止状態になっている時に点灯します。
この時には、記録および編集はできません。
カセットテープでの誤消去防止用ツメで記録禁止になっている時にREC INHIBITランプを点灯または点滅させるかをセットアップメニューNo.114(REC INH LAMP)により選択できます。

*1 早送り、巻き戻しの速度は、セットアップメニューNo.102(FF. REW MAX)で選択ができます。

*2 サーチモードでのオーディオの再生音は保障できません。

フロントパネル中央

⑰ STAND BYボタン

通常のSTOP時と同じテープテンションがかかり、ヘッドドラムが回転中はボタンが点灯してスタンバイONモードであることを示します。

スタンバイOFFモードの時は、ハーフロード・モードになります。ストップ・モード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフロードモードになります。この時、ボタンは消灯します。

また、ストップ・モードが一定時間以上経過すると、テープ保護のために自動的にスタンバイOFFモードになります。

スタンバイOFFモードの時にこのボタンを押すか、またはSTOPボタンを押すと、スタンバイONモードになります。

また、STOPボタン以外のボタンを押すと、押したボタンのモードになります。

スタンバイOFFモードへの移行時間はオンスクリーン上で設定できます。

⑱ PLAYER/RECORDERボタン

本機とRS-422Aシリアルインターフェースのリモコン端子(9ピン)を装備したVTRを使って編集する時、本機をレコーダとして使う場合に操作します。本機を単体で使用する時はどちらのボタンも機能しません。

PLAYERボタン : 押すとランプが点灯し、本機に接続したプレーヤをリモートコントロールするようになります。本機の編集、テープ走行系のボタンはプレーヤに対して働きます。

RECORDER ボタン : 押すとランプが点灯し、編集、テープ走行系のボタンはレコーダ(本機)に対して働くようになります。

また、セットアップメニューNo.200(PARA RUN)で「ENA」を選択した状態で、PLAYERボタンまたはRECORDERボタンを押すことにより、両方のランプが点灯し、本機がパララン(パラレルラン)操作時のマスター機となります。[ただし、本設定時にはREMOTE端子(9ピン)からの外部コントロールはできなくなります。]

⑲ TC/CTLスイッチ

このスイッチを押すことにより、カウンタ表示部の表示がTC CTL TC・・・と変化します。また、TC選択時には、TC/UBスイッチの選択に応じて、TCもしくはUBの値を表示します。

⑳ TC/UBスイッチ

TC/CTLスイッチがTCの時に、カウンタ表示部にTCの値を表示するか、UBの値を表示するかを選択スイッチです。

㉑ INT/EXTスイッチ

INT : 内蔵タイムコード・ジェネレータを使用します。

EXT : タイムコード入力端子もしくは映像信号のVITCより入力する外部タイムコードを使用します。選択はセットアップメニューNo.505(EXT TC SEL)で設定します。

㉒ TAPE/EEスイッチ

< STOP時 >

TAPE : テープから再生される信号を出力します。

EE : INPUT SELECTスイッチで選択された入力信号を出力します。

< 記録/編集*時 >

TAPE : 同時再生信号を出力します。

EE : INPUT SELECTスイッチで選択された入力信号を出力します。

*セットアップメニューNo.310(CONFI EDIT)の設定が必要です。

各部の名称と機能

フロントパネル中央

- ⑳ REMOTE/LOCALスイッチ
REMOTE、RS-232C、パラレルの各端子を使って、外部から本機をコントロールする時に切換えます。
REMOTE：9ピンのREMOTEもしくはRS-232C、パラレルリモート端子を使って接続した機器で本機をコントロールする時、この位置にします。
LOCAL：本機の操作パネルで本機をコントロールする時にこの位置にします。
この位置においてPARALLEL REMOTE端子を使って接続した機器で本機をコントロールする時はセットアップメニューNo.211(LOCAL 25P)により選択できます。
- ㉑ REMOTEランプ
REMOTE/LOCALスイッチで、REMOTE側を選択した時に点灯します。
- ㉒ サーチボタン
押すとサーチモードになります。
サーチダイヤルをシャトルモードにして任意の位置に回しておき、このボタンを押すと、サーチダイヤルで設定した速度の再生が始まります。
- ㉓ JOG/SHTL/SLOWランプ
サーチダイヤルとSHTL/SLOWスイッチの現在の状態を表示します。
JOG(ジョグ)：JOGモード時に点灯します。
SHTL(シャトル)：SHTLモード時に点灯します。
SLOW(スロー)：VARモード時に点灯します。
- ㉔ SHTL/SLOW スイッチ
サーチダイヤルをSHTL用、もしくはVAR用として用いる時の選択スイッチです。
- ㉕ REV/STILL/FWDランプ
サーチダイヤルの動作に応じて点灯します。
REV：ダイヤルを左に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがREV方向に走行します。
STILL：JOGモード時には、ダイヤルの回転が停止した時に点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープ走行も停止します。
SHTLモード時には、ダイヤルがスチル位置にある時に点灯します。
FWD：ダイヤルを右に回すと点灯し、サーチボタンが点灯している時は、テープがFWD方向に走行します。
- ㉖ サーチダイヤル
編集点を探すためのダイヤルです。
ダイヤルは一度押すごとにシャトルモードとジョグモードが交互に切替わり、JOG/SHTL/SLOWランプのいずれかが点灯します。
POWER ON時は、一度ダイヤルがSTILL位置に戻らないと動作しません。
SHTLモード：SHTL/SLOWスイッチがSHTLの時、ダイヤルを回し、任意の位置で止め(シャトル)ると、その回転角度位置に対応した速度で再生できます。中央位置で静止画になります。
SLOWモード：SHTL/SLOWスイッチがSLOWの時には、ダイヤルを左一杯に回すと-4.1倍速、中央位置で静止画、右一杯にまわすと+4.1倍速になります。SLOWの速度はセットアップメニューNo.320(VAR FWD MAX)、No.321(VAR REV MAX)で選択できます。

フロントパネル中央

JOGモード : ダイヤルにクリックがなくなり、ダイヤルの回転速度に応じた速度*1で再生(ジョグ) します。

*1 各フォーマットに応じた速度

DVCPRO50(50Mbps) : - 1 ~ +2倍速

DVCPRO(25Mbps) : - 1 ~ +2倍速

DV : - 1 ~ +1倍速

DVCAM : - 1 ~ +1倍速

30 PREROLL ボタン

送出や手動編集の頭出しに使用します。

押すとテープがプリロール点まで走行して止まります。

プリロール時間は、セットアップメニューNo.000(P-ROLL TIME)で設定できます。

IN(A IN)またはOUT(A OUT)ボタンを押しながらこのボタンを押すと、その登録点にキューアップすることができます。

IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動登録します。[ただしセットアップメニューNo.313(AUTO ENTRY)を「ENA」にした場合]

31 AUTO EDIT ボタン

編集点を登録した後にこのボタンを押すと、自動編集を実行します。

IN点が登録されていない時に押すと、押した点をIN点として自動編集を実行します。

32 PREVIEW/REVIEWボタン

PREVIEW : 編集点を登録した後にこのボタンを押すとテープが走行し、編集は実行せずにプレビューができます。

IN点が登録されていない時にこのボタンを押すと、押した点をIN点として登録し、プレビューを実行します。

REVIEW : 1区間の編集実行後にこのボタンを押すと、今編集した区間を再生し、レコーダ側のモニターで見ることができます。

33 IN(A IN)/SET/OUT(A OUT)ボタン

IN(A IN)/OUT(A OUT)ボタンを押しながらSETボタンを押すと、IN(A IN)/OUT(A OUT)点を登録します。

A IN/A OUTは、オーディオスプリット編集を行う時、ビデオと異なるオーディオのIN/OUT点を登録するために使用します。

IN(A IN)/OUT(A OUT)点が登録されている時には、登録されているIN(A IN)ボタン、もしくはOUT(A OUT)ボタンが点灯します。

登録した後にこれらのボタンを押すと、IN(A IN)/OUT(A OUT)点の値がカウンタ表示部に表示されます。

IN(A IN)/OUT(A OUT)ボタンとRESETボタンを同時に押すと、IN(A IN)/OUT(A OUT)点の登録が削除できます。

34 TRIMボタン

IN(A IN)/OUT(A OUT)点の微修正用のボタンです。

IN(A IN)ボタンまたはOUT(A OUT)ボタンを押しながら、+または-ボタンを押すと、登録した編集点を1フレーム単位で修正できます。+ボタンを押すと1フレーム進み、-ボタンを押すと1フレーム戻ります。

35 ASMBLボタン

アセンブル編集をする時に押します。

ボタンは自照式で、一度押すとON(点灯)、もう一度押すとOFF(消灯)になります。

各部の名称と機能

フロントパネル中央

- ③⑥ INSERTボタン
インサート編集をする時、7つのボタンのうち希望のボタンを押して編集する入力信号を選択します。ボタンは自照式で、一度押すとON(点灯)、もう一度押すとOFF(消灯)になります。
- ③⑦ カウンタ表示部
TC、CTLのカウント値や、オンスクリーン情報等の各種メッセージを表示します。
- ③⑧ タイムコードボタン
TC/UBの値を設定する時に使用します。
SHIFT : TCやUBの値を設定する時には、まずこのボタンを押してデータの歩進を止めます。表示が点滅している桁を変更します。
一度押すたびに表示の点滅が一桁ずつ右に移動し、一番右桁までいくと一番左の桁までもどります。
押し続けると、次々に移動します。
ADJ : 表示が点滅している桁の数字を変更します。
一度押すたびに数値が1ずつ増加し、押し続けると次々に増加します。
START : SHIFT/ADJで変更されたデータを確定します。
またTC、UBの設定をしていない時に押すと、TCGまたはUBGの設定値を確認できます。
RESET : CTLモード時は、ボタンを押すと表示が「00:00:00:00」になります。
また、CTLモード時には、登録されている編集点は消去されます。
TC/UBモード時は、SHIFTボタンとの同時押しで、ジェネレータをリセットします。
- ③⑨ ワーニングランプ
ワーニング項目がある時に点灯します。
- ④⑩ カセット挿入表示ランプ
本機にカセットが挿入されている時に、このランプが点灯します。
- ④⑪ DVCPRQ(25Mbps)カセット再生表示ランプ
DVCPRQ(25Mbps)で記録されたカセットが再生されている時に点灯します。
- ④⑫ SCH ランプ
出力映像信号の外部同期で選択された信号が外部同期信号(REF VIDEO)またはコンポジット入力信号の場合、外部同期信号またはコンポジット入力信号のSCH位相が一定の範囲内にある時に点灯します。それ以外の場合は消灯します。
- ④⑬ CFランプ
カラーフレーミングがロックしている時に点灯します。
- ④⑭ レベルメーター
PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4と、CUEトラック信号およびビデオ信号*の各レベルを表示します。
オーディオ信号は、記録時およびE-E選択時には入力信号のレベルを、再生時には出力信号の各レベルを表示します。
ビデオ信号は、入力信号レベルのみ表示します。
* CUEトラック信号またはビデオ信号は、セットアップメニューNo.005(METER SELECT)で選択します。

フロントパネル中央

- ④5 オーディオ入出力レベルの調整ボリューム
PCMオーディオ信号のCH1/CH2/CH3/CH4と、CUEトラック信号の各記録および再生レベルを調整するボリュームです。
上段に配置されている各ボリュームが記録レベルの調整用ボリュームです。
下段に配置されている各ボリュームが再生レベルの調整用ボリュームです。
各ボリュームは“PULL FOR VARIABLE”形式で、ボリュームを引き上げた時に初めて調整が可能です。ボリュームを押し下げた時には、各信号レベルがユニティ値(初期値)になります。
- ④6 ヘッドホンジャック
ステレオヘッドホンを接続すると、記録/再生/編集の音声を、ヘッドホンでモニターできます。
- ④7 音量調整ボリューム
ヘッドホンの音量およびモニター出力の音量を調整するボリュームです。
ヘッドホン出力とモニター出力の音量を連動させるか、分離させるかは、セットアップメニューNo.713(MONI OUT)で選択できます。(ただしヘッドホンは常に連動しています。)分離させた時には、モニター出力はユニティ値(初期値)になります。
- ④8 MONITOR SELECTスイッチ
モニターL/Rに出力する音声信号を切換えるためのスイッチです。
「L」ボタンを押すたびに、モニターLに出力する信号をCH1、CH2、CH3、CH4、CUE、CH1、・・・と切換えます。
[セットアップメニューNo.729(MONI MIX L)でCH1+2、CH3+4、CH1+3またはCH2+4を選択した場合は、切換えはできなくなります。]
また、「R」ボタンを押すたびに、モニターRに出力する信号をCH1、CH2、CH3、CH4、CUE、CH1、・・・と切換えます。
[セットアップメニューNo.730(MONI MIX R)でCH1+2、CH3+4、CH1+3またはCH2+4を選択した場合は、切換えはできなくなります。]
今、どの信号を選択しているかの表示は、レベルメーター表示部のL/Rのランプの点灯で示しています。[セットアップメニューNo.721(MONI CH SEL)がAUTOの時は、モニター出力に合わせて表示が切換わります。またモニター出力を自動に切換えるチャンネルをセットアップメニューNo.735(MON AUTO SEL)により選択できます。]
- ④9 METER(FULL/FINE)切換スイッチ
オーディオレベルメーターのスケール表示(目盛)を切換えるボタンです。
FULLモード：標準目盛りになります。(- ~ 0 dBの範囲)
FINEモード：0.5 dBごとのスケールになります。

各部の名称と機能

フロントパネル下部

- ⑤0 VIDEO IN LEVEL調整ボリューム / スイッチ
ビデオ入力レベルの調整ができます。
PRESET : スイッチが「PRESET」の時にはビデオ入力レベルはユニティ値(0dB)になります。
MANUAL : スイッチが「MANUAL」の時にはボリュームでビデオ入力レベルの調整ができます。

- ⑤1 VIDEO OUT LEVEL調整ボリュームとスイッチ
セットアップメニューNo.10(ENCODER SEL)の設定が「LOCAL」の時、ビデオ出力レベルの調整ができます。
スイッチが「PRESET」の時には、ビデオ出力レベルはユニティ値(0dB)になります。
スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでビデオ出力レベルの調整ができます。

- ⑤2 CHROMA LEVEL調整ボリュームとスイッチ
セットアップメニューNo.10(ENCODER SEL)の設定が「LOCAL」の時、クロマレベルの調整ができます。
スイッチが「PRESET」の時には、クロマレベルはユニティ値(0dB)になります。
スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでクロマレベルの調整ができます。

- ⑤3 SET UP調整ボリュームとスイッチ
セットアップメニューNo.10(ENCODER SEL)の設定が「LOCAL」の時、セットアップレベルの調整ができます。
スイッチが「PRESET」の時には、セットアップレベルはユニティ値(0IRE)になります。
スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでセットアップレベルの調整ができます。

- ⑤4 HUE調整ボリュームとスイッチ
セットアップメニューNo.10(ENCODER SEL)の設定が「LOCAL」の時、ヒューの調整ができます。
スイッチが「PRESET」の時には、ヒューはユニティ値(0°)になります。
スイッチが「MANUAL」の時には、ボリュームでヒューの調整ができます。

- ⑤5 CFスイッチ
再生フレーミングのロックを4または8フィールド単位で行うか、2フィールド単位で行うかを切替えます。
4F / 8F : 525モード ; フレーミングのロックを4フィールド単位で行います。
625モード ; フレーミングのロックを4または8フィールド単位で行います。
4または8フィールド単位の切替えはセットアップメニューNo.108(CAP. LOCK)で選択できます。
2F : フレーミングのロックを2フィールド単位で行います。

フロントパネル下部

56 TCジェネレータスイッチ

REGEN : REGEN/PRESETスイッチを「REGEN」にした時は、タイムコードリーダーがテープから読んだタイムコードに内蔵タイムコードジェネレータが同期します。TC/UBのどれをREGENにするかはセットアップメニューNo.503(TCG REGEN)で選択します。

PRESET : REGEN/PRESETスイッチを「PRESET」にした時は、操作パネルまたはリモートコントロールでプリセットが可能になります。

REC RUN : RUN MODEスイッチを「REC」にした時には、記録中だけタイムコードが歩進します。上記のREGEN/PRESETが「REGEN」の時、常時タイムコードは歩進します。

FREE RUN : RUN MODEスイッチを「FREE」にした時は、電源が投入されている間、動作モードに関係なくタイムコードが歩進します。

57 REC INHIBITスイッチ

カセットテープへの記録の禁止/許可を選択します。

ON : カセットテープへの記録を禁止します。

この時、フロントパネル上のREC INHIBITランプが点灯します。

OFF : カセットテープの誤消去防止機構が記録可能の時にカセットテープへの記録が可能です。

58 TV SYSTEM選択スイッチ

このスイッチによりテレビジョンシステムの選択ができます。

このスイッチの設定は再度電源を投入した時に有効になります。

525 : 525インターレース/59.94Hzのテレビジョン方式の選択になります。

625 : 625インターレース/50Hzのテレビジョン方式の選択になります。

記録時は、525i/625i選択に合致した信号を入力してください。

再生時は、525i/625i選択に合致したテープを再生してください。

59 MENUボタン

このスイッチを押すと、モニターテレビにはセットアップメニューを(ただし、VIDEO OUT 3端子またはSERIAL OUT 3端子を使用している時)、本機の表示部にはセットアップメニュー番号を表示します。再度押すと、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

60 SETボタン

このスイッチを押すと、セットアップメニューで設定したデータを確定します。

データ確定後は、セットアップメニュー設定から抜けだし、もとに戻ります。

61 DIAGボタン

このボタンを押すとVTRの情報を表示します。

再度ボタンを押すと元の表示に戻ります。

VTRの情報には「HOURS METER」情報と「WARNING」情報があります。

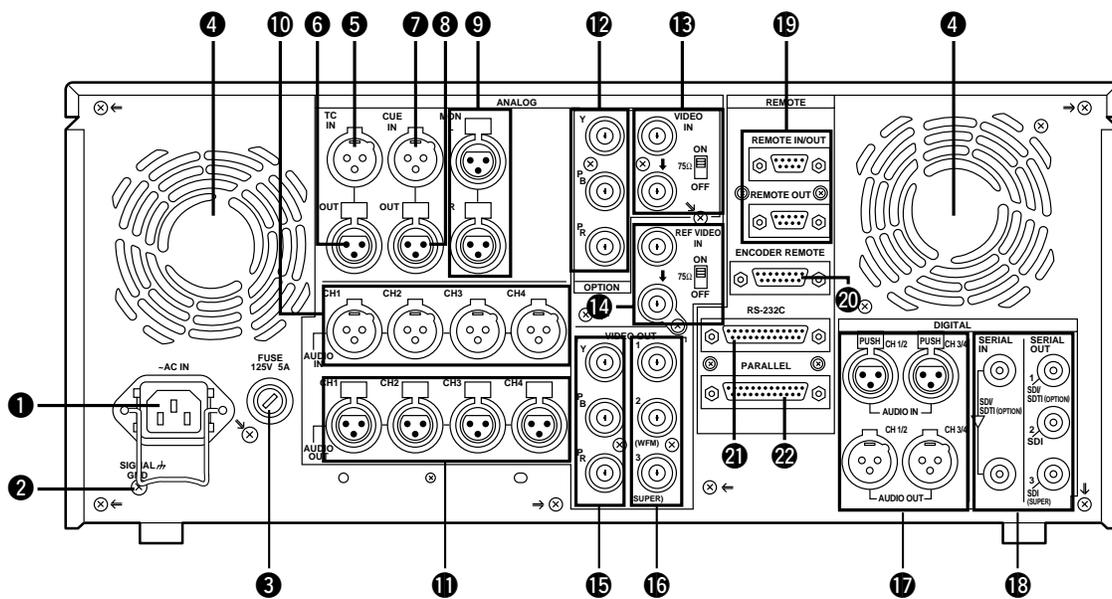
これらの情報の表示切換えは、サーチボタンを押すことによって行います。

「HOURS METER」画面ではデッキのシリアルNo.、通電時間、ドラムの回転時間、テープ走行時間、ローディング回数・電源の入切回数等を表示します。

「WARNING」画面ではワーニングの内容を表示します。

各部の名称と機能

コネクタ部



コネクタ部

- ① AC IN コネクタ
付属の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。
- ② SIGNAL GND 端子
ノイズ軽減のため、接続機器の信号アース端子と接続します。安全アースではありません。
- ③ ヒューズホルダ
5Aのヒューズが入っています。
- ④ ファンモータ
本機の冷却用のファンモータです。
ファンモータがなんらかの異常で停止した時には、**W**ランプが点灯します。
ワーニングの状態でも継続して動作させると、デッキ内部の温度が上昇し、安全温度を越した時にはすべての動作を停止させます。
- ⑤ TIME CODE IN端子
外部タイムコードを、テープ上に記録するための端子です。
- ⑥ TIME CODE OUT端子
再生時は再生タイムコードを出力します。
記録時は、内蔵タイムコード・ジェネレータの発生するタイムコードを出力します。
- ⑦ CUE IN端子
CUEトラックに記録するアナログ信号を入力する端子です。
セットアップメニューNo.705(CUE IN LV)で - 60dB入力モードを選択することにより、マイクからの音声信号の記録もできます。
- ⑧ CUE OUT端子
CUEトラックに記録されたアナログ信号を出力します。
- ⑨ MONITOR OUT端子
再生時には、PCMオーディオ信号CH1/CH2/CH3/CH4、もしくはCUEトラックからの再生信号を出力します。
- ⑩ ANALOG AUDIO IN端子
アナログオーディオの入力端子です。
- ⑪ ANALOG AUDIO OUT端子
アナログ・オーディオ信号を出力します。
- ⑫ ANALOG COMPONENT VIDEO IN端子(オプション)
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を入力します。
- ⑬ ANALOG COMPOSITE VIDEO IN端子と75Ω終端スイッチ(オプション)
アナログ・コンポジット・ビデオ信号を入力します。
2つの入力端子は、ループスルーでつながっています。
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

各部の名称と機能

コネクタ部

- ⑭ REF VIDEO IN端子と75 終端スイッチ
リファレンス・ビデオ信号の入力端子です。
カラーバースト付きの信号を入力してください。
終端する場合には、スイッチを「ON」にします。

- ⑮ ANALOG COMPONENT VIDEO OUT端子
アナログ・コンポーネント・ビデオ信号を出力します。

- ⑯ ANALOG COMPOSITE VIDEO OUT端子
アナログ・コンジット・ビデオ信号を出力します。
VIDEO OUT 3の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。
スーパーのON/OFFはセットアップメニューNo.007(SUPER)で選択します。

- ⑰ DIGITAL AUDIO IN/OUT端子
AES/EBU規格に準拠した、デジタル・オーディオ信号の入出力端子です。

- ⑱ SERIAL DIGITAL COMPONENT AUDIO VIDEO IN/OUT端子
SMPTE259M-C / 272M-A規格に準拠した、デジタル・コンポーネント・オーディオ/ビデオ信号の入出力端子です。
SERIAL OUT 3の端子はスーパーを重畳したビデオ信号の出力ができます。スーパーのON/OFFはセットアップメニューNo.007(SUPER)で選択します。
<ノート>
SDTIボード(オプション)を使用した場合、SERIAL INはSDTI/SDI共用入力になり、SERIAL OUT1はSDTI/SDI共用出力になります。詳しくは、SDTIインターフェースボードAJ-YAC960Pの取扱説明書を参照してください。

- ⑲ リモートコントロール端子
本機を2台使って、あるいは本機と外部コントローラとを接続して、外部から本機を操作することができます。
リモートコントロール端子は、IN/OUT用とOUT用との2つがあります。
IN/OUT : 外部コントローラと接続
 デッキ対デッキ操作時に接続
OUT : パララン操作時に接続
 ループスルーとして使用
<ノート>
本機をレコーダとしてデッキ対デッキ操作を行う時、OUT端子に接続したい場合はセットアップメニューNo.212(MASTER PORT)により選択ができます。

- ⑳ ENCODER REMOTE端子
ビデオ出力信号の各設定を外部から調整する時に、外部のエンコーダリモートコントローラを接続します。

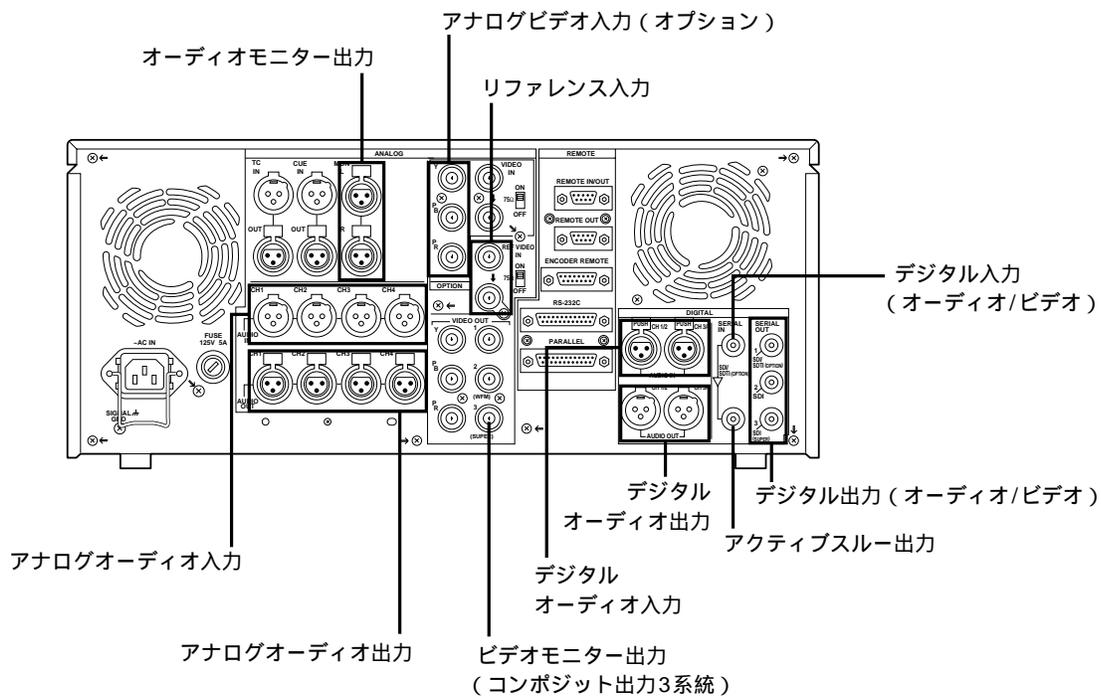
- ㉑ RS-232C端子

- ㉒ PARALLEL REMOTE端子
本機を外部から操作する時に使用します。

接続

1台での接続

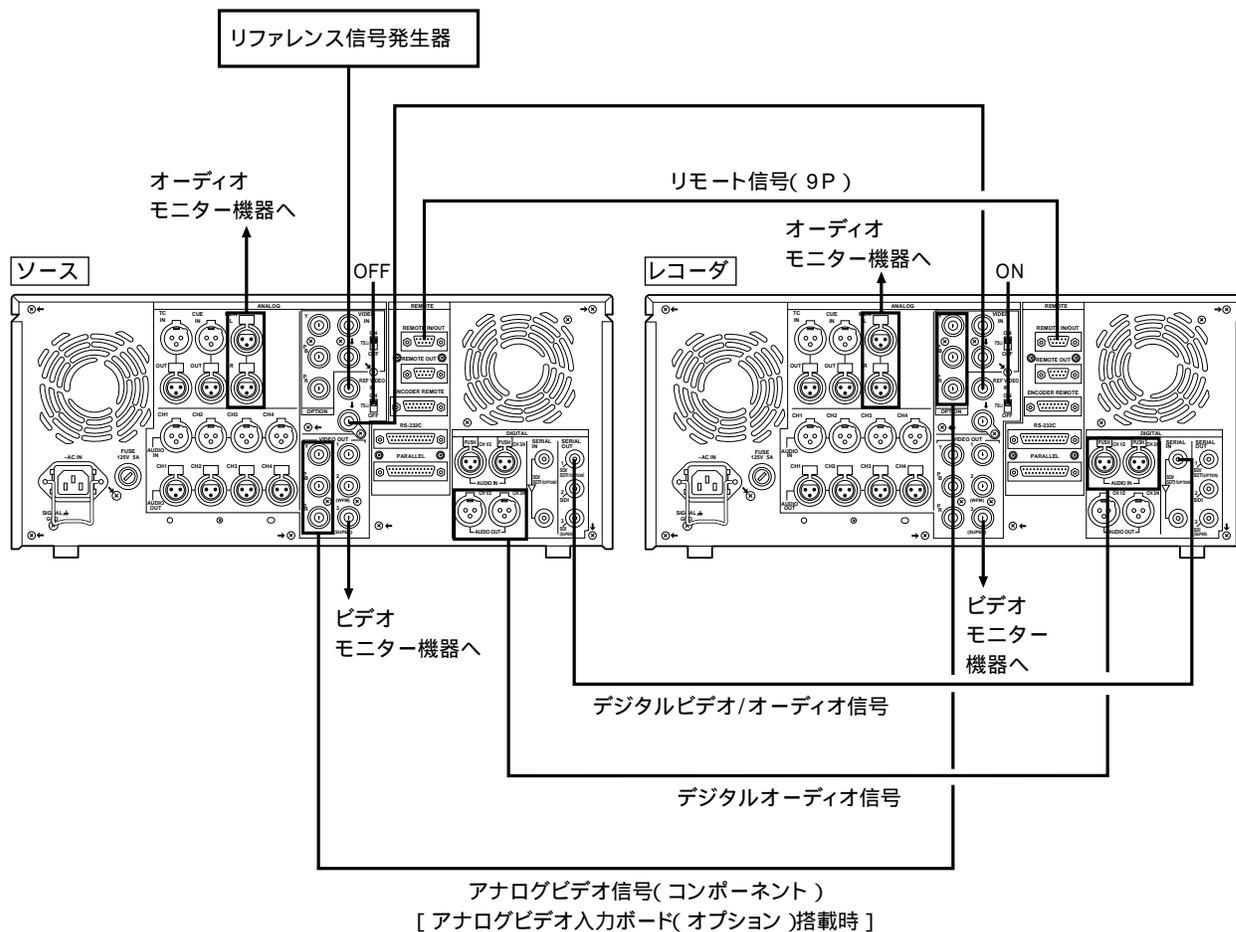
フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。



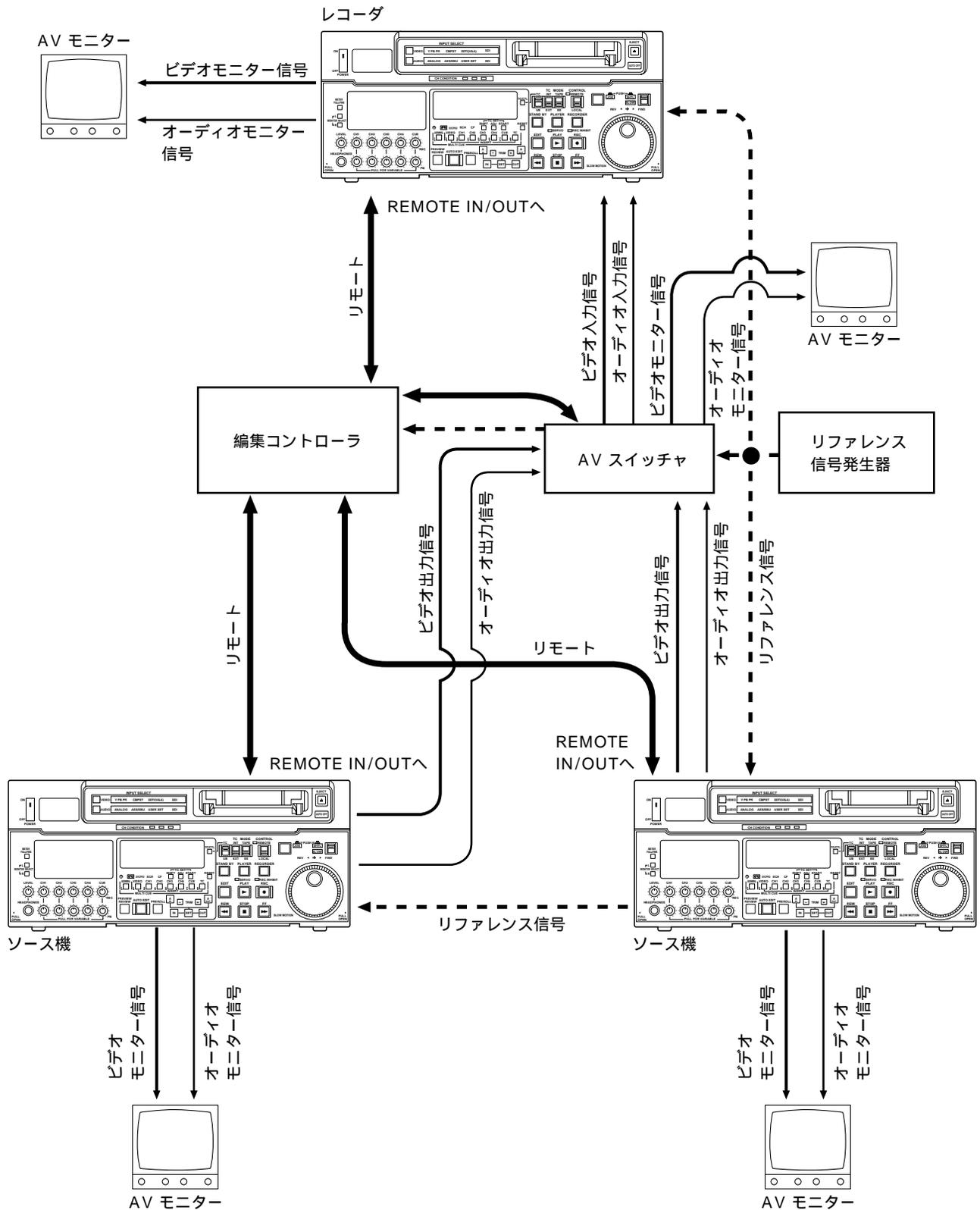
接続

2 台での接続例 (デッキ対デッキ)

- ソース側 • フロントパネルのCONTROLスイッチを「REMOTE」にします。
レコーダ側 • フロントパネルのCONTROLスイッチを「LOCAL」にします。



編集コントローラとの接続例

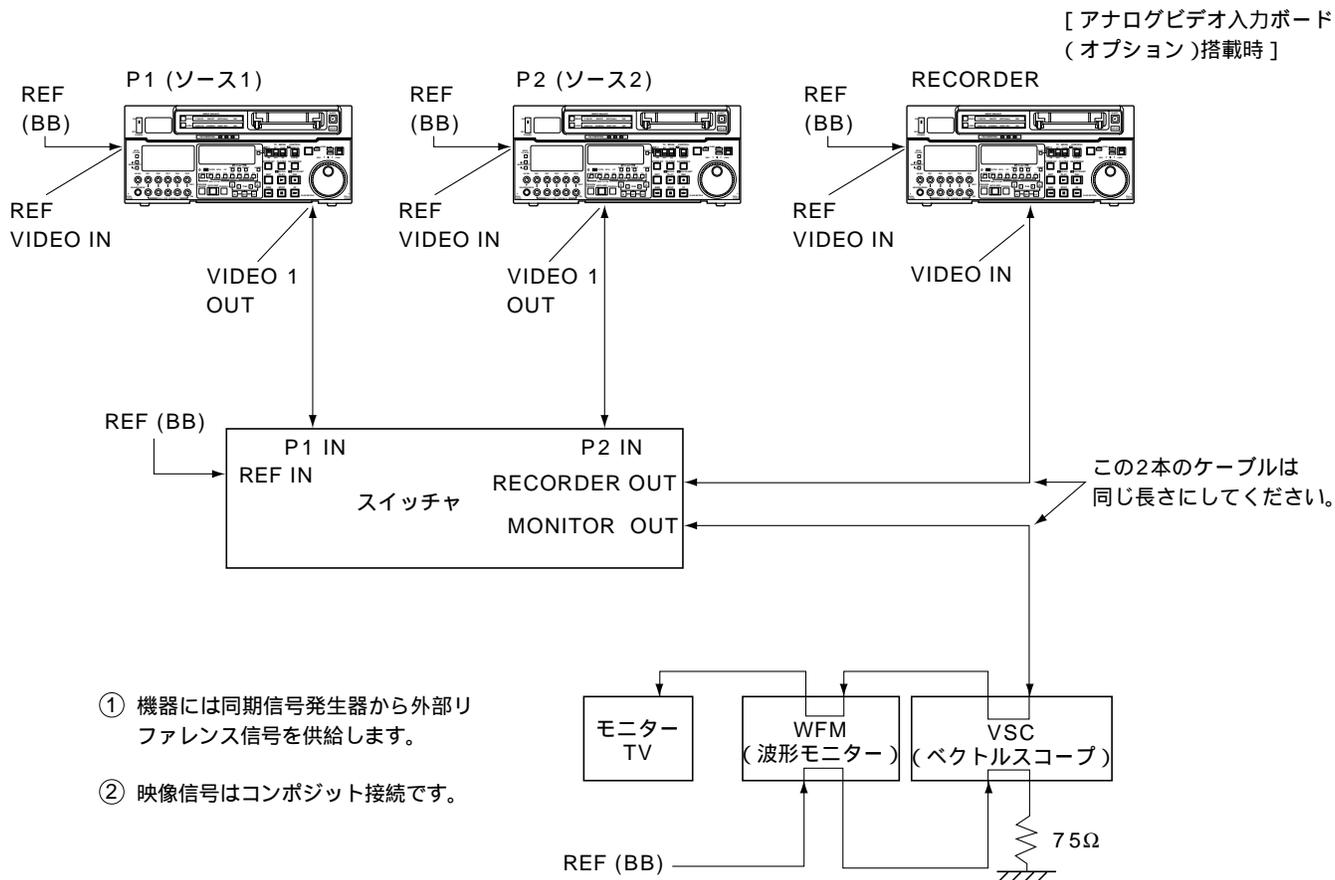


< ノート >

CMX社製の編集コントローラにつきましては、編集コントローラ側の対応が必要です。

接続

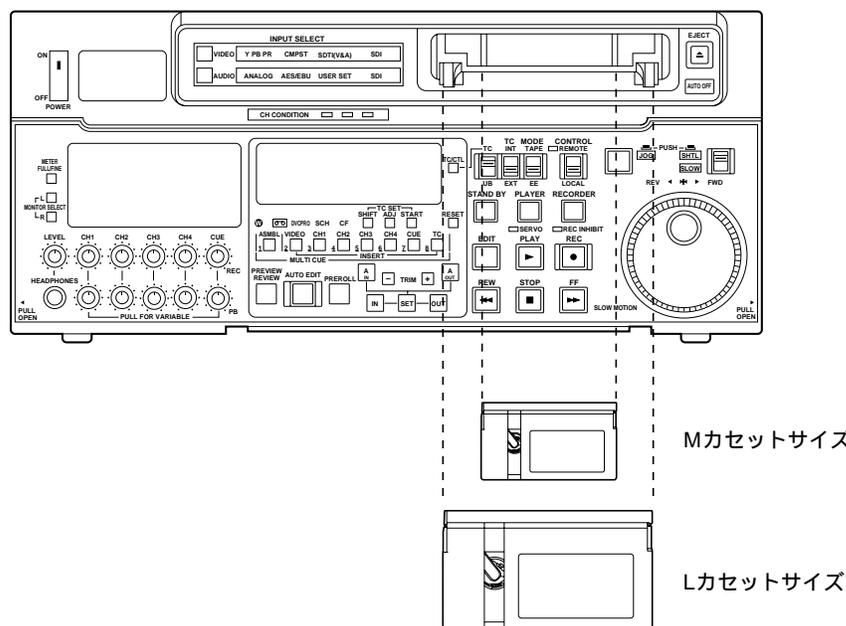
ビデオ出力信号（エンコーダ出力）の調整のための接続



テープ

タイプ	内容	
民生DV/DVCAM用 Sカセット	民生DV/DVCAM用カメラレコーダ専用テープです。 カセットアダプタ(別売品)を使用すれば、再生できます。ただし、民生用長時間カセットテープ(標準モード80分/LPモード120分)は使用できませんのでご注意ください。 なお、民生用DVテープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。「カセットアダプタを使用せずにカセットテープを挿入しますと、故障の原因となりますのでご注意ください。」	
Mカセット	最大33分の記録・再生テープ (AJ-5P23MP、AJ-5P33MP)	
Lカセット	DVCPRO50 (50Mbps)	最大92分の記録・再生テープ (AJ-5P63LP、AJ-5P92LP)
	民生DV/ DVCAM用	民生DV/DVCAM標準カセットの再生テープです。 再生するためには、セットアップメニューNo.014(FORMAT SEL)でDVまたはDVCAMを選択してご使用ください。 なお、民生用DVテープはパナソニックの民生用DVテープのご使用をお勧めいたします。

挿入口のセンターにカセットをあわせ、軽く押ししてください。
カセットテープは自動的にローディングされます。



< ノート >

AJ-P184LPカセットテープにてDVCPRO(25Mbps)で記録されたテープは、DVCPRO(25Mbps)184分対応VTRにてご使用ください。

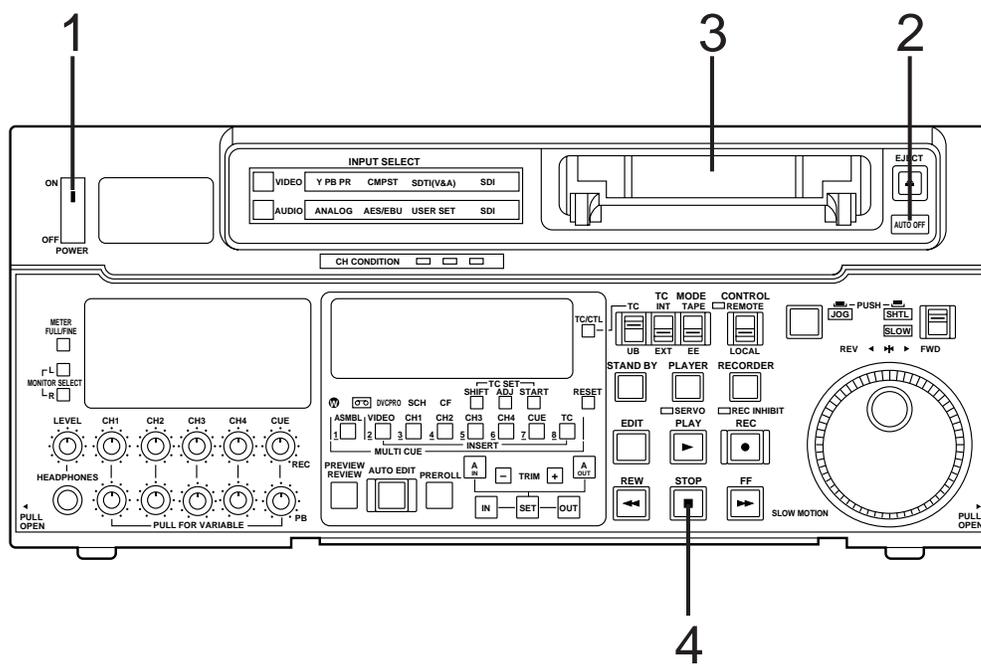
< 民生DV/DVCAMテープの再生時のご注意 >

- 民生のLPモードで記録されたテープは再生できません。
- 民生DV/DVCAMテープに記録された素材を編集する時には、DVCPRO50(50Mbps)、DVCPRO(25Mbps)のテープか、他の放送用VTRに記録してご使用ください。
- 民生DV/DVCAMテープの最大送り速度は32倍速です。
- 民生DV/DVCAMテープご使用時のSTILL TIMERの最大時間は10秒に、またSTILL状態で放置した時の合計時間は1分に設定されています。
- テープ保護の観点から、民生DV/DVCAMテープでの同じ箇所でのキューアップは、できるだけひかえて頂きますようお願いいたします。
- 民生DV/DVCAMテープによるスロー再生においては、まれにノイズが発生する場合があります。

電源投入 / カセット挿入

操作を始める前に、機器の接続が正しいかを確認してください。

- 1 電源を入れます。
- 2 AUTO OFFランプが消灯していることを確認します。
結露など異常があると、AUTO OFFランプが点灯し、すべての操作はできなくなります。
- 3 カセットテープを挿入します。
カセットテープは無理なく、正規の位置に挿入してください。
- 4 STOPランプが点灯していることを確認します。
テープを挿入すると、自動的にシリンダーが回転し、テープがローディングされ、STOPモードになります。
EJECTランプは消灯します。

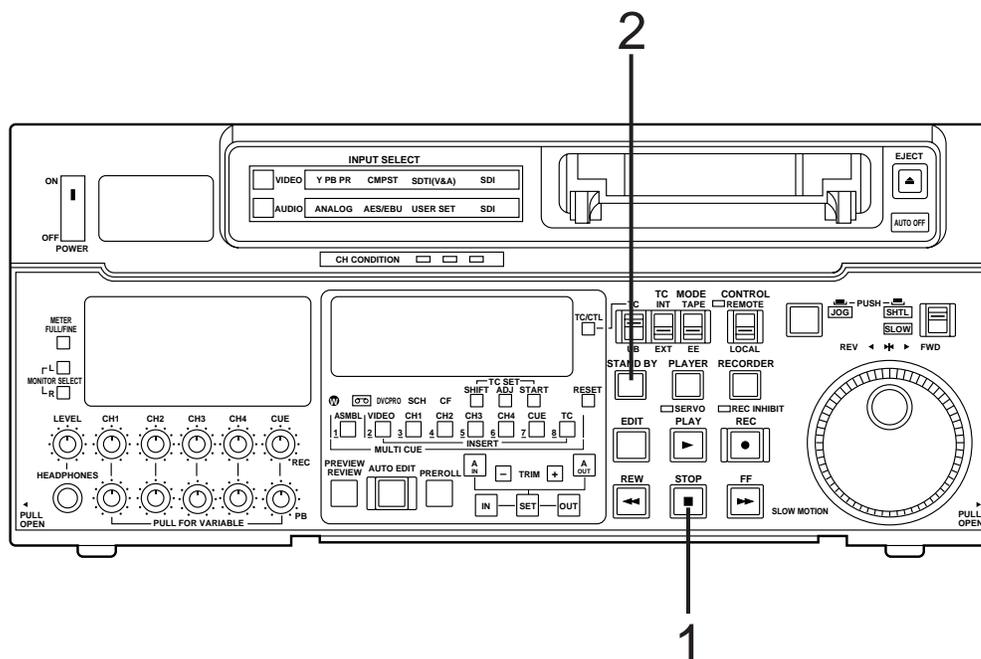


STOP/STANDBY モード

- 1 STOPボタンを押すと、STOPモードになります。
STOPランプが点灯し、テープ走行が停止します。
 - テープ保護のため、セットアップメニューNo.40(STILL TIMER)で設定した時間が経過すると、スタンバイOFFモードになります。
STOP、REW、FF、PLAYの各ボタンを押すと、そのモードになります。
- 2 STANDBYボタンを押すと、スタンバイON/OFFモードになります。
ランプの点灯中は、スタンバイONモードです。
ストップモード中にこのボタンを押すとスタンバイOFFモードになり、ハーフローディング状態となりランプが消灯します。
スタンバイOFFモード中にこのボタンを押すと、スタンバイONモードになります。

STILL TIMER設定のご注意

- 番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。
- テープ保護のため、同一テープ箇所での待機時間はできる限り短く、例えばセットアップメニューNo.40(STILL TIMER)は最大30秒程度に設定してください。



- 1 カセットテープの誤消去防止用ツメを「記録」側にし、テープを挿入します。
- 2 STOPボタンを押して、本機を停止モードにします。
- 3 TAPE/EEスイッチを「EE」にします。
モニターテレビにE-E画像が出ます。
- 4 REC INHIBITランプの消灯を確認します。
ランプが点灯しているときはREC INHIBITスイッチを「OFF」にします。
- 5 ビデオ/オーディオ入力信号の選択とレベルの調整
 - 5-1 入力ビデオ/オーディオ信号の選択
 - 1 記録する信号を接続します。
 - 2 フロントパネルのINPUT SELECTスイッチで入力信号を選択します。
点灯している入力信号が選択されています。
 - 5-2 ビデオレベル調整 [アナログビデオ入力ボード(オプション)装着時]
 - 1 通常はVIDEO IN LEVEL調整スイッチ $\textcircled{50}$ を「PRESET」にしておきます。(ユニティ値)
ビデオ信号は適正なレベルで記録されます。
 - 2 記録レベルを調整するときは、VIDEO IN LEVEL調整スイッチ $\textcircled{50}$ を「MANUAL」にして、調整ボリュームで+3dB ~ -3dBの範囲で調整します。
 - 5-3 オーディオレベル調整
 - 1 アナログオーディオCH1、CH2、CH3、CH4とアナログキューのオーディオ入力信号レベルを調整します。
通常はオーディオ入出力レベルの調整ボリューム $\textcircled{45}$ を押し込んだままにしておきます。(ユニティ値)
オーディオ信号は適正なレベルで記録されます。
 - 2 記録レベルを調整するときは、調整ボリューム $\textcircled{45}$ を引出し、アナログキューは-20dBを超えない範囲に調整します。
- 6 RECボタンを押しながら、PLAYボタンを押します。
RECとPLAYランプが点灯し、記録が始まります。
- 7 記録を終了するときは、STOPボタンを押します。
記録が終了し、停止モードになります。

< ノート >

- 記録中はSERVOランプが点灯していることを確認します。ランプが点滅または消えているときは、再生した画像は乱れます。
- ビデオはアナログコンポジット入力のみ調整できます。(デジタルビデオ入力とアナログコンポーネント入力は調整できません。)

再生

- 1 カセットテープを挿入し、STOPモードにします。
- 2 PLAYボタンを押します。
通常の再生が開始されます。
- 3 オーディオ再生レベルを調整します。
各音声レベル調整つまみを引き出して、左右に回して調整します。
通常は押し込んだ状態にしておきます。(ユニティー値)
- 4 再生を終了するときは、STOPボタンを押します。
VTRはSTOPモードになります。

< ノート >

再生中はSERVOランプが点灯していることを確認してください。消灯もしくは点滅していると、再生画像が乱れます。

ジョグ / シャトル

ジョグモード

- 1 サーチダイヤルを押して、ダイヤルを押し込みます。
JOG ランプが点灯していることを確認します。
- 2 サーチダイヤルを回します。
ダイヤルにクリック感がなくなり、ダイヤルの回転速度に応じたテープスピード(- 1 ~ + 2*倍速)で再生します。
ダイヤルの回転を止めると、静止画になります。
再生画はノイズレスになります。
* DVおよびDVCAMは - 1 ~ + 1倍速になります。
- 3 ジョグモードから他のモードに移行する時は、移行するモードのボタンを押します。

シャトルモード

- 1 サーチダイヤルを押して、押し込まれたダイヤルを元に戻します。
SHTLランプが点灯し、シャトルモードになります。
• 電源を入れた直後はサーチダイヤルを回して、センターの位置にしてください。
- 2 SHTL/SLOW スイッチを「SHTL」または「SLOW」に切換えます。
- 3 サーチダイヤルを回します。
SHTL/SLOW スイッチが「SHTL」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが 0 ~ ±32倍速まで変化します。(セットアップメニューNo.101(SHTL MAX)で±8.4、±16、±32倍速に切換可能です。)
ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
SHTL/SLOW スイッチが「SLOW」の時、ダイヤルの位置に応じて、再生画のスピードが - 4.1 ~ + 4.1倍速まで変化します。(セットアップメニューNo.320(VAR FWD MAX)、No.321(VAR REV MAX)の設定により最大速度を切換えることができます。ただし、- 1 ~ + 2*倍速以外はノイズが出ます。)ダイヤルはセンター位置でクリックし、静止画になります。
再生画はノイズレスになります。
* DVおよびDVCAMは、- 1 ~ + 1倍速以外はノイズが出ます。
- 4 シャトルモードから他のモードに移行する時は、STOPボタンまたは他のボタンを押します。

< ノート >

工場出荷時には、サーチダイヤルを回すと、シャトルモードまたはジョグモードに移行するように設定されています。

ダイレクトに変速モードに移行することが不都合な場合は、サーチボタンを経由で移行することもできます。

セットアップメニューNo.100(SEARCH ENA)を「KEY」にします。

手動編集

- 1 編集モードを選択します。
ASSEMBLE : アセンブル(つなぎとり)編集を行います。
INSERT : インサート(挿入)編集を行います。
- 2 編集チャンネルを選択します。
インサート編集の場合は、編集を希望するチャンネルボタンを押してランプを点灯させます。
- 3 PLAYボタンを押します。
- 4 モニターテレビを見ながら、編集を希望する位置(IN点)を探し、IN点で、PLAYとEDITボタンを同時に押します。
- 5 モニターテレビを見ながら、編集を終了する位置(OUT点)でSTOPまたはPLAYボタンを押します。STOPモードになり編集が終了します。

プリロール

- 1 PREROLLボタンを押します。
VTRはプリロール動作を行います。
 - 編集IN点が登録されている場合は、セットアップメニューNo.000(P-ROLL TIME)で設定された時間だけ編集IN点から巻戻されて止まります。
 - 編集IN点が登録されていない場合は、ボタンを押した位置からセットアップメニューNo.000(P-ROLL TIME)で設定された時間だけ巻戻されて止まります。

< ノート >

- 編集IN点とプリロール点の間にはタイムコードまたはCTLが連続して記録されてる必要があります。
- セットアップメニューNo.313(AUTO ENTRY)により、IN点が登録されていない時にIN点を登録してプリロールするか、登録しないでプリロールするかを選択できます。

自動編集 (デッキ対デッキ)

編集とは、記録済テープを使用して、別々の内容を一つにまとめたり、不必要な部分を削除して必要な部分だけをまとめたりする作業のことです。

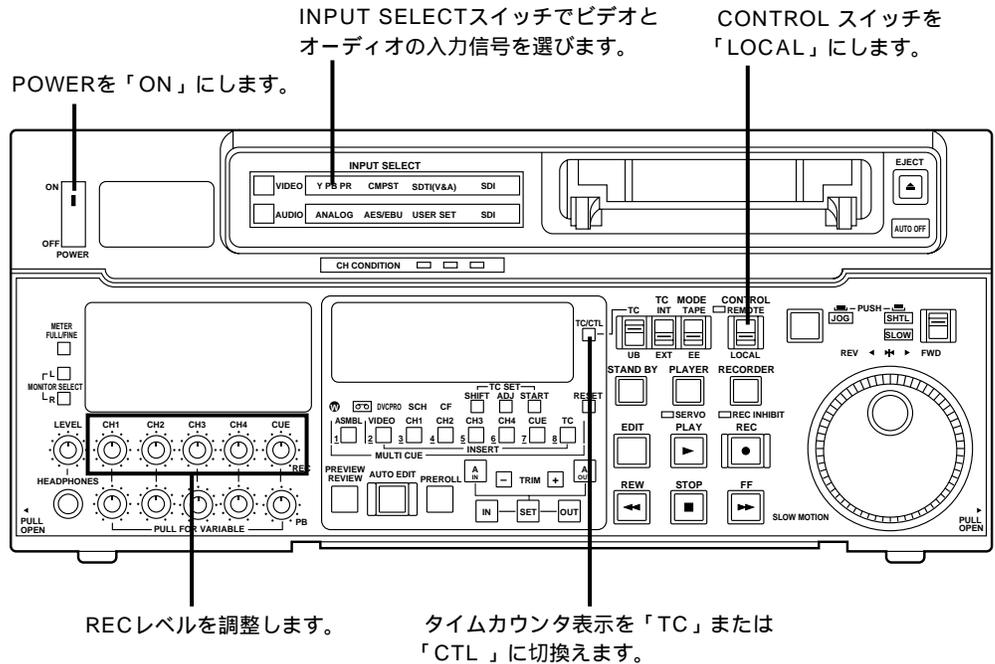
編集の基本的な操作は以下のとおりです。

- 1 CONTROLスイッチをプレーヤは「REMOTE」、レコーダは「LOCAL」にします。
- 2 編集モードを選びます。
- 3 レコーダとプレーヤの編集点を登録します。
- 4 編集点の確認・訂正を行います。
- 5 編集前の確認(プレビュー)を行います。
- 6 編集を実行します。
- 7 編集結果を確認(レビュー)します。

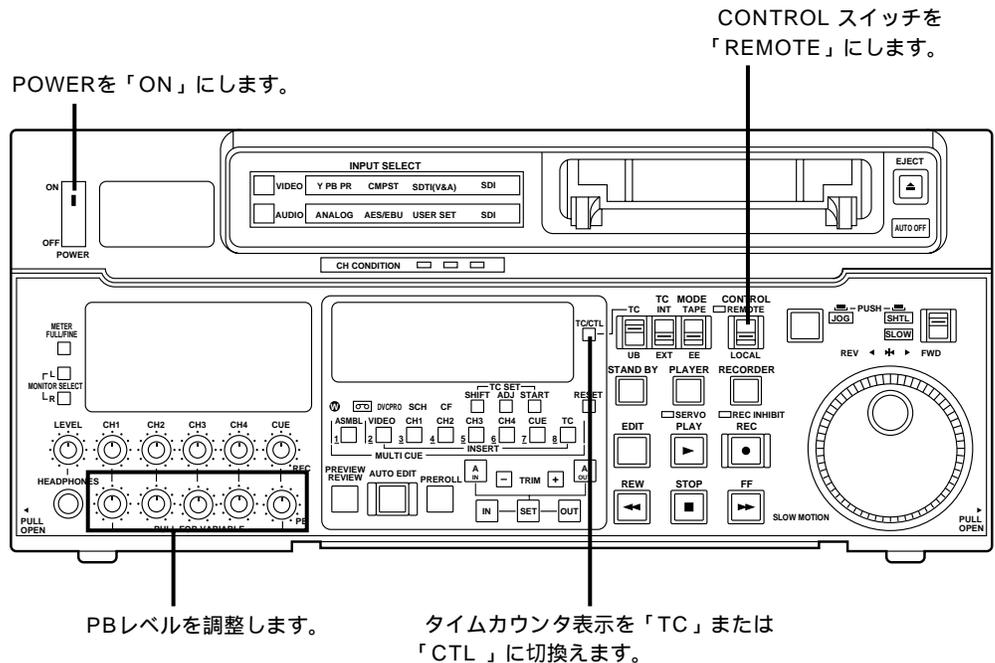
自動編集 (デッキ対デッキ)

スイッチの設定と調整

本機をレコーダとして使用する場合

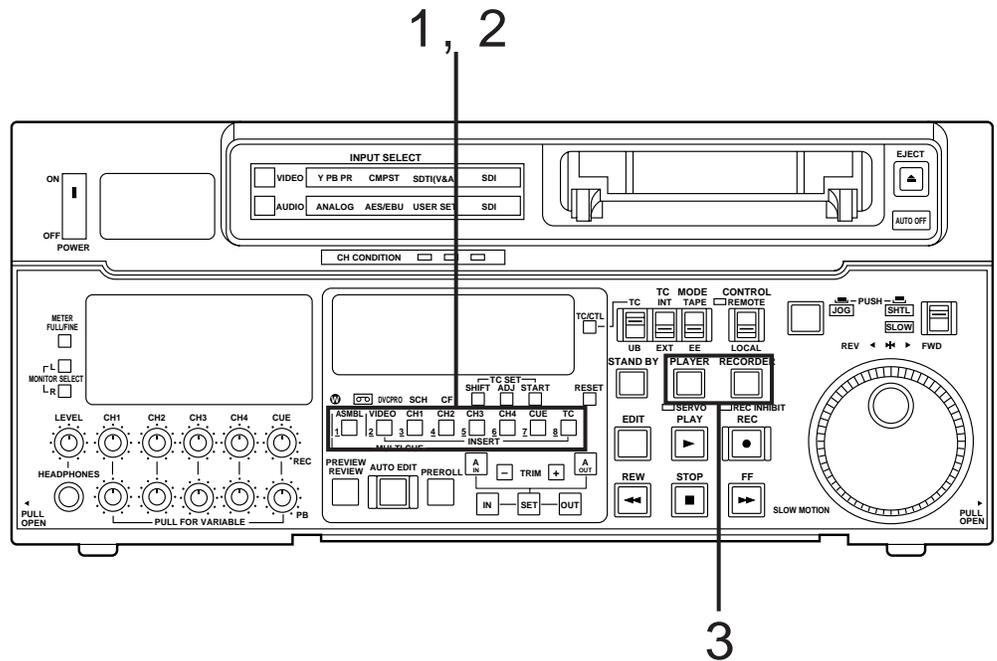


本機をプレーヤとして使用する場合



編集モードの選択

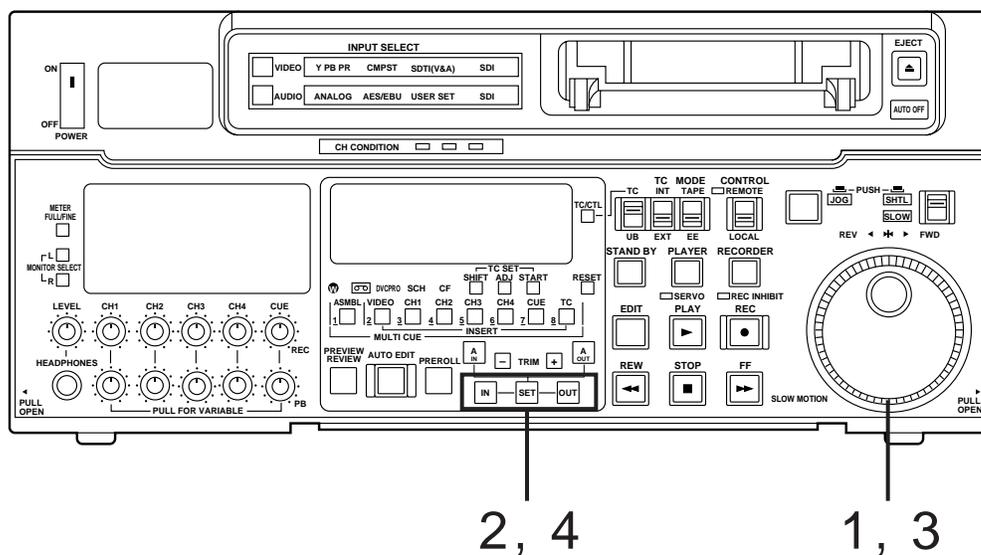
- 1 編集モードを選択します。
アセンブル編集はASMBLボタンを押します。
インサート編集はINSERTボタンを押します。
ASSEMBLE : アセンブル(つなぎとり)編集モードになります。
INSERT : インサート(挿入)編集モードになります。
- 2 編集チャンネルを選択します。
アセンブル編集の場合はASMBLランプが点灯します。
インサート編集の場合は編集するチャンネルのボタンを押して点灯させます。
- 3 操作するVTRの選択(VTR2台での編集時の設定)
PLAYERまたはRECORDERボタンを押して操作を行うVTRを選択します。
PLAYER : プレーヤ側VTRを操作して、編集点を登録する場合に押します。
RECORDER : レコーダ側VTR(本機)を操作して、編集点を登録する場合に押します。



自動編集 (デッキ対デッキ)

編集点の登録

- 1 ジョグ・シャトル操作で編集IN点を探します。
希望の位置で静止画にします。
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は32ページを参照してください。
- 2 INボタンを押しながらSETボタンを押します。
編集IN点が登録されます。
編集IN点の値がディスプレイ部に表示されます。
- 3 ジョグ・シャトル操作で編集OUT点を探します。
希望の位置で静止画にします。
ジョグ・シャトル操作の詳細な説明は32ページを参照してください。
- 4 OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。
編集OUT点が登録されます。
編集OUT点の値がディスプレイ部に表示されます。



マッチフレーム処理機能について

VTR2台での編集操作の場合、編集点はプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点の合計4つの編集点があります。しかし、最後の一つは自動的に計算されますので、編集点の登録はその内の三つだけ可能です。

ネガティブデュレーション機能について

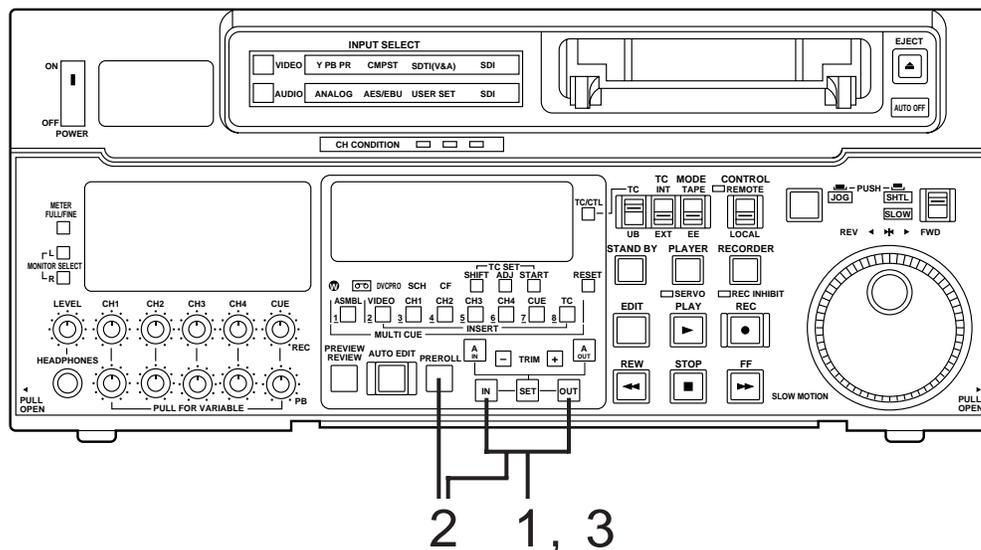
セットアップメニューNo. 301(IN/OUT DEL)とNo.302(NEGA FLASH)を組み合わせでご使用ください。

編集点の確認

- 1 IN(またはOUT)ボタンを押して、編集点を確認します。
登録されている編集点の値がディスプレイに出ます。
- 2 IN(またはOUT)ボタンを押しながら、PREROLLボタンを押し、編集点の画像を確認します。
 - 編集IN(またはOUT)点にテープがキューアップされて、静止画になります。
セットアップメニューNo.315(AFTER CUE-UP)が「STOP」に設定されている場合、TAPE/EEスイッチが「EE」のときはE-Eモードになります。
- 3 INとOUTボタンを同時に押したままにし、編集区間(デュレーションタイム)を確認します。
デュレーションタイムがディスプレイ部に表示されます。

デュレーションの計算のしかた

- 編集点が2点とも設定されている場合 2点間のデュレーション
- 編集点が1点だけ設定されている場合 設定されているデータとテープの現在アドレス間のデュレーション
- 編集点が設定されていない場合 前回編集した区間のデュレーション



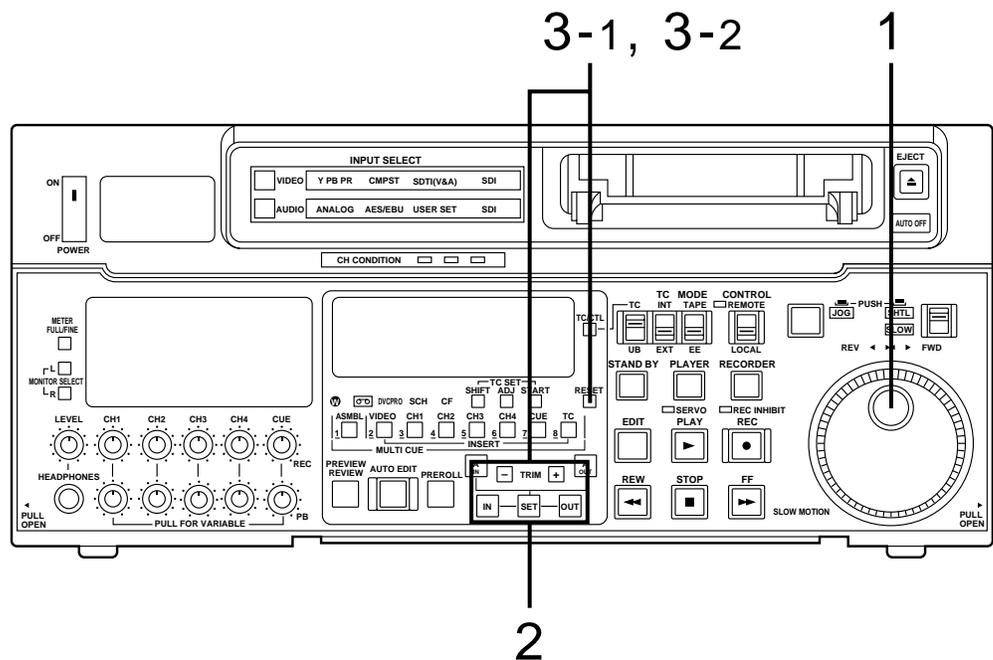
自動編集 (デッキ対デッキ)

編集点の訂正

- 1 編集点の再登録
ジョグ・シャトル操作で新しい編集点を探し、IN(またはOUT)とSETボタンを同時に押し
て再登録します。
- 2 フレーム単位での編集点の訂正(トリム機能)
IN(またはOUT)ボタンを押しながらTRIMボタンを押します。
+ ボタンを一回押すたびに、1フレーム進みます。
- ボタンを一回押すたびに、1フレーム戻ります。
- 3 編集点のリセット
 - 3-1 編集INとOUT点両方のリセット
 - RESETボタンを押します。
 - 3-2 編集INまたはOUT点のどちらか片方のリセット
 - IN(またはOUT)ボタンを押しながらRESETボタンを押します。

< ノート >

- 編集点のリセット3-1はCTLモード時のみ有効です。
- 編集実行中でも編集OUT点のリセットは可能です。
- EJECTモード時はINおよびOUT点は自動的にリセットされます。

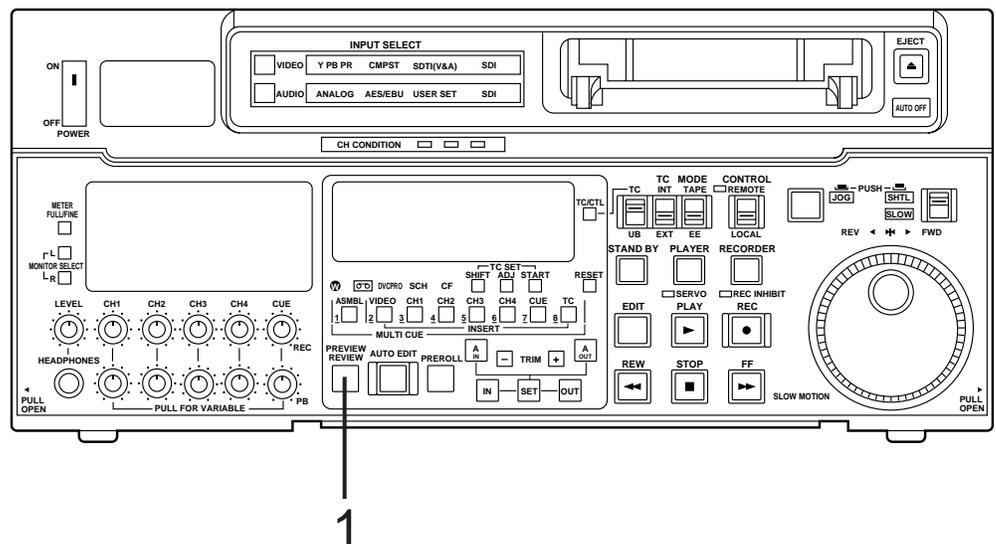


プレビュー

- 1 編集点登録後に、PREVIEW ボタンを押します。
通常のプレビューが実行されます。

< ノート >

- 編集IN点が登録されていない場合は、PREVIEWボタンが押された位置を編集IN点として登録します。
- プレビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
- プレビュー実行中にIN点以降で再度PREVIEWボタンを押すと、最初からプレビューが開始されます。
- 編集OUT点になると、自動的に止まります。



自動編集 (デッキ対デッキ)

自動編集の実行

- 1 AUTO EDITボタンを押します。
自動編集が実行されます。
 - 途中で編集をやめる場合は、STOPボタンを押します。
 - 編集OUT点になると、ポストロール*後、止まります。

* ポストロール時間はセットアップメニューNo.325 (POSTROLL TM)で設定できます。

ポストロールについて

アSEMBル編集の場合、編集OUT点通過後約2秒間編集を続け、OUT点に戻って止まります。
インサート編集の場合、編集OUT点通過後PLAYモードになり、OUT点に戻って止まります。

リトライ機能

STOPボタンを押して編集を途中でやめても、そのまま再度AUTO EDITボタンを押すと最初から編集を行います。

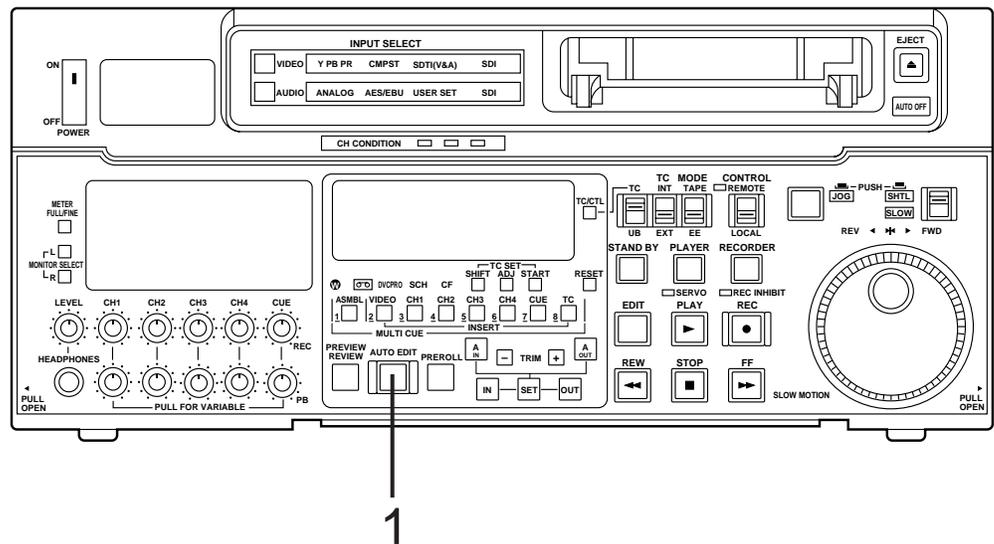
オートタグ編集

編集終了後、次の編集点登録をまだ行っていない場合、AUTO EDITボタンを押すと、前回の編集OUT点をIN点として登録し、編集を行います。

オートタグモードを解除する場合は、走行系(PLAYボタンなど)ボタンを押します。

< ノート >

編集実行後、登録点は自動的にクリアされますがTRIM +(またはTRIM -)とSETボタンを同時に押すと、前回の編集点をリコールすることができます。



レビュー

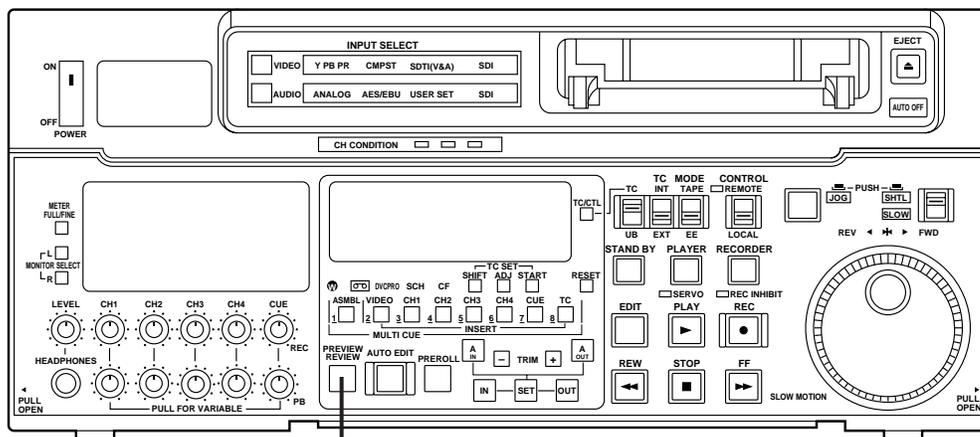
1

編集終了後に、REVIEWボタンを押します。

レコーダ側でレビューが始まります。

- レビューを途中でやめる場合は、STOPボタンを押します。
- 編集OUT点になると、ポストロール*後、止まります。

* ポストロール時間はセットアップメニューNo.325(POSTROLL TM)で設定できます。



オーディオスプリット編集

ビデオの編集点とオーディオの編集点を独立に登録し、編集点をずらせて編集することができます。オーディオ編集点の登録はアSEMBル編集モードが選択されている時はできません。編集点を登録した後は、インサート編集と同じ操作を行います。

編集点の登録

- ビデオIN点 : INボタンを押しながらSETボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押しながらSETボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押しながらSETボタンを押します。

編集点の削除

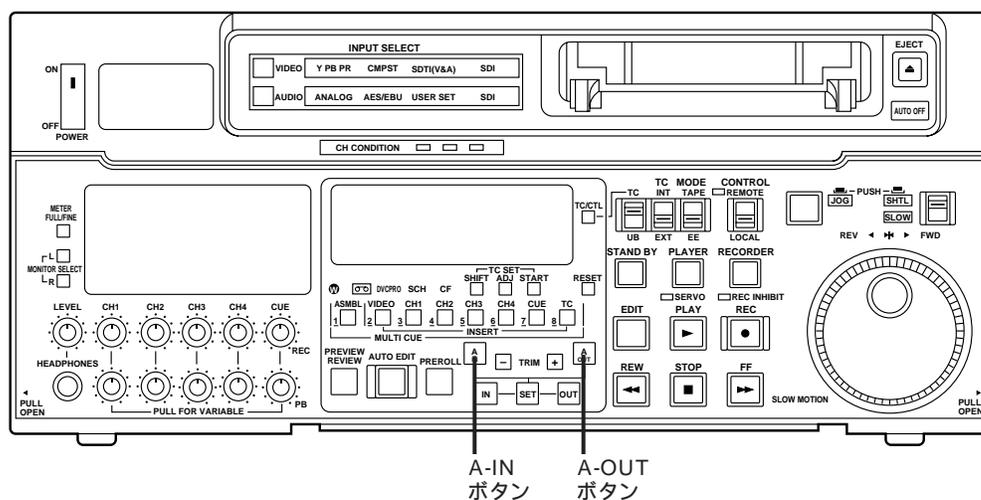
- ビデオIN点 : INボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押しながらRESETボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押しながらRESETボタンを押します。

編集点の訂正

- ビデオIN点 : INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM - ボタンを押します。
- ビデオOUT点 : OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM - ボタンを押します。
- オーディオIN点 : A-INボタンを押しながらTRIM+またはTRIM - ボタンを押します。
- オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押しながらTRIM+またはTRIM - ボタンを押します。

オーディオスプリット編集の表示

オーディオ編集点を登録しますと、「*」がフロントパネルとモニターテレビにスーパー表示され、オーディオスプリット編集であることを表示します。



オーディオスプリット編集点の表示

編集点はフロントパネルに以下のように表示されます。(下図はオーディオIN点の場合)

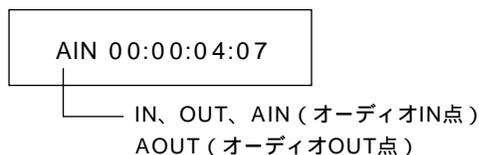
操作

ビデオIN点 : INボタンを押します。

ビデオOUT点 : OUTボタンを押します。

オーディオIN点 : A-INボタンを押します。

オーディオOUT点 : A-OUTボタンを押します。



< ノート >

オーディオ編集点の登録後、編集モードをアSEMBル編集に切換えると、オーディオ編集点は削除されます。

編集点へのキューアップ

ビデオIN点へのキューアップ : INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

ビデオOUT点へのキューアップ : OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

オーディオIN点へのキューアップ : A-INボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

オーディオOUT点へのキューアップ : A-OUTボタンを押しながらPREROLLボタンを押します。

デュレーションの表示

デュレーションはフロントパネルのみ表示することができます。

ビデオIN点/OUT点間 : INボタンとOUTボタンを同時に押します。

オーディオIN点/OUT点間 : A-INボタンとA-OUTボタンを同時に押します。

マッチフレーム処理機構について

- VTR2台でオーディオスプリット編集操作の場合、ビデオの編集点としてプレーヤ側にIN/OUT点、レコーダ側にIN/OUT点と、オーディオの編集点としてプレーヤ側にオーディオIN/OUT点、レコーダ側にオーディオIN/OUT点の合計8つの編集点があります。8点のうち5点の編集点を登録すると、残りの3点は自動的に計算されますので、編集点の登録は5点まで可能となります。

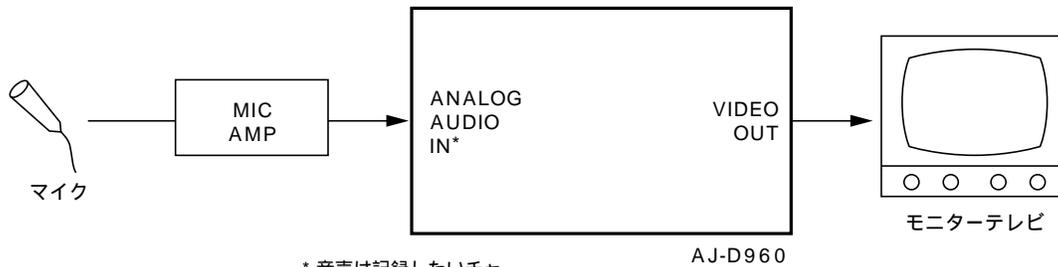
スプリット編集機能のないVTRをプレーヤにする時

ビデオとオーディオの編集点を独立して設定することができないVTRをプレーヤとして使用する時、オーディオのIN点とOUT点をレコーダ側に設定し、ビデオの編集点として3点のデータを設定すると、スプリット編集が可能となります。

< ノート >

オーディオスプリット編集時、オーディオOUT点(またはビデオOUT点)を登録せずに、ビデオOUT点(またはオーディオOUT点)のみ登録し、自動編集を実行すると、オーディオOUT(またはビデオOUT点)点が登録されるか、STOPボタンを押して操作を中断するまで編集を続けます。

ヴォイスオーバー（内蔵）



* 音声は記録したいチャンネルへ接続します。

操作 1

- 1 セットアップメニューNo.317(AUD MEM MODE)で「INT_VO」を選択します。
- 2 音声を記録したいチャンネル(CH1～CH4で希望する1チャンネル)とセットアップメニューNo.318(AUD MEM CH)のチャンネルを同一に設定します。
- 3 ヴォイスオーバーを行いたいカセットテープを挿入します。
- 4 音声を記録したいチャンネル(CH1～CH4で希望する1チャンネル)のインサートボタンを押してランプを点灯します。
- 5 PLAYボタンを押します。
- 6 モニターテレビを見ながら、ヴォイスオーバーを希望する位置(IN点)を探します。
- 7 IN点でINとSETボタンを同時に押します。
- 8 記録したい音声信号を、2で選んだチャンネルに入力します。
- 9 モニターテレビを見ながらヴォイスオーバーを終了する位置(OUT点)を探します。
- 10 OUT点でOUTとSETボタンを同時に押します。記録したい音声信号がメモリーに書込まれました。
- 11 STOPボタンを押します。
- 12 AUTO EDITボタンを押して編集を実行します。メモリーに書込まれた音声信号がメモリーからカセットテープに記録されます。

< ノート >

AUTO EDITボタンを押す前にSETボタンを押しながら、PREVIEWボタンを押すと、編集前の確認(プレビュー)が行えます。

操作 2

- 1 セットアップメニューNo.317(AUD MEM MODE)で「INT_VO」を選択します。
- 2 音声を記録したいチャンネル(CH1～CH4で希望する1チャンネル)とセットアップメニューNo.318(AUD MEM CH)のチャンネルを同一に設定します。
- 3 ヴォイスオーバーを行いたいカセットテープを挿入します。
- 4 音声を記録したいチャンネル(CH1～CH4で希望する1チャンネル)のインサートボタンを押してランプを点灯します。
- 5 ヴォイスオーバーを希望する位置のIN点とOUT点を登録します。
- 6 PREVIEWボタンを押します。
- 7 モニターテレビを見ながらIN点からOUT点の間に記録したい音声信号を2で選んだチャンネルに入力します。記録したい音声信号がメモリーに書込まれます。
- 8 AUTO EDITボタンを押して編集を実行します。メモリーに書込まれた音声信号がメモリーからカセットテープに記録されます。

< ノート >

AUTO EDITボタンを押す前にSETボタンを押しながら、PREVIEWボタンを押すと、編集前の確認(プレビュー)が行えます。



T*R 00:00:00:00
m STOP

内蔵メモリーを使う編集モード表示

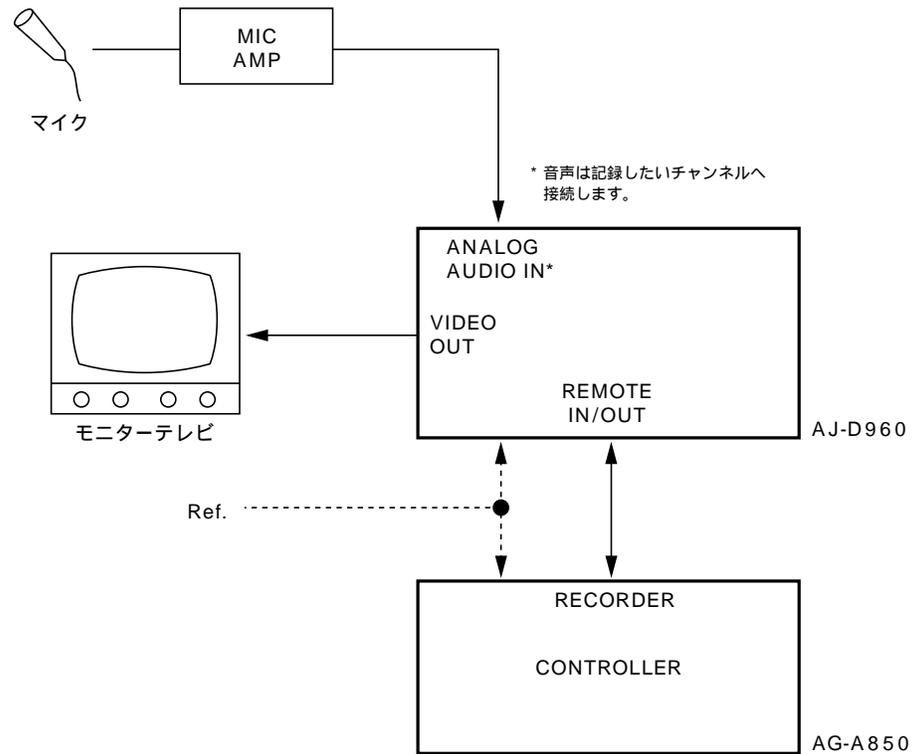
< ノート >

メモリーの容量

- 本機に内蔵しているメモリーは、最大20秒間の1チャンネル分の音声記録できます。20秒以上の音声メモリーの書込みを行っても、20秒を超えた音声信号はメモリーには書込めませんのでご注意ください。
- セットアップメニューNo.317(AUD MEM MODE)で、内蔵メモリーを使用する設定(INT_VO)、(INT_X)を選択すると、「m」がフロントパネルとモニターテレビにスーパーインポーズ表示され、内蔵メモリーを使う編集モードであることを表示します。

ヴォイスオーバー（内蔵）

編集コントローラ（AG-A850）で操作する場合



- 1 セットアップメニューNo.317(AUD MEM MODE)で「INT_VO」を選択します。
- 2 音声を記録したいチャンネル(CH1～CH4で希望する1チャンネル)とセットアップメニューNo.318(AUD MEM CH)のチャンネルを同一に設定します。
- 3 VTRにヴォイスオーバーを行いたいカセットテープを挿入します。
- 4 VTRのCONTROL SWを「REMOTE」にします。
- 5 コントローラのSOURCE選択を「AUX1」にします。
- 6 音声を記録したいチャンネル(CH1～CH4で希望する1チャンネル)のインサートボタンを押します。
- 7 ヴォイスオーバーを希望する位置のIN点とOUT点を登録します。
- 8 PREVIEWボタンを押します。
- 9 モニターテレビを見ながら、IN点からOUT点の間に記録したい音声信号を6で選んだチャンネルに入力します。記録したい音声信号がメモリーに書込まれます。
- 10 AUTO EDITボタンを押して編集を実行します。メモリーに書込まれた音声信号がメモリーからカセットテープに記録されます。

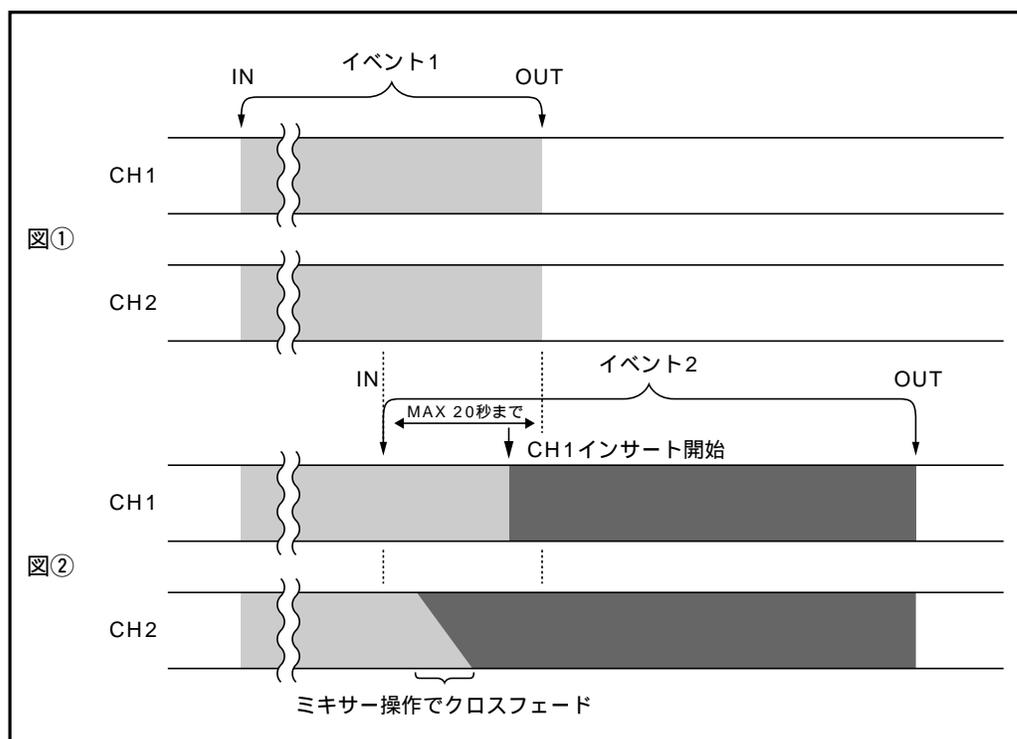
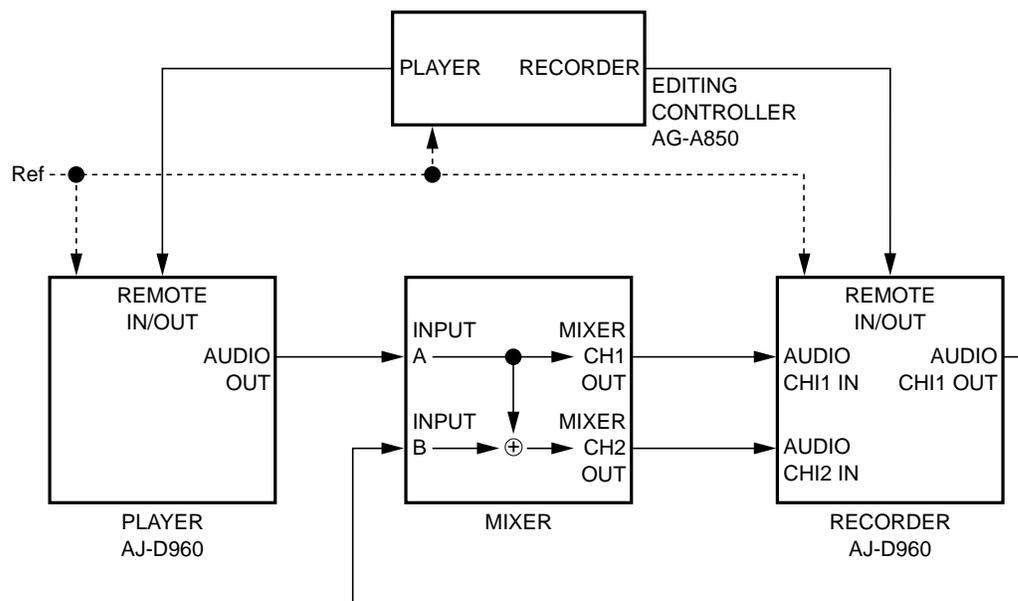
< ノート >

AG-A850の詳しい取扱いは、AG-A850の取扱説明書を参照してください。

オーディオクロスチャンネル編集（内蔵）

例) CH2 にクロスフェードした音声信号を記録する場合

接続図



- 1 セットアップメニューNo.317(AUD MEM MODE)で「INT_X」を選択します。
- 2 セットアップメニューNo.318(AUD MEM CH)で「CH2」を選択します。
- 3 インサート編集でCH1とCH2を選択します。
<ノート>
ビデオも編集を行う場合は、VIDEOも選択します。

オーディオクロスチャンネル編集（内蔵）

- 4 PLAYER側の最初のイベントの編集点を登録します。
- 5 RECORDER側の最初のイベントの編集点を登録します。
- 6 ミキサーを操作して、PLAYER出力の音声信号がミキサーのCH1 OUTとCH2 OUTから出力されるようにします。（ミキサーのCH1出力とCH2出力は同じ音声信号です。）
- 7 AUTO EDITボタンを押します。RECORDER側に最初のイベントが記録されます。（[図①](#)参照）
この時メモリーにはOUT点前20秒（メモリー容量分）の音声信号が書込まれています。
- 8 CH1のインサートを解消し、CH2のインサートのみにします。
<ノート>
ビデオも編集を行う場合は、VIDEOも選択します。
- 9 PLAYER側の次のイベントの編集点を登録します。
- 10 RECORDER側の次のイベントの編集点を登録します。
<ノート>
IN点は前のイベントのOUT点よりも前で、前のイベントのOUT点の - 20秒より後に設定します。（クロスフェード時間以上）
- 11 ミキサーを操作して、ミキサーのCH1 OUTからはPLAYER出力の音声信号が、ミキサーのCH2 OUTからはRECORDER（本機の）CH1 OUTの音声信号が出力されるようにします。（RECORDER（本機の）CH1 OUTの信号は内蔵メモリーからの音声信号です。）
- 12 AUTO EDITボタンを押します。
- 13 IN点よりミキサーを操作して、ミキサーのCH2 OUTについてRECORDER CH1 OUTの音声信号からPLAYER出力の音声信号へ徐々に変化させます。（クロスフェード）
- 14 ミキサーのCH2出力信号がPLAYER出力の音声信号に切替わった後、CH1のインサートボタンを押します。OUT点でSTOP状態になりますが、メモリーにはOUT点前20秒（メモリー容量分）の音声信号が書込まれています。（[図②](#)参照）
- 15 編集を続ける場合は再度8からの動作を行います。

オーディオクロスチャンネル編集は、CH1とCH2の間またはCH3とCH4の間でのみ可能です。

<ノート>

オーディオメモリーユニット（AJ-YA752、別売品）を使用して、ヴォイスオーバー/オーディオクロスチャンネル編集を行う場合、まず以下の本体（AJ-D960）の設定を行ってください。

1. セットアップメニューNo.317（AUD MEM MODE）で「AMU_X」または「AMU_VO」のいずれかを選択します。
2. オーディオクロスチャンネル編集の場合、セットアップメニューNo.318（AUD MEM CH）で記録するチャンネルを設定します。
3. AJ-YA752の取扱説明書を参考にして操作を行ってください。

MULTI CUE (マルチキュー)

セットアップメニューNo.130(MULTI CUE)でMULTI CUEモードを選択します。

編集CH選択ボタン(ASMBL、VIDEO、CH1/2/3/4、CUE、TC)が、それぞれ
CUE*1~CUE*8

A B
として使用できます。

CUEAB A : ページを表す(0~9ページ)
B : CUE点を表す(1~8点)

最大10ページまで、合計80ポイントのCUE点が登録できます。

セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定により、CUE点の登録動作を

- 選択されたページ内での動作となり、8ポイントのCUE点が登録できる動作
- CUE点登録中ページが一杯になった時は、自動的に次ページへ移り登録を続け、最大で10ページまで、合計80ポイントのCUE点が登録できる動作

モードが選択できます。

また、セットアップメニューNo.132(ROTA MODE)の設定により、すべてのCUE点が登録されている時の動作を

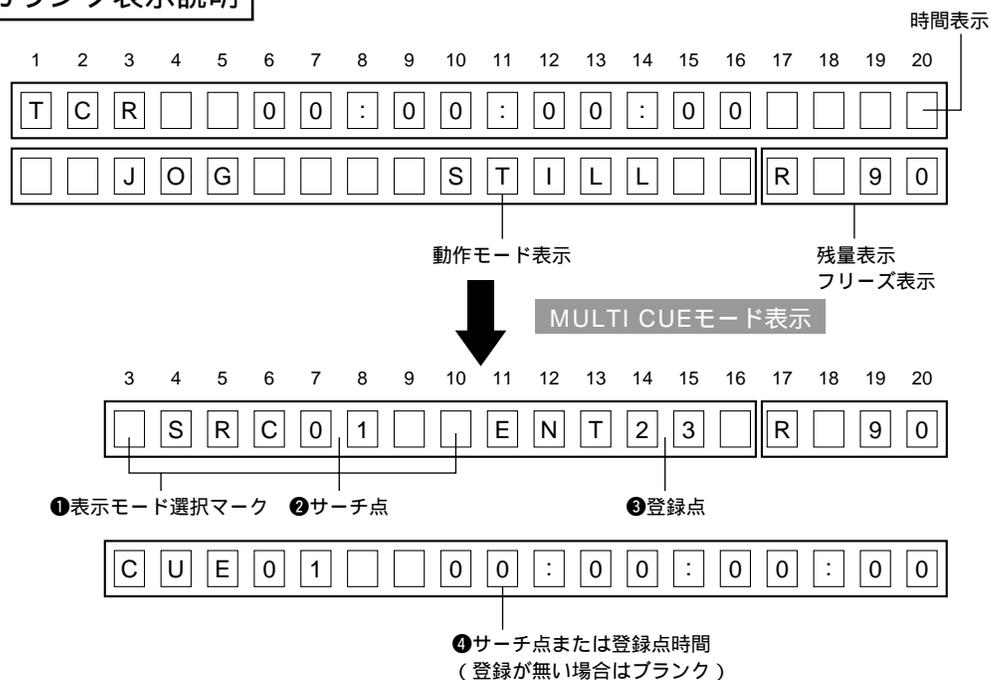
- 登録動作を行わない動作
- 登録動作を行う動作(セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)が「MANU」に設定されている場合はそのページ内のCUE*1へ、「AUTO」に設定されている場合は0ページのCUE01へ登録)

モードが選択できます。

なお、MULTI CUEを選択した場合は以下の機能となります。

- MULTI CUEモードの時は、編集ができません。
 - 編集モード選択状態においてMULTI CUEモードへ移行した場合は、自動的に編集CH選択ボタン(ASMBL、VIDEO、CH1/2/3/4、CUE、TC)を解除します。
 - MULTI CUEモードの時は、デッキ対デッキは使用できません。
 - MULTI CUEモードの時は、フロントパネルカウンタ表示部のモード表示は出ません。
- なお、AUTO-OFF発生時のメッセージ等は強制的に表示されます。

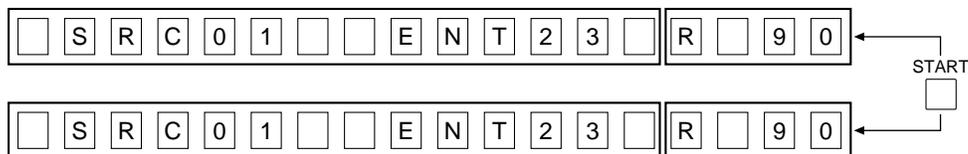
カウンタ表示説明



MULTI CUE (マルチキュー)

① 表示モード選択マーク

現在のCUE点のLED表示(および、操作により表示される時間データ)がサーチ点を表示しているのか/登録点を表示しているのかを表します。(下図のようにフロントパネルのSTARTボタンで表示を切替えます。)



② サーチ点

現在選択されているサーチ点を表示します。
(SRC01 0ページ目のCUE1)

③ 登録点

次にSETボタンを押したときに登録する点を表示します。
(ENT23 2ページ目のCUE3)

④ サーチ点および登録点表示

CUEボタンおよびSETボタンを押したときに、サーチ点もしくは登録点の時間を表示します。(時間データが無い場合はブランク表示となります。)

ページ操作

フロントパネルのADJボタンとTRIM + / - ボタンの同時押しによりページ送り / 戻しができます。

- ページ送りについては、セットアップメニューNo.132(ROTE MODE)の設定によって以下のようになります。
「OFF」設定時：9ページから0ページへの移動はできません。
「ON」設定時：9ページから0ページへの移動ができます。
- ページ戻りについては、0ページから9ページへの移動はできません。

サーチ点および登録点の操作

STARTボタンを押す度に、サーチ点表示モードと登録点表示モードが交互に切替わります。それぞれのモードにおいて、サーチ点 / 登録点を操作ください。

- POWER_ON時、サーチ / 登録ポインターは両方ともCUE01(0ページ / CUE1)となり、表示モードは登録点表示モードになります。
- セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)または、No.132(ROTA MODE)設定を変更した場合、サーチ / 登録ポインターは両方ともCUE01(0ページ / CUE1)となります。

サーチ点操作

フロントパネルに下記表示を行っている時、サーチポインターの操作ができます。
選択されているサーチ点LEDが点滅し、パネルに番号を表示します。

パネル表示例

	S	R	C	0	1			E	N	T	2	3	
--	---	---	---	---	---	--	--	---	---	---	---	---	--

R		9	0
---	--	---	---

LED表示例

ASMBL	VIDEO	CH1	CH2	CH3	CH4	CUE	TC
1	2	3	4	5	6	7	8
点滅	点灯(登録済み)	点灯(登録済み)	点灯(登録済み)	点灯(登録済み)	点灯(登録済み)	消灯(未登録)	消灯(未登録)

- 同一ページ内は、CUE * 1 ~ * 8(ASMBL ~ TC)ボタンを押すことによりサーチポインター位置はダイレクトに変更されます。
- ADJボタンとTRIM + / - ボタンの同時押しによりページを変更したときは、セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定によって以下のようになります。
「MANU」設定時：サーチ / 登録ポインターとも変更されたページのCUE * 1へ移動します。
「AUTO」設定時：サーチポインターのみが変更されたページのCUE * 1へ移動し、登録ポインターは移動しません。

登録点操作

フロントパネルに下記表示を行っている時、登録ポインターの操作ができます。
SETボタンを押した時に登録される点が点滅します。

パネル表示例

	S	R	C	0	1			E	N	T	2	3	
--	---	---	---	---	---	--	--	---	---	---	---	---	--

R		9	0
---	--	---	---

LED表示例

ASMBL	VIDEO	CH1	CH2	CH3	CH4	CUE	TC
1	2	3	4	5	6	7	8
点灯(登録済み)	点滅	点灯(登録済み)	点灯(登録済み)	点灯(登録済み)	点灯(登録済み)	消灯(未登録)	消灯(未登録)

- 同一ページ内は、CUE * 1 ~ * 8(ASMBL ~ TC)ボタンを押すことにより登録ポインター位置はダイレクトに変更されます。
またセットアップメニューNo.131(PAGE MODE)が「AUTO」に設定されている場合は、SETボタンによりCUE点登録中ページが一杯になった時、自動的に次ページのCUE * 1へ登録ポインターが移動します。サーチポインターは移動しません。
- ADJボタンとTRIM + / - ボタンの同時押しによりページを変更したときは、セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定によって以下のようになります。
「MANU」設定時：サーチ / 登録ポインターとも変更されたページのCUE * 1へ移動します。
「AUTO」設定時：登録ポインターのみが変更されたページのCUE * 1へ移動し、サーチポインターは移動しません。

サーチ点および登録点表示操作

CUEボタンを押した場合および、登録点表示モードにおいてSETボタン押しで登録点に登録した時に、下記に2通りの表示をします。

未登録の場合

C	U	E	0	1			-	-	:	-	-	:	-	-	:	-	-
---	---	---	---	---	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

登録済みの場合

C	U	E	0	1			0	0	:	1	1	:	2	2	:	0	0
---	---	---	---	---	--	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

MULTI CUE (マルチキュー)

CUE 点の登録

セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定により、以下の動作をします。

選択されたページ内での動作(PAGE MODE=MANU)

- 選択されたページ内での動作となります。
- ADJボタンとTRIM+ / - ボタンの同時押しによりページを選択します。
- SETボタンの単独押しで、選択されたページ内で

CUE * 1 CUE * 2 ... CUE * 7 CUE * 8

と順次登録していきます。

(既に登録されている点に対しては上書きします。)

- そのページにおいてCUE * 8を登録すると、自動的に終了となります*。
次のCUE点を登録したい時は、登録ポインターを変更する必要があります。
登録点表示モードになっていることを確認し、ページを変えて登録ポインターを自動的に変更してください。この場合、サーチポインターも自動的に変更されたページの先頭(CUE * 1)に移動します。また、ページ内でポインターを変更したいときはダイレクトにCUEボタンを押してください。

* セットアップメニューNo.132(ROTA MODE)で「 ON 」が設定されている場合は、同一ページ内で

[CUE * 1 CUE * 2 ... CUE * 7 CUE * 8]

のローテーション動作を行います。

CUE点登録中ページが一杯になった時、自動的に次ページへ移り登録を続ける動作(PAGE MODE=AUTO)

- CUE点登録中ページが一杯になった時は、自動的に次ページへ移り登録を続けます。最終ページCUE98を登録すると、自動的に終了となります*。

次のCUE点を登録したい時は、登録ポインターを変更する必要があります。

登録点表示モードになっていることを確認し、ページを変えて登録ポインターを自動的に変更してください。この場合は、サーチポインターは変更されません。

また、ページ内でポインターを変更したいときはダイレクトにCUEボタンを押してください。

* セットアップメニューNo.132(ROTA MODE)で「 ON 」が設定されている場合は、9ページ(CUE98)から0ページ(CUE01)へローテーション動作を行います。

上記2つの動作のいずれのモードでも登録できなくなった場合

- 登録ポインター表示が * * となり、ENT * * 表示が点滅します。
- 登録点表示モードでは、登録点表示操作(SETボタン押し)を行ったときにFULL MEMORY のメッセージが出ます。
- LEDについては点滅するものが無くなります。

(途中で登録されていない点がある場合でも、上記と同じになります。)

[S R C 0 1] [ENT * *] [R 9 0]

点滅

[F U L L M E M O R Y] [R 9 0]

< ノート >

セットアップメニューNo.132(ROTA MODE)で「 ON 」が設定されている場合は、登録できなくなることはありません。

CUE点を数字で登録する場合

フロントパネルのADJボタンを押したままSHIFTボタンを押しCUE点登録モードにします。その後は、SHIFTボタンとADJボタン(TCG登録動作と同じ操作)により登録したい時間を設定後にSETボタンを押すことにより登録することができます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
c	u	e			0	0	:	0	0	:	0	0	:	0	0				
	S	R	C	0	1			E	N	T	2	3			R		9	0	

登録点の削除

一括削除

- SETボタンを押しながらRESETボタンを押すことにより登録されているすべてのボタン(LED)が消灯し登録点が削除されます。
- サーチ/登録ポインターは、セットアップメニューNo.131(PAGE MODE)の設定により以下ようになります。
「MANU」設定時：ページ内の先頭(CUE * 1)へ戻ります。
「AUTO」設定時：自動的に先頭ページの先頭(CUE01)へ戻ります。
- サーチ点/登録点表示モードに関係なく受け付けます。

個別リセット

- 削除したい点のCUE1～8の任意ボタンを押しながらRESETボタンを押すことにより、登録されているボタン(LED)が消灯し登録点が削除されます。
- 登録点表示モード時のみ受け付けます。
(サーチ点表示モード時、本操作を行っても登録点はリセットされません。)

< ノート >

- CTLモード時は以下ようになります。
SET(CUE)ボタンを押しながらRESETボタンを押すと、登録されていたCUE点はすべて(個別)リセットされますが、CTLはリセットされません。
逆にRESETボタンを押しながらSET(CUE)ボタンを押すと、登録されていたCUE点をすべて(個別)リセットするとともに、CTLもリセットされます。
- 登録されているCUE点は、EJECTしてもリセットされません。
CTLモード時は、CTLのみリセットします。

サーチ動作

サーチ点表示モードで点滅しているCUE点に対し、PREROLLボタンを押すことにより、プリロール動作します。

CUE点の登録が無い場合は、プリロール動作しません。

また、登録点表示モードにおいてはPREROLLボタンを押してもプリロール動作しませんので、必ずサーチ点表示モードになっているかご確認ください。

(本モードにおけるプリロール時間は、通常のプリロール時間の設定とは別にセットアップメニューNo.016(CU-ROLL TIME)の設定されている時間が有効となります。)

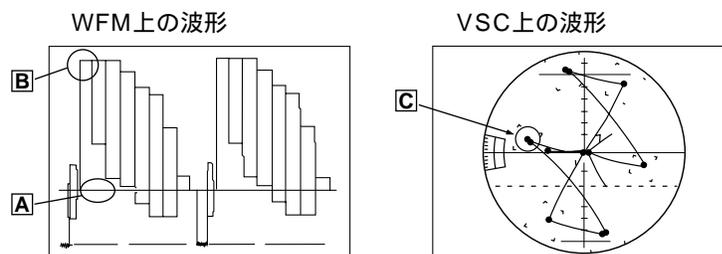
ビデオ出力信号(エンコーダー出力)の調整

編集機を使用したABロール編集(2台のソース機を使った編集)などを行う場合、誤差のない正確な編集を行うためには、システム接続後にビデオ出力信号(ENCODER OUT)を調整する必要があります。

(この調整は、接続ケーブルを交換した場合や接続を変えるごとに調整しなおす必要があります。)

本機で調整する場合は以下のようにします。

- 1 接続を確認します。(26ページ参照)
- 2 セットアップメニューNo.10(ENCODER SEL)を「LOCAL」に設定します。
REMOTE : 外部のエンコーダーリモートコントローラでビデオ出力信号を調整します。
LOCAL : 本機でビデオ出力信号を調整します。
- 3 ソース機単体で調整します。
 - 3-1 プリセット値を使用する場合、
VIDEO OUT LEVEL、CHROMA LEVEL、SETUP、HUE、の各PRESET/MANUALスイッチを「PRESET」にします。
 - 3-2 PRESET値を使わずに、ビデオ出力信号を調整する場合
 - 1 標準カラーバーの記録されているカセットテープを再生します。
 - 2 ウェーブフォームモニター(WFM)、ベクトルスコープ(VSC)が以下のようになるように各ボリュームを調整します。
 - A セットアップレベル
ズレをなくすように調整します。
 - B ビデオレベル
100IREに調整します。
 - C クロマレベル・ヒュー
二つのボリュームを調整して□マークに各ベクトル波形の光点を入れます。



- 4 接続しているソース機を同じように調整します。

セットアップ (初期設定)

本機の主な設定はメニュー方式で選択しながら行います。

モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子と接続している場合はテレビに設定メニューが出ます。

設定の変更

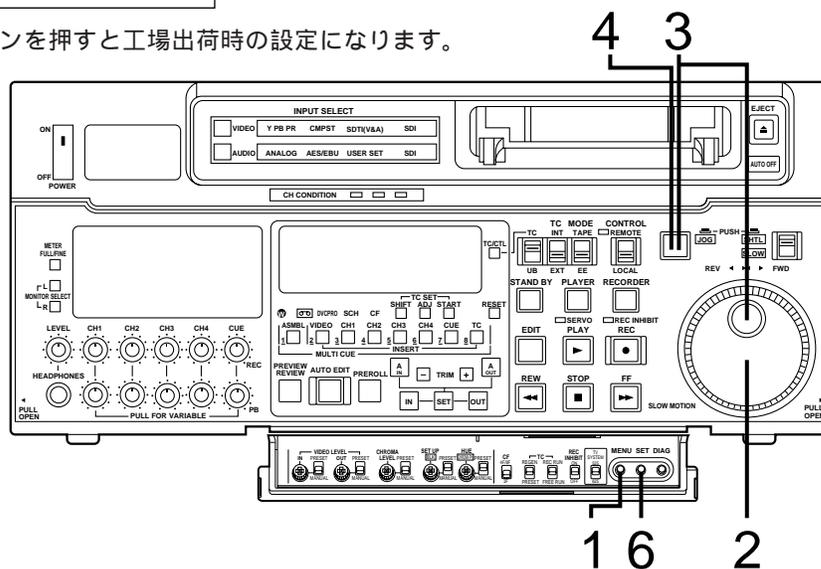
- 1** MENUボタンを押します。
モニターテレビにセットアップメニューの画面が、カウンタ表示部にセットアップメニューの項目No.がそれぞれ表示されます。
(以前にセットアップを行っている場合は、最後に変更を行った画面が表示されます。)
- 2** サーチダイヤルを回して、設定する項目を選びます。
メニュー画面のカーソル(*)が移動し、ディスプレイの項目No.が点滅します。
 - 右に回すと項目No.が001 002 003 004 のように増加し、左に回すと減少します。
 - PLAYボタンを押しながらFFまたはREWボタンを押すと、次または前の項目に切り替わります。
 - サーチダイヤルはできるだけJOGモードでご使用ください。
- 3** 変更する位置で、サーチボタンを押しながら、サーチダイヤルを回します。
メニュー画面およびディスプレイの設定値が点滅します。
ダイヤルを右に回すと設定No.が増加し、左に回すと減少します。
- 4** 設定が終了すると、サーチボタンを離します。
項目No.が点滅します。
 - サーチダイヤルがSHTLモードのときは、静止にしないと項目が移動します。
- 5** 変更する項目がある場合、2～4 を繰り返します。
- 6** SETボタンを押します。
変更した内容は記憶されます。
設定した内容を変更前に戻す場合は、MENUボタンを押します。
 - セットアップの内容を工場出荷(初期設定)に戻すときは、メニューが表示されているときにRESETボタンを押します。以下のメッセージが出ます。

SETUP-MENU INIT SET
YES<PLAY>/NO<STOP>

PLAYボタンを押すと工場出荷時の設定になります。

<ノート>

- RESETボタンを押して工場出荷設定に戻す時は、現在使用されているユーザーファイルのみに限られます。他のユーザーファイルには影響を与えません。
- SYSTEMメニューの内容は、MENUボタンを押しても変更内容が記録されます。

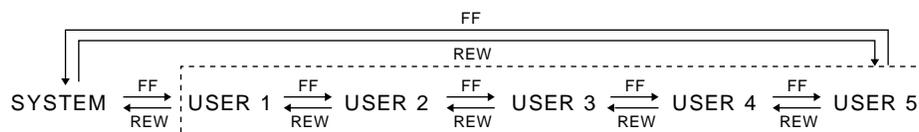


セットアップメニュー

本機は5つのユーザーファイルを持つことができ、それぞれ異なったメニュー設定の中からいずれか1つを選択して使用することができます。

ファイルの変更

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらFFボタンを押すと、次のユーザーファイルに切り替わります。
STAND BYボタンを押しながらREWボタンを押すと、前のユーザーファイルに戻ります。



ユーザーファイル

各ユーザーファイルには下の項目があります。

- BASIC
- OPERATION
- INTERFACE
- EDIT
- TAPE PROTECT
- TIME CODE
- VIDEO
- AUDIO
- V BLANK
- MENU

- 3 ステップ2の操作で使用するユーザーファイルを決めると、SETボタンを押します。
ユーザーファイルを変更して記憶します。

< ノート >

SYSTEMメニューの項目は、ユーザーファイルの1～5の中には含まれないのでユーザーファイルの切り換えを行い、SYSTEMファイルに切り換えた後、SYSTEMメニューの項目を設定してください。

セットアップメニュー

システムファイルおよびユーザーファイル(USER2 ~ USER5)の設定内容を保護するために、ロックモードの設定ができます。ロックモードを設定すると、設定内容の変更ができなくなります。

ロックモードの設定および解除は、システムファイルはセットアップメニューNo.30(MENU LOCK)、ユーザーファイルはセットアップメニューNo.A03(MENU LOCK)で設定できます。

ロックモードの設定および解除

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、ロックモードを設定または解除するファイルを選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル(*)をシステムファイルはNo.30(MENU LOCK)へ、ユーザーファイルはNo.A03(MENU LOCK)へ移動します。
- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、ロックモードの設定および解除を選択します。
ロック設定：設定値を0001(ON)に設定します。
ロック解除：設定値を0000(OFF)に設定します。

ロック設定されている場合、メニュー画面上に「 LOCKED 」を点滅表示します。また、カウンタ表示部が点滅表示から点灯表示になります。

SETUP-MENU	LOCKED
<USER2>	NO.000 - 0005
*000 P-ROLL TIME	5s
001 LOCAL ENA	ST&EJ
002 TAPE TIMER	±12h
003 REMAIN SEL	OFF
004 SETUP NUMBER	OFF
005 METER SELECT	CUE
006 SYNCHRONIZE	OFF
007 SUPER	ON
008 DISPLAY SEL	T&STA

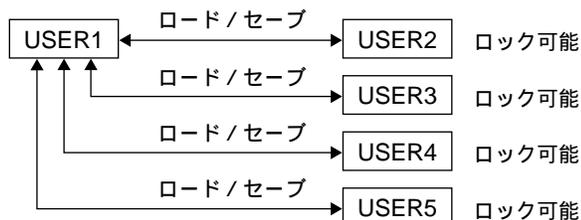
- 5 SETボタンを押します。設定内容が記憶されます。

< ノート >

- USER1はロックモードの設定はできません。
- ロックモードに設定されているファイルは、RESETボタンを押しても工場出荷値へのリセット操作はできません。

セットアップメニュー

USER2～USER5の内容をUSER1へ複写(ロード)することができます。また、USER1の内容をUSER2～USER5へ複写(セーブ)することができます。



ユーザーファイルのロード

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル(*)をNo.A00(LOAD)へ移動します。

```
SETUP-MENU MENU
<USER1> NO.A00 - 0000
804 BLANK LINE BLANK
*A00 LOAD USER2
A01 SAVE USER2
A02 P.ON LOAD OFF
END
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤルを回し、USER1へロードするユーザーファイルを選択します。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU LOAD

USER2 USER1 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

カウンタ表示部

```
TCR 00:00:00:00
SETUP LOAD U-2 U-1
```

■の部分4.の操作で選択されたユーザーファイルNo.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。4.の操作で選択されたユーザーファイルの設定値がロードされてUSER1のメニュー表示となります。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回し、メニュー画面中のカーソル(*)をNo.A00(LOAD)、No.A01(SAVE)以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

ユーザーファイルのセーブ

- 1 MENUボタンを押します。
- 2 STAND BYボタンを押しながらREWボタンまたはFFボタンを押し、USER1を選択します。
- 3 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル(*)をNo.A01(SAVE)へ移動します。

```
SETUP-MENU  MENU
<USER1>     NO.A00 - 0000
 804 BLANK LINE   BLANK
A00 LOAD        USER2
*A01 SAVE        USER2
A02 P.ON LOAD    OFF
END
```

- 4 サーチボタンを押しながらサーチダイヤル回し、USER1の内容をセーブするユーザーファイルを選択します。このとき、ロックモードに設定されているユーザーファイルは表示されません。すべてのユーザーファイルがロックモードに設定されている場合は、“ LOCKED ”表示となりセーブ操作はできません。
- 5 SETボタンを押します。メニュー画面上およびカウンタ表示部に以下のメッセージが表示されます。

メニュー画面

```
SETUP-MENU SAVE

USER1     USER2 OK?
YES<PLAY>/NO<STOP>
```

カウンタ表示部

```
TCR 00:00:00:00
SETUP SAVE U-1 U-2
```

■の部分は4.の操作で選択されたユーザーファイルNo.が表示されます。

- 6 PLAYボタンを押します。USER1の内容が4.の操作で選択されたユーザーファイルへセーブされて記憶されます。STOPボタンを押すと、設定値は変更されずUSER1のメニュー表示となります。
- 7 サーチダイヤルを回して、メニュー画面中のカーソル(*)をNo.A00(LOAD)、No.A01(SAVE)以外へ移動します。
- 8 SETボタンを押します。USER1の設定内容が記憶されます。
USER1の設定内容を記憶しない場合は、SETボタンを押さずにMENUボタンを押します。

電源投入時のユーザーファイルの自動呼出し

セットアップメニューNo.A02(P.ON LOAD)でロードするユーザーファイルを予め選択しておく、電源を投入したとき自動的にそのファイルをUSER1へロードすることができます。

SYSTEM メニュー

< SYSTEM > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
17	SYS H RANGE	0000 0001	FULL FINE	ENCODER REMOTE接続時のSYSTEM Hの可変範囲を選択します。 0 : ±8μsec 1 : - 2.0 ~ + 2.7μsec < ノート > •工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。 •ENCODER REMOTEを使用せず、本機でSYSTEM Hを可変する場合は、本設定に関係なくFULL動作となります。
18	SYS H OFFSET	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006	- 3 - 2 - 1 0 1 2 3	システム位相調整 0 : - 13.4μsec 1 : - 8.96μsec 2 : - 4.52μsec 3 : 0 sec 4 : + 4.52μsec 5 : + 8.96μsec 6 : + 13.4μsec < ノート > 工場出荷時設定操作を行っても、設定値は変化しません。
19	SYS SC/H	0000 0001	REMOTE LOCAL	システム位相調整を本機で行うか、外部のエンコーダリモートから行うかを設定します。 0 : 外部のエンコーダリモートコントローラからシステム位相調整を行います。 1 : 本機でシステム位相調整を行います。 < ノート > SYSTEMメニューNo.10(ENCODER SEL)でLOCALが選択されている場合は、本設定は関係しません。
30	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	システムファイルのロックモードの設定 / 解除を選択します。 0 : ロック解除(変更可能) 1 : ロック設定(変更禁止) < ノート > セットアップメニューNo.00(WFM SEL)は、本メニューの設定に関係なく常に変更可能です。

___は工場出荷モードです。

ビデオ出力信号の各調整について

ビデオ出力信号の各調整については、SYSTEM メニューNo.10(ENCODER SEL)とNo.19(SYS SC/H)設定により行います。各調整の制御マトリクスを下表に示します。

設定		調整項目		
SYSTEM メニュー 10: ENCODER SEL	SYSTEM メニュー 19: SYS SC/H	SYSTEM メニュー 11: SYS SC 12: SYS H	SYSTEM メニュー 17: SYS H RANGE	VIDEO LEVEL CHROMA LEVEL SET UP HUE
LOCAL	LOCAL REMOTE	本機	設定に関係なく 常にFULL	本機
REMOTE	LOCAL REMOTE	本機 外部エンコーダリモート		FULL/FINE

セットアップメニュー

USER メニュー

< BASIC >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
000	P-ROLL TIME	0000 } 0005 } 0015	0S } 5S } 15S	プリロール時間を設定します。 0秒～15秒の間で1秒単位で設定できます。 < ノート > VTR本体での自動編集 [PREVIEW、AUTO EDIT] 時は プリロール時間が0秒に設定されていると動作しません。
001	LOCAL ENA	0000 0001 0002	DIS ST&EJ ENA	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、フロン トパネルで操作可能なボタンを選択します。 0 : すべて不可 1 : STOP、EJECTボタンのみ可能 2 : RECORDER、PLAYERボタン以外すべて可能
002	TAPE TIMER	0000 0001	± 12h 24h	CTLカウンタ表示の12/24時間表示を選択します。 0 : 12時間表示 1 : 24時間表示
003	REMAIN SEL	0000 0001	OFF ON	フロントおよびVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子の スーパー表示にREMAIN(テープ残量時間)を表示する かどうかを選択します。 0 : 表示しません。 1 : 表示します。 < ノート > ●フロントおよびスーパーの2行目右端にREMAIN表示さ れます。 ●1(ON)を選択した場合であっても、EJECTおよびカ セットイン後でテープ残量の計算を行っている間は表示 されません。 ●セットアップメニューNo.008(DISPLAY SEL)でTIME に設定されている場合はスーパーには表示されません。 ●セットアップメニューNo.111(FRZ MODE SEL)でフ リーズマーク(F)が表示されている場合は表示されま せん。 ●テープの始端および終端を検出し、BOTおよびEOTが表 示されている場合は表示されません。
004	SETUP NUMBER	0000 0001	OFF ON	フロントにSETUP-MENUのユーザーファイルNo.表示を 行うかどうかを選択します。 0 : 表示しません。 1 : 表示します。
005	METER SELECT	0000 0001	CUE VIDEO	レベルメータの表示に、CUEトラック信号またはビデオ 信号のレベルを表示することができます。 0 : CUEトラック信号レベルを表示します。 1 : ビデオ信号レベルを表示します。
006	SYNCHRO- NIZE	0000 0001	OFF ON	2台のデッキ間で調相するかしないかを設定します。 0 : 調相をかけません。編集点が数フレームずれますが編 集に素早く入れます。 1 : 調相をかけます。誤差のない編集をすることができ ます。
007	SUPER	0000 0001 0002	OFF ON SW	VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子にタイムコード等の スーパー表示を行うかどうかを選択します。 0 : 表示しません。 1 : 表示します。 2 : フロントパネル下部のSETボタンを押しながらPLAYボ タンを押すたびにスーパー表示のON/OFFを切替えます。 < ノート > PLAYボタンを先に押すと通常の再生動作になります。

— は工場出荷モードです。

USER メニュー

< BASIC > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
008	DISPLAY SEL	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006	TIME T&STA T&S&M T&RT T&YMD T&MDY T&DMY	VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の表示内容を選択します。 0 : 時間のみ 1 : 時間および動作モード 2 : 時間、動作モードおよびモード 3 : 時間およびREC TIME 4 : 時間およびREC DATE(年月日) 5 : 時間およびREC DATE(月日年) 6 : 時間およびREC DATE(日月年) < ノート > 1. モード表示は、 DVCPRO50(50Mbps)時は、DVCPRO_50表示 DVCPRQ(25Mbps)時は、DVCPRO表示 DV時は、DV表示 DVCAM時は、DVCAM表示 2. 2(T&S&M)設定時に、ワーニングまたはエラーが発生した場合、エラーメッセージを表示します。 3. REC TIMEおよびREC DATEはDV/DVCAM再生時のみ表示します。DVCPRO50(50Mbps)、DVCPRO(25Mbps)時は動作モードを表示します。
009	CHARA H-POS	0000 } 0004 } 0015	0 } 4 } 15	VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の水平方向文字位置を設定します。 < ノート > 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。 また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態でVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子へ出力します。
010	CHARA V-POS	525モード 0000 } 0018 } 0022 625モード 0000 } 0023 } 0028	0 } 18 } 22 0 } 23 } 28	VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子のタイムコード等のスーパー表示の垂直方向文字位置を設定します。 < ノート > 1. 本項目設定時は、SUPER OFFであっても、DISPLAY SELの状態ではVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子へ出力します。ただし、MENUを抜けた場合は、SUPER OFF/ONの設定に従います。 また、CHARA TYPEはMENU中の設定状態でVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3へ出力します。 2. DISPLAY SELの状態により画面から文字がはみ出す場合、設定値は変化しますが、文字は自動的にはみ出ない位置に表示します。
011	CHARA TYPE	0000 0001	WHITE W/OUT	VIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子のスーパーおよび、SETUP-MENU等の表示タイプを選択します。 0 : 白文字で、背景は黒 1 : 白文字で、黒のふちどり
012	SYS FORMAT	0000 0001	50M 25M	本機の記録・再生フォーマットを設定します。 0 : DVCPRO50(50Mbps)を選択します。 1 : DVCPRQ(25Mbps)を選択します。

___は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー

< BASIC > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
013	PB FORMAT	0000	MANUAL	テープ再生時のフォーマットを設定します。 0 : セットアップメニューNo.012(SYS FORMAT)の設定にしたいがいます。 1 : セットアップメニューNo.014(FORMAT SEL)の設定がDVCPROモードの場合、テープに記録されているフォーマットにしたいがいます。 < ノート > ●編集モード選択時は内部動作は強制的に「MANUAL」になります。 ●525/625モードの自動設定は行えません。
		0001	AUTO	
014	FORMAT SEL	0000	DVCPRO	LカセットおよびSカセット使用時のフォーマットを選択します。 0 : Lカセット DVCPRO(50Mbps、25Mbps)モード Sカセット DVモード 1 : Lカセット・Sカセットともに、DVモード 2 : Lカセット・Sカセットともに、DVCAMモード 3 : STOPボタンとフロントパネル下部のSETボタンを同時に押すたびに、以下のようにフォーマットが切りかわります。 Lカセット : DVCPROモード DVモード DVCAMモード DVCPROモード ... Sカセット : DVモード DVCAMモード DVモード ... ただし、EJECT、STOP、STANDBY-OFFなど、テープが停止した状態でのみ切りかわります。 また、ローディング完了状態でフォーマットを切りかえると、REMAIN表示が正確に出ない場合があります。 < ノート > 選択したフォーマットと違うテープを挿入すると、再生以外に以下の不具合がありますのでご注意ください。 1. DVCPROモード選択時にDV/DVCAMテープを挿入すると、記録動作を行いますが、性能等の保証はできません。 また、逆にDV、DVCAMモード選択時にDVCPROテープを挿入しても記録できません。 2. REMAIN表示が正確に出ません。 3. テープ始端、終端近傍でのスローダウン位置が正確に出ません。 4. その他、フォーマットの異なるテープを挿入した場合、性能などの保証はできません。
		0001	DV	
		0002	DVCAM	
		0003	SW	
015	MONI CONTROL	0000	MANU	デッキ対デッキ編集時、モニタがレコーダ側だけに接続されている場合、レコーダ側のPLAYERボタンを押すことにより、強制的にレコーダをEEモードにし、プレーヤの再生信号をモニタに出力するかどうかを設定します。 0 : 強制的にEEモードにはならない。 1 : 強制的にEEモードになり、プレーヤの再生信号が出力されます。
		0001	AUTO	
016	CU-ROLL TIME	0000	0s	マルチキュー機能ON設定時、PREROLLボタンによるプリロール時間を設定します。0～15秒の間で、1秒単位で設定できます。
		0015	15s	

____は工場出荷モードです。

USER メニュー

< OPERATION >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
100	SEARCH ENA	0000 0001	DIAL KEY	ダイレクトサーチダイヤル操作を選択します。 0 : ダイレクトサーチダイヤルの操作になります。 1 : サーチボタンを押さないとサーチモードに移行しません。
101	SHTL MAX	0000 0001 0002	X8.4 X16 X32	シャトル動作の最大速度を設定します。 0 : X8.4(7.0)倍速 1 : X16倍速 2 : X32倍速 < ノート > ()表示はDV/DVCAM時
102	FF. REW MAX	0000 0001 0002	X16 X32 X50	FF、REW動作の最大速度を設定します。 0 : X16(32)倍速 1 : X32(60)倍速 2 : X50(100)倍速 < ノート > ●()表示はDVCPRQ(25Mbps)モード時の速度です。 ●DV/DVCAMフォーマットの場合は、本設定に関係なく、×32になります。
103	AUDIO MUTE	0000 0001	OFF ON	STOPまたはサーチからPLAYに移行したとき、音声信号が出力されるまでの状態を設定します。 0 : 音声出力されるまでの時間が短くなります。 1 : 完全な状態になってから音声出力します。 < ノート > 0(OFF)に設定した場合、出力される最初の部分は不完全な音になるため、放送用に使用することはおすすめできません。
104	REF ALARM	0000 0001	OFF ON	REF. VIDEOが接続されていないときに警告表示するかどうかを選択します。 0 : 表示しません。 1 : STOPランプを点滅させることで警告表示します。
105	AUTO EE SEL	0000 0001 0002 0003 0004 0005	S/F/R STOP BLACK BLACK1 GRAY GRAY1	TAPE/EE SWがEEの時、EE状態になるVTRのモードを選択します。 0 : STOP、FF、REWの時、EE状態になります。 ただし、EJECTはTAPE/EE SW状態に関係なく常にEE状態になります。 1 : STOPの時のみ、EE状態になります。 ただし、EJECTはTAPE/EE SW状態に関係なく常にEE状態になります。 2 : STOPの時のみ、EE状態になります。 ただし、EJECTはTAPE/EE状態によりEE時； EE状態になります。 TAPE時； 映像は、BLACK状態になります。 音声は、ミュート状態になります。 3 : STOP、FF、REWの時、EE状態になります。 ただし、EJECTはTAPE/EE SW状態によりEE時； EE状態になります。 TAPE時； 映像は、BLACK状態になります。 音声は、ミュート状態になります。 4 : STOPの時のみ、EE状態になります。 ただし、EJECTはTAPE/EE SW状態によりEE時； EE状態になります。 TAPE時； 映像は、GRAY状態になります。 音声は、ミュート状態になります。 5 : STOP、FF、REWの時、EE状態になります。 ただし、EJECTはTAPE/EE SW状態によりEE時； EE状態になります。 TAPE時； 映像は、GRAY状態になります。 音声は、ミュート状態になります。

___は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

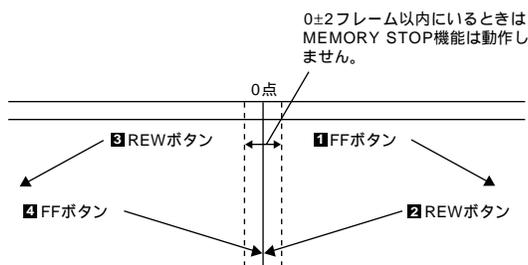
USER メニュー

< OPERATION > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
106	EE MODE SEL	0000 0001	NORMAL THRU	EEモード時の出力信号を選択します。 0 : 内部で信号処理した時間分、遅延した信号を出力します。 1 : 内部で信号処理を加えず、遅延なしでそのまま信号を出力します。 < ノート > 編集モード選択時、ビデオの入力信号選択においてSDTIを選択した時、ビデオまたはオーディオにおいてINT SGを選択した時は内部動作は強制的に「NORMAL」になります。
107	PLAY DELAY	0000 0015	0 15	PLAYの立ち上がり時間をフレーム単位で設定します。
108	CAP.LOCK	0000 0001	4F 8F	CFスイッチが4F/8Fに設定されている時のCAPSTAN LOCKモードを選択します。 0 : 4Fモード 1 : 8Fモード < ノート > 525モード時は、このセットアップメニューは表示されません。
109	AUTO REW	0000 0001	OFF ON	テープ終端を検出した場合、自動的にテープ始端まで巻き戻すかどうかを選択します。 0 : テープ終端で停止します。 1 : テープ始端まで巻き戻します。
110	MEMORY STOP	0000 0001	OFF ON	CTLモードのFFおよびREW動作において、カウンタ値が0の位置で自動的に停止するかどうかを選択します。 0 : VTRは停止しません。 1 : VTRは自動的に停止します。 < ノート > 1. 停止モードは、セットアップメニューNo.315(AFTER CUE-UP)の設定により停止または静止画(SHTL STILL)モードとなります。 2. AUTO REW機能とMEMORY機能が同時に選択されている場合、AUTO REW機能が優先となります。

____は工場出荷モードです。

MEMORY STOP機能説明



- 1 FFボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のFF動作になります。
- 2 REWボタンを押した場合、PREROLLランプ(SHTLランプも点灯)が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。
- 3 REWボタンを押した場合は動作する方向に0点がないため、通常のREW動作になります。
- 4 FFボタンを押した場合、PREROLLランプ(SHTLランプも点灯)が点灯し、VTRはPREROLL動作を行い、カウンタ値が0の位置で自動的に停止します。

USER メニュー

< OPERATION > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
111	FRZ MODE SEL	0000	DIS	<p>スタンバイOFF(ハーフローディング)モードおよびEJECTモードでの出力画像を選択します。</p> <p>0 : 映像出力をミュートします。</p> <p>1 : スタンバイOFF(ハーフローディング)モード時のみ、その時点での再生画をフリーズして出力します。</p> <p>2 : スタンバイOFF(ハーフローディング)モードおよびEJECTモード時、その時点での再生画をフリーズして出力します。</p> <p>< ノート ></p> <ul style="list-style-type: none"> ●フリーズ時の状態は、セットアップメニューNo.605 (FREEZE SEL) の設定に従います。 ●EJECTモードは、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL) が2(BLACK) 3(BLACK1) 4(GRAY) 5(GRAY1) の設定時のみフリーズ画を出力します。
		0001	STBOFF	
		0002	SOF&EJ	
112	V IN SEL INH	0000	OFF	<p>INPUT SELECTスイッチでのビデオ入力切換モードを選択します。</p> <p>0 : INPUT SELECTスイッチでのビデオ入力切換が可能になります。</p> <p>1 : INPUT SELECTスイッチでのビデオ入力切換が禁止されます。</p> <p>2 : 本機が記録(編集は除く)に移行した後は、INPUT SELECTスイッチでのビデオ入力切換が禁止されます。</p> <p>< ノート ></p> <p>1(ON)または2(REC)を選択し、INPUT SELECTスイッチでのビデオ入力切換が禁止されている場合であっても、セットアップメニューNo.600(INT SG)を設定することができます。</p>
		0001	ON	
		0002	REC	
113	A IN SEL INH	0000	OFF	<p>INPUT SELECTスイッチでのオーディオ入力切換モードを選択します。</p> <p>0 : INPUT SELECTスイッチでのオーディオ入力切換が可能になります。</p> <p>1 : INPUT SELECTスイッチでのオーディオ入力切換が禁止されます。</p> <p>2 : 本機が記録(編集は除く)に移行した後は、INPUT SELECTスイッチでのオーディオ入力切換が禁止されます。</p> <p>< ノート ></p> <p>1(ON)または2(REC)を選択し、INPUT SELECTスイッチでのオーディオ入力切換が禁止されている場合であっても、セットアップメニューNo.700(INT SG) No.715(CH1 IN SEL) No.716(CH2 IN SEL) No.717(CH3 IN SEL) No.718(CH4 IN SEL) No.719(D IN SEL12) No.720(D IN SEL34) を設定することができます。</p>
		0001	ON	
		0002	REC	
114	REC INH LAMP	0000	LIGHT	<p>カセットが誤消去防止状態になっている時に、REC INHIBITランプを点滅または点灯させるかを選択します。</p> <p>0 : ランプが点灯します。</p> <p>1 : ランプが点滅します。</p> <p>< ノート ></p> <p>REC INHIBITスイッチがONに設定されている場合は、本設定に関係なくREC INHIBITランプは常時点灯します。</p>
		0001	FLASH	
115	EJECT SW INH	0000	REC	<p>フロントパネルのEJECTボタン操作の許可/禁止を選択します。</p> <p>0 : 記録モード中は禁止されます。</p> <p>1 : すべてのモードにおいて、操作が可能になります。</p>
		0001	OFF	

— は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー

< OPERATION > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
116	EJECT LAMP	0000 0001	MODE1 MODE2	カセットアウト状態でEJECTランプを点灯させたままとするか、消灯させるかを選択します。 0 : EJECTランプは点灯したままとなります。 1 : EJECTランプは消灯します。
130	MULTI CUE	0000 0001	OFF ON	マルチキュー機能のON/OFFを選択します。 0 : マルチキュー機能OFF 1 : マルチキュー機能ON <ノート> <ul style="list-style-type: none"> マルチキュー機能ON設定時は、編集ができません。 編集モード選択状態においてマルチキュー機能をONにすると、自動的に編集チャンネル選択ボタンを解除します。 マルチキュー機能ON設定時は、デッキ対デッキは使用できません。 マルチキュー機能ON設定時は、フロントパネルカウンタ表示部のモード表示はできません。
131	PAGE MODE	0000 0001	MANU AUTO	マルチキュー機能ON設定時、キュー点の登録動作を選択します。 0 : 選択されたページ内での動作となり、8ポイントのキュー点が登録できます。 1 : キュー点登録中ページが一杯になったときは、自動的に次ページへ移り登録を続けます。最大10ページまで、合計80ポイントのキュー点が登録できます。
132	ROTA MODE	0000 0001	OFF ON	マルチキュー機能ON設定時、すべてのキュー点がすでに登録されている場合の登録動作を選択します。 0 : 登録動作は行いません。 1 : 登録動作を続けます。セットアップメニューNo.131 (PAGE MODE) がMANUに設定されている場合はそのページ内のCUE*1へ、AUTOに設定されている場合はCUE01へ登録します。

___は工場出荷モードです。

USER メニュー

< INTERFACE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
200	PARA RUN	0000 0001	DIS ENA	2 台以上のVTR を同期運転させるかを選択します。 0 : 同期運転させません。 1 : 同期運転させます。 < ノート > 同期運転させる場合は、すべてのVTRを1(ENA)に設定します。
201	9P SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、9P端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
202	ID SEL	0000 0001	OTHER DVCPRO	コントローラに返すID情報を選択します。 0 : 20 25H ; 525モード、21 25H ; 625モード 1 : DVCPROの独自のID(F0 33H ; 525モード、F1 33H ; 625モード)を返します。
203	25P SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「REMOTE」の時、PARALLEL(25P)端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
204	RS232C SEL	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCAL SWがREMOTEの時、RS-232C端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しない。 1 : 機能する。
205	BAUD RATE	0000 0001 0002 0003 0004 0005	300 600 1200 2400 4800 9600	RS-232Cの通信速度(ボーレート)を設定します。
206	DATA LENGTH	0000 0001	7 8	RS-232Cのデータ長を設定します。 (単位 : BIT)
207	STOP BIT	0000 0001	1 2	RS-232Cのストップビット長を設定します。 (単位 : BIT)
208	PARITY	0000 0001 0002	NON ODD EVEN	RS-232Cのパリティビットの有無、奇数、偶数を設定します。 0 : パリティビットを使用しない。 1 : パリティビットを奇数パリティで使用する。 2 : パリティビットを偶数パリティで使用する。
209	RETURN ACK	0000 0001	OFF ON	RS-232Cからのコマンド受信時、ACKコードを返信するかどうかを設定します。 0 : ACKコードを返信しない。 1 : ACKコードを返信する。
210	25P STBY CMD	0000 0001	OFF/ON ON	PARALLEL(25P)端子におけるSTANDBY COMMANDの信号入力検出方法を選択します。 0 : アクティブ信号を検出する毎に、スタンバイON/OFFモードが交互に切り替わります。 1 : スタンバイOFFモードにおいて、アクティブ信号を検出した場合、スタンバイONモードに移行します。スタンバイONモード中の動作には影響しません。

___ は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー

< INTERFACE > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
211	LOCAL 25P	0000 0001	OFF ON	REMOTE/LOCALスイッチが「LOCAL」の時、PARALLEL (25P)端子が機能するかどうかを選択します。 0 : 機能しません。 1 : 機能します。
212	MASTER PORT	0000 0001	IN/OUT OUT	本機をデッキ対デッキ操作時において、マスター機として使用する場合、スレーブ機を制御するリモートコントロール端子を選択します。 0 : IN/OUT端子を使用します。 1 : OUT端子を使用します。 <ノート> 本設定はREMOTE/LOCALスイッチが「LOCAL」の時のみ有効です。

___は工場出荷モードです。

USER メニュー

< EDIT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
301	IN/OUT DEL	0000 0001	MANU AUTO	編集点を誤って設定したとき(OUT点がIN点より前にあるとき)の動作を選択します。 0 : 不正な編集点を削除するか、正しく設定し直さないと編集を実行しません。 1 : あらかじめ入力されていた編集点を自動的に削除します。
302	NEGA FLASH	0000 0001	OFF ON	IN点がOUT点より大きい時、ネガティブ表示するかを選択します。 0 : ネガティブ表示をしません。 1 : ネガティブ表示をします。
303	STD/ NON-STD	0000 0001 0002	AUTO STD N-STD	コンボジット入力信号に合わせてSTDまたはNON-STDを選択します。 0 : スタンダード / ノンスタンダード信号を自動検出して処理します。 1 : スタンダード信号処理を行います。(強制STD) 2 : ノンスタンダード信号処理を行います。(強制NON-STD) <ノート> レーザーディスク、サテライトからの信号などで映像、音声に不具合が発生する場合は、NON-STD(N-STD)にご使用ください。
304	SERVO REF	0000 0001 0002	AUTO EXT INPUT	サーボの同期する信号を選択します。 0 : 記録、編集時は入力信号に同期し、再生時はREF信号に同期します。 1 : 常にREF信号に同期します。 2 : 常に入力信号に同期します。
305	EDIT RPLCE1	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1+2	デジタルオーディオのエディットプリセットをコントロールする機能のないコントローラで、VTRのデジタルオーディオを編集する時、コントローラのアナログオーディオプリセットに対する各チャンネルの割り当てを設定します。VTRのCH1のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 3 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
306	EDIT RPLCE2	0000 0001 0002 0003	N-DEF CH1 CH2 CH1+2	セットアップメニューNo.305と同様に、本機のCH2のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0 : 設定しません。 1 : アナログCH1エディットプリセットに従います。 2 : アナログCH2エディットプリセットに従います。 3 : アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。

___は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー

< EDIT > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
307	EDIT RPLCE3			セットアップメニューNo.305と同様に、本機のCH3のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0：設定しません。 1：アナログCH1エディットプリセットに従います。 2：アナログCH2エディットプリセットに従います。 3：アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
		0000	N-DEF	
		0001	CH1	
		0002	CH2	
		0003	CH1+2	
308	EDIT RPLCE4			セットアップメニューNo.305と同様に、本機のCH4のエディットプリセットをコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0：設定しません。 1：アナログCH1エディットプリセットに従います。 2：アナログCH2エディットプリセットに従います。 3：アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
		0000	N-DEF	
		0001	CH1	
		0002	CH2	
		0003	CH1+2	
309	EDIT RPLCEC			セットアップメニューNo.305と同様に、本機のCUEのエディットプリセットをエディタまたはコントローラで指定したアナログオーディオに従ってON/OFF設定します。 0：設定しません。 1：アナログCH1エディットプリセットに従います。 2：アナログCH2エディットプリセットに従います。 3：アナログCH1またはCH2エディットプリセットに従います。
		0000	N-DEF	
		0001	CH1	
		0002	CH2	
		0003	CH1+2	
310	CONFI EDIT	0000	OFF	編集中に同時再生を行うかどうかを選択します。 0：同時再生を行いません。 1：同時再生を行います。 <ノート> TAPE/EE SWが「TAPE」側の場合に同時再生が有効になります。
		0001	ON	
311	AUD EDIT IN	0000	CUT	デジタルオーディオ編集IN点の繋ぎ方を選択します。 0：カット処理 1：Vフェード処理
		0001	FADE	
312	AUD EDIT OUT	0000	CUT	デジタルオーディオ編集OUT点の繋ぎ方を選択します。 0：カット処理 1：Vフェード処理
		0001	FADE	
313	AUTO ENTRY			IN点が登録されていない場合に、PREROLLボタンでIN点を登録するかどうかを選択します。 0：登録しません。 1：登録します。
		0000	DIS	
		0001	ENA	
314	CF ADJ SEL	0000	PLAYER	デッキ対デッキ編集時、CF補正するデッキを選択します。 0：PLAYERのIN/OUT点を補正します。 (RECORDER基準) 1：RECORDERのIN/OUT点を補正します。 (PLAYER基準)
		0001	RECORD	
315	AFTER CUE-UP	0000	STOP	キューアップ動作終了後の本機のモードを選択します。 0：STOPモードになります。 1：静止画(SHTL STILL)モードになります。
		0001	STILL	

____は工場出荷モードです。

USER メニュー

< EDIT > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
317	AUD MEM MODE			<p>オーディオメモリーユニットAJ-YA752または内蔵オーディオメモリーを用いて、ヴォイスオーバー/オーディオクロスチャンネル編集を行う設定します。</p> <p>0 : ヴォイスオーバー/オーディオクロスチャンネル編集を行わない場合。</p> <p>1 : オーディオメモリーユニットAJ-YA752を用いて、オーディオクロスチャンネル編集を行う場合。</p> <p>2 : オーディオメモリーユニットAJ-YA752を用いて、ヴォイスオーバー編集を行う場合。</p> <p>3 : 内蔵のオーディオメモリーを用いて、オーディオクロスチャンネル編集を行う場合。</p> <p>4 : 内蔵のオーディオメモリーを用いて、ヴォイスオーバー編集を行う場合。</p> <p>< ノート ></p> <ul style="list-style-type: none"> 1(AMU_X)または2(AMU_VO)に設定すると、RS-232Cインターフェースは機能しません。 2(AMU_VO)または4(INT_VO)に設定すると、セットアップメニューNo.318(AUD MEM CH)で設定されたチャンネルをCUEの系を使用して、内部で自動的に遅延をなくしモニターへ出力します。従って、CUEオーディオは機能しなくなり、またセットアップメニューNo.726(REC CUE)も内部で自動的に切替えるため機能しなくなります。 <p>本機に内蔵しているメモリーは、最大20秒間の1チャンネル分の音声記録できます。20秒以上の音声メモリーの書込みを行っても、20秒を超えた音声信号はメモリーには書込めませんのでご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> オーディオメモリーユニットを用いた各モードの使用方法は、オーディオメモリーユニットAJ-YA752の取扱説明書をご参照ください。
		0000	OFF	
		0001	AMU_X	
		0002	AMU_VO	
		0003	INT_X	
0004	INT_VO			
318	AUD MEM CH			<p>オーディオメモリーユニットAJ-YA752を用いてヴォイスオーバー/オーディオクロスチャンネル編集を行うチャンネルの設定します。</p> <p>0 : CH1に記録を行う。</p> <p>1 : CH2に記録を行う。</p> <p>2 : CH3に記録を行う。</p> <p>3 : CH4に記録を行う。</p> <p>< ノート ></p> <p>セットアップメニューNo.317(AUD MEM MODE)を2(AMU_VO)に設定している場合、本設定は関係しません。</p>
		0000	CH1	
		0001	CH2	
		0002	CH3	
		0003	CH4	
320	VAR FWD MAX			<p>VAR FWDの最大速度を設定します。</p> <p>0 : +4.1(+3.1)倍速</p> <p>1 : +2(+1.85)倍速</p> <p>2 : +1倍速</p> <p>< ノート ></p> <ul style="list-style-type: none"> ()表示はDV/DVCAM時 0(+4.1)以外の設定では編集コントローラからの調相ができません。
		0000	+ 4.1	
		0001	+ 2	
		0002	+ 1	

____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー

< EDIT > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
321	VAR REV MAX	0000 0001 0002	- 4.1 - 2 - 1	VAR REVの最大速度を設定します。 0 : - 4.1(- 3.1)倍速 1 : - 2(- 1.85)倍速 2 : - 1倍速 < ノート > ()表示はDV/DVCAM時
323	JOG FWD MAX	0000 0001 0002	+ 4.1 + 2 + 1	JOG FWDの最大速度を設定します。 0 : + 4.1(+ 3.1)倍速 1 : + 2(+ 1.85)倍速 2 : + 1倍速 < ノート > •()表示はDV/DVCAM時 •フロントでのダイヤル操作時は最大 + 2(+ 1)倍速再生となります。 •0(+ 4.1)以外の設定ではJOGコマンドにより調相を行う編集コントローラからの調相ができません。
324	JOG REV MAX	0000 0001 0002	- 4.1 - 2 - 1	JOG REVの最大速度を設定します。 0 : - 4.1(- 3.1)倍速 1 : - 2(- 1.85)倍速 2 : - 1倍速 < ノート > •()表示はDV/DVCAM時 •フロントでのダイヤル操作時は最大 - 1(- 1)倍速再生となります。
325	POSTROLL TM	0000 0001 0002 0003 0004 0005	0s 1s 2s 3s 4s 5s	ポストロール時間を設定します。 0秒～5秒の間で1秒単位で設定できます。

___は工場出荷モードです。

USER メニュー

< TAPE PROTECT >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
400	STILL TIMER	0000	0.5s	STOP、サーチSTILL(JOG/VAR/SHTL)の状態では放置された時、テープ保護モードになるまでの時間を選択します。 (単位 s : 秒、min : 分) <ノート> ●DV/DVCAMテープを使用する時、10s以上を選択しても10sで処理されます。 ただし、選択画面は2minまで動作します。 ●テープ保護モードはSTEP FWDとHALF LOADINGとがあり、STOP時とサーチSTILL時とで、それぞれ設定できます。
		0001	5s	
		0002	10s	
		0003	20s	
		0004	30s	
		0005	40s	
		0006	50s	
		0007	1min	
		0008	2min	
401	SRC PROTECT	0000	STEP	サーチSTILL(JOG/VAR/SHTL)の状態では、セットアップメニューNo.400(STILL TIMER)で設定した時間が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入るが、ここではどのようなテープ保護モードにするかを選択します。 0 : STEP FWD 1 : HALF LOADING <ノート> STEP FWDが選択されている時に、STILLの状態では放置された合計時間が30分(DV/DVCAMテープの場合は1分)になると、自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング)モードへ移行します。
		0001	HALF	
402	DRUM STDBY	0000	OFF	スタンバイOFF(ハーフローディング)モード時のドラムの動作を選択します。 0 : ドラムの回転は停止します。 1 : ドラムは回転を続けます。
		0001	ON	
403	STOP PROTECT	0000	STEP	STOP状態で、セットアップメニューNo.400(STILL TIMER)で設定した時間が経過すると自動的に本機はテープ保護モードに入るが、ここではどのようなテープ保護モードにするかを選択します。 0 : STEP FWD 1 : HALF LOADING <ノート> STEP FWDが選択されている時に、STOPの状態では放置された合計時間が30分(DV/DVCAMテープの場合は1分)になると、自動的にスタンバイOFF(ハーフローディング)モードへ移行します。
		0001	HALF	

___は工場出荷モードです。

STILL TIMER設定のご注意

番組送出時等、繰り返し同一素材使用の時などには、同一箇所での累計待機時間が長くなります。

セットアップメニュー

USER メニュー

< TIME CODE >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
500	VITC BLANK	0000 0001	BLANK THRU	セットアップメニューNo.501(VITC POS-1)とNo.502 (VITC POS-2)で選択された位置に、VITC信号を出力するかどうかを選択します。 0 : 出力しません。 1 : 出力します。
501	VITC POS-1	525モード		VITC信号の挿入位置を設定します。 <ノート> セットアップメニューNo.502(VITC POS-2)と同じラインは選択できません。
		0000	10L	
		0006	16L	
		0010	20L	
		625モード		
		0000	7L	
0004	11L			
0015	22L			
502	VITC POS-2	525モード		VITC信号の挿入位置を設定します。 <ノート> セットアップメニューNo.501(VITC POS-1)と同じラインは選択できません。
		0000	10L	
		0008	18L	
		0010	20L	
		625モード		
		0000	7L	
0006	13L			
0015	22L			
503	TCG REGEN	0000 0001 0002	TC&UB TC UB	TCG(タイムコードジェネレータ)がREGENモードの時、REGENする信号を選択します。 0 : タイムコード、ユーザービット共にREGENします。 1 : タイムコードのみREGENします。 2 : ユーザービットのみREGENします。
504	REGEN MODE	0000 0001 0002 0003	AS&IN ASSEM INSRT SW	本機のコントロールパネルを使用した自動編集で、タイムコードをREGENするかどうかを選択します。 0 : アセンブルまたはインサート編集でREGENします。 1 : アセンブル編集でREGENします。 2 : インサート編集でREGENします。 3 : REGEN/PRESETスイッチに従います。
505	EXT TC SEL	0000 0001	LTC VITC	外部タイムコードを用いる際、使用するタイムコードを選択します 0 : TIME CODE IN端子のLTC を使用します。 1 : ビデオ信号のVITCを使用します。
506	BINARY GP	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	000 001 010 011 100 101 110 111	TCGで発生するタイムコードのユーザービットの使用状態を設定します。 0 : NOT SPECIFIED(キャラクタセットを指定しない) 1 : ISO CHARACTER(ISO646、ISO2022に準拠した8bitキャラクタセット) 2 : UNASSIGNED 1(未定義) 3 : UNASSIGNED 2(未定義) 4 : UNASSIGNED 3(未定義) 5 : PAGE/LINE 6 : UNASSIGNED 4(未定義) 7 : UNASSIGNED 5(未定義)

___は工場出荷モードです。

USER メニュー

< TIME CODE > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
507	PHASE CORR	0000 0001	OFF ON	TCGで発生するLTCの位相補正コントロールを行うかどうかを選択します。 0 : 位相補正コントロールは行いません。 1 : 位相補正コントロールを行います。
508	TCG CF FLAG	0000 0001	OFF ON	TCGのCFフラグをONするかどうかを選択します。 0 : CFフラグをOFFします。 1 : CFフラグをONします。
509	DF MODE	0000 0001	DF NDF	CTLおよびTCGのDF/NDFを選択します。 0 : ドロップフレームモード 1 : ノンドロップフレームモード <ノート> • DF MODEはLOCALまたはセットアップメニューNo.001 (LOCAL ENA)が、「ENA」の時のみ有効です。 • 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
510	TC OUT REF	0000 0001	V OUT TC IN	TC INT/EXT SWが「EXT」の時、外部LTC入力に対してTIME CODE OUT端子から出力されるタイムコードの位相を切換えます。 0 : 出力映像に合わせます。 1 : 外部タイムコード入力に合わせます。
511	VITC OUT	0000 0001	SBC VAUX	出力ビデオ信号に重畳するVITCの出力方法を選択します。 0 : 記録時 セットアップメニューNo.505(EXT TC SEL)の設定およびTC INT/EXTスイッチで選択された入力タイムコードをVITCとして出力します。 再生時 SBC領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 1 : 記録時 入力ビデオ信号より検出されたタイムコードをVITCとして出力します。 再生時 VAUX領域に記録されているタイムコードをVITCとして出力します。 <ノート> 入力ビデオ信号より検出されたタイムコードは映像が記録される際、自動的にVAUX領域に記録されます。

____は工場出荷モードです。

SBC (Sub Code Data) 領域

ヘリカルトラック上の映像および音声データ領域とは別に存在する領域であり、SMPTE/EBUに準拠したタイムコードが格納されます。従来のLTC (Linear Time Code)と同様に巻き戻し、早送り時にもタイムコードを読むことが可能であり、またテープ停止時でも読み出し可能です。

VAUX (Video Auxiliary Data) 領域

ヘリカルトラック上の映像データ領域内に存在する領域であり、映像データに関連する付加情報が格納されます。

< ノート >

テープ再生時におけるタイムコード/ユーザービットの管理は、SBC領域に記録されているデータで行われます。即ち、フロントパネル中央のカウンタ表示部やスーパーインポーズに表示されているデータ、編集コントローラなどへの通信データはすべてSBC領域に記録されているデータで行われます。

セットアップメニュー

USER メニュー

< VIDEO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
600	INT SG	0000 0001 0002	OFF BB CB	内蔵の信号を発生させるかどうかを選択します。 0 : 発生させません。 1 : ブラックバーストを発生させます。 2 : 100%カラーバーを発生させます。
601	OUT VSYNC	0000 0001	N-VF VF	EE / 記録 / 編集の際に、映像出力の位相を入力に合わせるため、映像出力のVシンク位置をフロートさせるかどうかを選択します。 0 : フロートさせません。 1 : フロートさせます。
602	V-MUTE SEL	0000 0001	N-MUTE LOW RF	再生中にテープのブランク(空白)部分が検出された場合、ビデオ出力信号をミュートするかどうかを選択します。 0 : ミュートしません。(フリーズします。) 1 : ミュートします。(灰色にします。)
603	CC (F1) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第1フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。 <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
604	CC (F2) BLANK	0000 0001	BLANK THRU	第2フィールドのクローズドキャプション信号のON/OFFを選択します。 0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。 <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
605	FREEZE SEL	0000 0001	FIELD FRAME	静止画面のフリーズ状態を選択します。 0 : フィールドフリーズ 1 : フレームフリーズ <ノート> フレームフリーズを選択した場合はスロー時もフレームスローになります。
606	OUT C KILL	0000 0001	B/W COLOR	ビデオ出力信号のクロマのカラーキラー処理を選択します。 0 : 強制的にB/W処理を行います。 1 : 自動処理を行います。
609	EDH	0000 0001	OFF ON	シリアル出力にEDHを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。
610	Pb/Pr IN LV	0000 0001	MII B-CAM	コンポーネント入力信号のレベルを選択します。 0 : MIIレベル 1 : -CAMレベル <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
611	INPUT C KILL	0000 0001	B/W AUTO	ビデオ入力信号のカラーキラー処理を選択します。 0 : 強制的にB/W処理を行います。 1 : 自動処理を行います。

<ノート>

- オプションボード(AJ-YA955またはAJ-YA958)が挿入されていない場合は、セットアップメニューNo.610、611は表示されません。

____は工場出荷モードです。

USER メニュー

< VIDEO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
614	Pb/Pr OUT LV	0000 0001	MII B-CAM	アナログコンポーネント出力レベルを選択します。 0 : MIIレベル 1 : -CAMレベル <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
618	INTER- POLATE	0000 0001	OFF AUTO	スロー再生時は自動的に垂直インターポレーションを行い、再生画像の上下動を軽減しますが、本設定によりインターポレーション動作を強制的にOFFすることができます。 0 : 強制的にOFFします。 1 : スロー再生時、自動的にONします。
620	ESR MODE	0000 0001	OFF AUTO	再生回路におけるエッジサブキャリアリダクション(ESR)の動作モードを選択します。 0 : 強制的にOFFします。 1 : VTR動作に応じて自動的にON/OFFされます。
621	CCR MODE	0000 0001	OFF ON	再生時のクロスカラー処理を選択します。 0 : そのまま出力します。 1 : クロスカラーを軽減することができます。 <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
640	SDI INDEX O	0000 0001	OFF ON	シリアル出力のビデオインデックス(CFおよびWIDE)に対する動作を選択します。 0 : シリアル出力信号にビデオインデックスを重畳しません。 1 : CFおよびWIDE情報をシリアル出力信号にビデオインデックスとして重畳します。
650	SER IN MODE	0000 0001	MANU AUTO	シリアル入力モードを選択します。 0 : フロントパネルの入力選択に従います。 1 : シリアル入力信号に応じて、自動でSDI信号かSDTI信号かを選択します。フロントパネルの入力表示は入力信号に応じて、自動で切替わります。
652	SER OUT1 SEL	0000 0001 0002	SDI SDTI AUTO	シリアル出力1に出力する信号を選択します。 0 : SDI信号を出力します。 1 : SDTI信号を出力します。 2 : DVCPRO50/DVCPRO記録 EEも含む)および再生時はSDTI信号を出力します。DV/DVCAM再生時はSDI信号を出力します。
653	SDTI MODE	0000 0001	1X_R/P 2X_P	DVCPRO50/DVCPROテープを挿入した時のVTR動作およびSDTI入出力動作を選択します。 0 : ノーマルモードに設定されます。 1倍速での記録、再生、SDTI入出力が可能です。 1 : 2倍速転送モードに設定されます。 2倍速での再生、SDTIでの2倍速出力が可能です。 <ノート> ●セットアップメニューNo.652(SER OUT1 SEL)の設定が「SDTI」または、「AUTO」の設定の場合にのみ、本設定が有効になります。「SDI」の設定の場合は、本設定に関係なく、1倍速での記録、再生動作となります。 ●DV/DVCAMテープを挿入した場合は、本設定に関係なく1倍速の再生動作となります。

<ノート>

- オプションボード(AJ-YAC960P)が挿入されていない場合は、セットアップメニュー No.650、652、653は表示されません。

— は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー

< AUDIO >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
700	INT SG	0000 0001	OFF ON	内蔵の信号を発生させるかどうかを選択します。 0 : 発生させません。 1 : 発生させます。
701	CH1 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力(CH1)の基準レベル切換を選択します。
702	CH2 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力(CH2)の基準レベル切換を選択します。
703	CH3 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力(CH3)の基準レベル切換を選択します。
704	CH4 IN LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ入力(CH4)の基準レベル切換を選択します。
705	CUE IN LV	0000 0001 0002 0003	4dB 0dB - 20dB - 60dB	CUE入力の基準レベル切換を選択します。
706	CH1 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力(CH1)の基準レベル切換を選択します。
707	CH2 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力(CH2)の基準レベル切換を選択します。
708	CH3 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力(CH3)の基準レベル切換を選択します。
709	CH4 OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオ出力(CH4)の基準レベル切換を選択します。
710	CUE OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	CUE出力の基準レベル切換を選択します。
711	MONIL OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオモニター出力(Lch)の基準レベル切換を選択します。
712	MONIR OUT LV	0000 0001 0002	4dB 0dB - 20dB	オーディオモニター出力(Rch)の基準レベル切換を選択します。
713	MONI OUT	0000 0001	UNITY VAR	オーディオモニター出力のUNITY/VARIABLE基準切換を選択します。 0 : 既定値にて出力します。 1 : ヘッドホンVRに連動します。
714	EMPHA- SIS	0000 0001	OFF ON	エンファシスのON/OFFを設定します。
715	CH1 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH1入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル

___は工場出荷モードです。

USER メニュー

< AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
716	CH2 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH2入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル入力
717	CH3 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH3入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル入力
718	CH4 IN SEL	0000 0001	ANA DIGI	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH4入力を選択します。 0 : アナログ入力 1 : デジタル入力
719	D IN SEL12	0000 0001	AES SIF	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH1およびCH2のデジタル入力を選択します。 0 : AES入力 1 : シリアル入力
720	D IN SEL34	0000 0001	AES SIF	本体INPUT SELECTのAUDIOで、USER SETを選択した場合のCH3およびCH4のデジタル入力を選択します。 0 : AES入力 1 : シリアル入力
721	MONI CH SEL	0000 0001 0002 0003 0004	MANU AUTO1 AUTO2 AUTO11 AUTO21	モニター出力の選択を行います。 0 : MONITOR SELECTで選択されているものを出力します。 1 : - 1 ~ + 2の範囲はPCM AUDIO、それ以外のテープモードでは自動的にCUEを出力します。 2 : PLAYモードはPCM AUDIO、それ以外のテープモードでは自動的にCUEを出力します。 3 : AUTO1に付け加え、本機がEEモードの場合において自動的にCUE入力を出力します。 4 : AUTO2に付け加え、本機がEEモードの場合において自動的にCUE入力を出力します。 <ノート> 前面のMONITOR SELECTスイッチのL/RがCH1、CH2、CH3、CH4を選択している場合に有効です。 (CUEを選択している場合は上記メニュー設定に関係なくすべてのスピードにおいてCUEが出力されます。)
722	REC CH1	0000 0001 0002	CH1 CH2 CH1+2	オーディオのCH1トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH1 1 : オーディオ入力のCH2 2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号
723	REC CH2	0000 0001 0002	CH1 CH2 CH1+2	オーディオのCH2トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH1 1 : オーディオ入力のCH2 2 : オーディオ入力のCH1とCH2のミックス信号
724	REC CH3	0000 0001 0002	CH3 CH4 CH3+4	オーディオのCH3トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH3 1 : オーディオ入力のCH4 2 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号
725	REC CH4	0000 0001 0002	CH3 CH4 CH3+4	オーディオのCH4トラックに記録する入力を選択します。 0 : オーディオ入力のCH3 1 : オーディオ入力のCH4 2 : オーディオ入力のCH3とCH4のミックス信号

___は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー < AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
726	REC CUE	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007	CUE CH1 CH2 CH1+2 CH3 CH4 CH3+4 CH1~4	CUEに記録する入力信号を選択します。 0 : CUE IN 1 : オーディオCH1入力 2 : オーディオCH2入力 3 : オーディオCH1とCH2のミックス信号 4 : オーディオCH3入力 5 : オーディオCH4入力 6 : オーディオCH3とCH4のミックス信号 7 : オーディオCH1、CH2、CH3およびCH4のミックス信号 <ノート> INPUT SELECTスイッチにてSDTIを選択した場合、本メニューの設定に関係なく常にCUE固定となります。
727	PB FADE	0000 0001 0002	AUTO CUT FADE	再生時に音声編集点(IN点、OUT点)の処理をどのように行うかを選択します。 0 : 記録時の状態に従います。 1 : 強制CUT 2 : 強制FADE
728	EMBEDDED AUD	0000 0001	OFF ON	シリアル出力にオーディオデータを重畳するかどうかを選択します。 0 : 重畳しません。 1 : 重畳します。
729	MONITOR MIX L	0000 0001 0002 0003 0004	OFF CH1+2 CH3+4 CH1+3 CH2+4	モニター出力にミックス信号を選択できます。 0 : ミックスしません。 1 : CH1/CH2をミックスしてLchに出力します。 2 : CH3/CH4をミックスしてLchに出力します。 3 : CH1/CH3をミックスしてLchに出力します。 4 : CH2/CH4をミックスしてLchに出力します。
730	MONITOR MIX R	0000 0001 0002 0003 0004	OFF CH1+2 CH3+4 CH1+3 CH2+4	モニター出力にミックス信号を選択できます。 0 : ミックスしません。 1 : CH1/CH2をミックスしてRchに出力します。 2 : CH3/CH4をミックスしてRchに出力します。 3 : CH1/CH3をミックスしてRchに出力します。 4 : CH2/CH4をミックスしてRchに出力します。
731	CUE OUT SEL	0000 0001	OFF ON	サーチモード時、本線系出力にCUEを出力するかを選択します。 0 : CUEを出力しません。 1 : CUEを出力します。 <ノート> 1. セットアップメニューNo.721(MONI CH SEL)でMANU以外を選択した場合に限ります。 2. セットアップメニューNo.735(MON AUTO SEL)の選択によりCUEが出力される本線系出力チャンネルが異なります。 L/R選択時; CH1~CH4にCUEが出力されます。 L選択時; CH1、CH3にCUEが出力されます。 R選択時; CH2、CH4にCUEが出力されます。
732	CUE SLOW	0000 0001	STEP LINEAR	SLOW再生時のテープ走行状態(CUEトラック再生状態)を選択します。 0 : 出力画を優先し、STEP送りを行います。 1 : CUEトラック再生を優先し、LINEARに走行します。 <ノート> 1(LINEAR)に設定した場合、 ●TC/CTLスイッチでTCを選択してください。CTLカウンタは正常に動作しない場合があります。 ●STEPモードのようなきれいな画像にならない場合があります。
733	CUE OUT	0000 0001	NORMAL DIRECT	CUE OUT端子からの出力を選択します。 0 : 出力画にタイミングを合わせます。 1 : テープ上に記録されたものを遅延なしで出力します。 <ノート> 1(DIRECT)に設定時は、出力画とCUE出力のタイミングは合いませぬ。ただし、本設定はDVCPRO(25Mbps)再生時のみ有効です。

____は工場出荷モードです。

USER メニュー < AUDIO > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
734	MONI SEL INH	0000 0001 0002	OFF ON ON1	フロントパネルのMONITOR SELECTボタン操作の許可/禁止を選択します。 0 : 操作が可能になります。 1 : 操作が禁止されます。 2 : FULL表示モード時は操作が禁止され、FINE表示モード時のみ操作が可能になります。
735	MON AUTO SEL	0000 0001 0002	L/R L R	セットアップメニューNo.721(MONI CH SEL)でMANU以外を選択した場合、動作モードに応じて自動でモニター出力にCUEが出力されますが、自動でCUEに切替わるモニターチャンネルを選択します。 0 : Lch/Rch両方にCUEを出力します。 1 : LchのみにCUEを出力します。 2 : RchのみにCUEを出力します。
736	AUDIO PB VR	0000 0001	DIS ENA	セットアップメニューNo.700(INT SG)でINT SGを選択した場合、EEモードにおいて再生レベルの調整用ボリュームが機能するかどうかを選択します。 0 : INT SGの出力レベルはUNITY固定です。 1 : INT SGの出力レベルを、再生レベルの調整用ボリュームで可変することができます。
737	JOG PROC	0000 0001	OFF ON	JOG/VAR/SHTLモード時のデジタルオーディオ出力のスロー信号処理を選択します。 0 : デジタルオーディオのスロー信号処理をしない音がSTILL時も含め出力されます。 1 : デジタルオーディオのスロー信号処理をした音出力されます。
750	DV PB ATT	0000 0001	OFF ON	DV再生時のオーディオ出力レベルを選択します。 0 : オーディオ出力レベルをアッテネートしません。 1 : オーディオ出力レベルをアッテネート(低減)します。
751	REC PT MUTE	0000 0001	OFF ON	DV/DVCAM再生時、記録の継ぎ目でオーディオをミュートするかどうかを選択します。 0 : ミュートしません。 1 : ミュートします。

____は工場出荷モードです。

<サーチモード時のCUE出力について>

メニュー設定(No.721、No.731、No.735)の組み合わせにより、モニターおよび本線系へのCUE出力は下表のようになります。

731 CUE OUT SEL	721 MONI CH SEL	735 MON AUTO SEL	モニター出力		本線系出力							
			Lch	Rch	CH1	CH2	CH3	CH4				
OFF	MANU	L/R	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM				
		L										
		R										
	AUTO1 AUTO21	L/R	CUE	CUE								
		L	CUE	PCM								
		R	PCM	CUE								
ON	MANU	L/R	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM				
		L										
		R										
	AUTO1 AUTO21	L/R	CUE	CUE					CUE	CUE	CUE	CUE
		L	CUE	PCM					CUE	PCM	CUE	PCM
		R	PCM	CUE					PCM	CUE	PCM	CUE

<ノート>

- PCMオーディオ出力は、- 1.0 ~ + 2.0倍速の範囲外で再生した場合はミュートされます。
- AUTO1またはAUTO11を選択した場合は、自動でCUEが出力されるモードであっても、- 1.0 ~ + 2.0倍速の範囲であればPCMが出力されます。

セットアップメニュー

USER メニュー

< V BLANK >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
800	ADD LINE 25	0000 0001 0002 0003 0004 0005 0006 0007 0008	OFF YC422 YC411 Y1_B/W Y1_BPF C1 Y2_B/W Y2_BPF C2	記録する追加ラインのモードを選択します。 0 : 追加ラインを記録しません。 1 : 422を1ライン記録します。 2 : 411を1ライン記録します。 3 : YのみをDIRECTで1ライン記録します。 4 : YのみをYC分離後1ライン記録します。 5 : Cのみを1ライン記録します。 6 : YのみをDIRECTで2ライン記録します。 7 : YのみをYC分離後2ライン記録します。 8 : Cのみを2ライン記録します。 <ノート> • 1～8を選択し、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。 • 設定内容は、システムフォーマットが25Mbpsの場合に有効となります。
サブ画面(525モード)				
00	REC LINE1	0000 } 0012 0013 0014 } 0025 0026	10L } 22L 263L 273L } 284L 525L	記録する追加ラインを選択します。
01	REC LINE2	0000 } 0012 0013 0014 } 0016 } 0025 0026	10L } 22L 263L 273L } 275L } 284L 525L	記録する追加ラインを選択します。 <ノート> 追加ラインのモードが1～5に設定されている場合は、表示されません。
サブ画面(625モード)				
00	REC LINE1	0000 } 0015 0016 } 0031 0032	7L } 22L 320L } 335L 623L	記録する追加ラインを選択します。
01	REC LINE2	0000 } 0015 0016 } 0018 } 0031 0032	7L } 22L 320L } 322L } 335L 623L	記録する追加ラインを選択します。 <ノート> 追加ラインのモードが1～5に設定されている場合は、表示されません。

TELETEXTの設定可能ライン数

記録・再生フォーマットが25Mbpsの場合

ADD LINE 25 設定値	設定可能ライン数	
	525モード	625モード
YC422	5	7
YC411	8	10
Y1_B/W	13	14
Y1_BPF	13	14
C1	13	14
Y2_B/W	5	7
Y2_BPF	5	7
C2	5	7

____は工場出荷モードです。

USER メニュー

< V BLANK > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
801	ADD LINE 50	0000 0001 0002 0003 0004	OFF YC422 Y4_B/W Y4_BPF C4	記録する追加ラインのモードを選択します。 0 : 追加ラインを記録しません。 1 : 422を2ライン記録します。 2 : YのみをDIRECTで4ライン記録します。 3 : YのみをYC分離後4ライン記録します。 4 : Cのみを4ライン記録します。 <ノート> ● 1~4を選択し、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。 ● 設定内容は、システムフォーマットが50Mbpsの場合に有効となります。
サブ画面(525モード)				
00	REC LINE1	0000 } 0012 0013 0014 } 0025 0026	10L } 22L 263L 273L } 284L 525L	記録する追加ラインを選択します。
01	REC LINE2	0000 } 0012 0013 0014 } 0016 } 0025 0026	10L } 22L 263L 273L } 275L } 284L 525L	記録する追加ラインを選択します。
02	REC LINE3	0000 } 0003 } 0012 0013 0014 } 0025 0026	10L } 13L } 22L 263L 273L } 284L 525L	記録する追加ラインを選択します。 <ノート> 追加ラインのモードが1に設定されている場合は、表示されません。
03	REC LINE4	0000 } 0012 0013 0014 } 0017 } 0025 0026	10L } 22L 263L 273L } 276L } 284L 525L	記録する追加ラインを選択します。 <ノート> 追加ラインのモードが1に設定されている場合は、表示されません。

TELETEXTの設定可能ライン数

記録・再生フォーマットが50Mbpsの場合

ADD LINE 50 設定値	設定可能ライン数	
	525モード	625モード
YC422	10	15
Y4_B/W		
Y4_BPF		
C4		

____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー

< V BLANK > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
サブ画面(625モード)				
00	REC LINE1	0000 } 0015 0016 } 0031 <u>0032</u>	7L } 22L 320L } 335L <u>623L</u>	記録する追加ラインを選択します。
01	REC LINE2	0000 } 0015 0016 } <u>0018</u> } 0031 0032	7L } 22L 320L } <u>322L</u> } 335L 623L	記録する追加ラインを選択します。
02	REC LINE3	0000 } <u>0003</u> } 0015 0016 } 0031 0032	7L } <u>10L</u> } 22L 320L } 325L 623L	記録する追加ラインを選択します。 <ノート> 追加ラインのモードが1に設定されている場合は、表示されません。
03	REC LINE4	0000 } 0015 0016 } <u>0019</u> } 0031 0032	7L } 22L 320L } <u>323L</u> } 335L 623L	記録する追加ラインを選択します。 <ノート> 追加ラインのモードが1に設定されている場合は、表示されません。

___は工場出荷モードです。

USER メニュー

< V BLANK > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
802	TELETEXT SEL	0000 0001	MOJI NABTS	記録するテレテキスト信号の種類を選択します。 0 : MOJI方式 1 : NABTS方式 <ノート> 625モード時はこのセットアップメニューは表示されません。
803	TELETEXT DET	0000 0001 0002	OFF AUTO MANU	テレテキスト信号を記録するラインの検出方法を選択します。 0 : テレテキスト信号を記録しません。 1 : テレテキスト信号を自動的に検出し記録します。 2 : テレテキスト信号を記録するラインを選択し設定します。 <ノート> ●テレテキストの記録できるライン数は、セットアップメニューNo.800(ADD LINE 25)またはNo.801(ADD LINE 50)で確定した記録ライン数に従って異なります。 [「TELETEXTの設定可能ライン数」を参照] ●2(MANU)を選択し、STOPボタンを押すとサブ画面に移り、記録するラインを選択できます。サブ画面から戻る場合は、再度STOPボタンを押します。
サブ画面(525モード)				
00	REC LINE1	0000	OFF	テレテキスト信号の記録するラインを選択します。 工場出荷モード REC LINE1 : OFF REC LINE2 : OFF REC LINE3 : OFF REC LINE4 : OFF REC LINE5 : OFF REC LINE6 : OFF REC LINE7 : OFF REC LINE8 : OFF REC LINE9 : OFF REC LINE10 : OFF REC LINE11 : OFF REC LINE12 : OFF REC LINE13 : OFF
:	:	0001	10&273	
:	:	0002	11&274	
:	:	0003	12&275	
:	:	0004	13&276	
:	:	0005	14&277	
:	:	0006	15&278	
:	:	0007	16&279	
:	:	0008	17&280	
:	:	0009	18&281	
:	:	0010	19&282	
:	:	0011	20&283	
:	:	0012	21&284	
12	REC LINE13	0013	22	
サブ画面(625モード)				
00	REC LINE1	0000	OFF	テレテキスト信号の記録するラインを選択します。 工場出荷モード REC LINE1 : OFF REC LINE2 : OFF REC LINE3 : OFF REC LINE4 : OFF REC LINE5 : OFF REC LINE6 : OFF REC LINE7 : OFF REC LINE8 : OFF REC LINE9 : OFF REC LINE10 : OFF REC LINE11 : OFF REC LINE12 : OFF REC LINE13 : OFF REC LINE14 : OFF REC LINE15 : OFF
:	:	0001	7&320	
:	:	0002	8&321	
:	:	0003	9&322	
:	:	0004	10&323	
:	:	0005	11&324	
:	:	0006	12&325	
:	:	0007	13&326	
:	:	0008	14&327	
:	:	0009	15&328	
:	:	0010	16&329	
:	:	0011	17&330	
:	:	0012	18&331	
:	:	0013	19&332	
:	:	0014	20&333	
:	:	0015	21&334	
12	REC LINE15	0016	22	

____は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー

< V BLANK > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
804	BLANK LINE	0000 0001 0002	BLANK THRU MANU	ビデオ出力信号の垂直ブランキング期間のブランキング ON/OFFを選択します。 0 : 全ライン強制ブランキングします。 1 : 全ラインブランキングしません。 2 : 全ラインごとにブランキングのON/OFFを選択します。 < ノート > 2(MANU)設定時、STOPボタンを押すとサブ画面に映り、各ラインに対してON/OFFを選択できます。サブ画面から戻るには、再度STOPボタンを押します。
サブ画面(525モード)				
00	LINE 10&273	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
01	LINE 11&274	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
02	LINE 12&275	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
03	LINE 13&276	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
04	LINE 14&277	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
05	LINE 15&278	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
06	LINE 16&279	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
07	LINE 17&280	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
08	LINE 18&281	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
09	LINE 19&282	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
10	LINE 20&283	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
11	LINE 21&284	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
サブ画面(625モード)				
00	LINE 7&320	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
01	LINE 8&321	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
02	LINE 9&322	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
03	LINE 10&323	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
04	LINE 11&324	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
05	LINE 12&325	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
06	LINE 13&326	0000 0001	BLANK THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。

— は工場出荷モードです。

USER メニュー

< V BLANK > (つづき)

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
07	LINE 14&327	<u>0000</u> 0001	<u>BLANK</u> THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
08	LINE 15&328	<u>0000</u> 0001	<u>BLANK</u> THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
09	LINE 16&329	<u>0000</u> 0001	<u>BLANK</u> THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
10	LINE 17&330	<u>0000</u> 0001	<u>BLANK</u> THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
11	LINE 18&331	<u>0000</u> 0001	<u>BLANK</u> THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
12	LINE 19&332	<u>0000</u> 0001	<u>BLANK</u> THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
13	LINE 20&333	<u>0000</u> 0001	<u>BLANK</u> THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
14	LINE 21&334	<u>0000</u> 0001	<u>BLANK</u> THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
15	LINE 22&335	<u>0000</u> 0001	<u>BLANK</u> THRU	0 : 強制ブランキングします。 1 : ブランキングしません。
805	22&285 BLANK	<u>0000</u> 0001	<u>OFF</u> ON	ビデオ信号の22(285)ラインの出力方法を選択します。 0 : THRUで出力します。 1 : ブランキングします。

___は工場出荷モードです。

セットアップメニュー

USER メニュー

< MENU >

項 目		設定値		設定内容
No.	スーパー表示	No.	スーパー表示	
A00	LOAD	0000 0001 0002 0003	USER2 USER3 USER4 USER5	USER1へロードするユーザーファイルの選択します。 0 : USER2の内容をロードします。 1 : USER3の内容をロードします。 2 : USER4の内容をロードします。 3 : USER5の内容をロードします。 <ノート> ロード操作を行った後、SETボタンを押すと設定値が記憶されます。MENUボタンを押すと設定値は変更されません。
A01	SAVE	0000 0001 0002 0003 0004	USER2 USER3 USER4 USER5 LOCKED	USER1の設定をセーブするユーザーファイルの選択します。 0 : USER2へセーブします。 1 : USER3へセーブします。 2 : USER4へセーブします。 3 : USER5へセーブします。 4 : すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合の表示します。 <ノート> ●変更禁止に設定されているユーザーファイルは選択できません。 ●すべてのユーザーファイルが変更禁止状態の場合、「LOCKED」表示となりセーブ操作はできません。
A02	P.ON LOAD	0000 0001 0002 0003 0004	OFF USER2 USER3 USER4 USER5	電源投入時に、選択したユーザーファイルの内容をUSER1へロードし、USER1の設定で起動します。 0 : 前回設定したユーザーファイルで起動します。 1 : USER2の内容をUSER1へロードし起動します。 2 : USER3の内容をUSER1へロードし起動します。 3 : USER4の内容をUSER1へロードし起動します。 4 : USER5の内容をUSER1へロードし起動します。
A03	MENU LOCK	0000 0001	OFF ON	ユーザーファイル(USER2 ~ USER5)のロックモードの設定 / 解除を選択します。 0 : ロック解除(変更可能) 1 : ロック設定(変更禁止) <ノート> USER1のロック設定はできません。

___は工場出荷モードです。

< ノート >

- No.A00(LOAD)、No.A01(SAVE)、No.A02(P.ON LOAD)はUSER1のみ設定可能な項目です。USER2 ~ USER5では表示されません。
- No.A03(MENU LOCK)はUSER2 ~ USER5のみ設定可能な項目です。USER1では表示されません。

タイムコード / ユーザービットについて

タイムコード

タイムコードは、タイムコードジェネレータ(タイムコード信号発生器)によって発生されるタイムコード信号をテープ上に記録し、タイムコードリーダー(タイムコード信号読取器)でその値を読み取り、テープの絶対位置を時：分：秒：フレーム単位で表示する時に使用します。

タイムコードはヘリカルトラックのサブコード領域(データ領域)へ書き込まれます。このために、タイムコードだけ独立してインサート編集が行えます。また、VTRの再生速度が停止モード スロー再生 高速再生(約50倍速、ただしDVCPROテープ使用時は約100倍速)まで読み取ることができます。

タイムコード値はディスプレイやスーパーインポーズで表示されます。

TCR 00 : 07 : 04 : 24

時 分 秒 フレーム

ユーザービット

ユーザービットは、タイムコード信号のうちでユーザーに開放された32ビット(8桁)の情報枠のことです。オペレータナンバーなどを記録することができます。

ユーザービットに使用できる数字(文字)は0~9とA B C D E Fです。

内部 / 外部タイムコードの記録

1 内部タイムコードの設定

1 VTRを停止モードにします。

2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。

3 TC INT/EXTスイッチを「INT」にします。(内部タイムコードの選択)

4 REC RUN/FREE RUNスイッチの設定

REC RUN : 記録と同時にタイムコードが歩進します。

FREE RUN : VTRの動作にかかわらず、時刻と同じように歩進します。

5 REGEN/PRESETスイッチの設定

REGEN : 編集前の下地のTCの連続性を保ちます。

(メニュー設定で、詳細な設定もできますので参照してください。)

セットアップメニューNo.503(TCG REGEN)

セットアップメニューNo.504(REGEN MODE)

PRESET : TC SETボタンで設定された値から記録を開始します。

• 自動編集時はPRESETの位置でもメニューNo.504の設定によりREGENします。

6 TC SETボタンの設定

TC SETボタンを使ってタイムコード/ユーザービットの開始番号を設定します。

1. SHIFTボタンを押します。

左端の桁が点滅します。

2. ADJボタンを押して値を変更します。

押すたびに、番号は変化します。設定範囲は次のとおりです。

• タイムコードおよびユーザービットの実時間使用の場合

00:00:00:00 - 23:59:59:29

• ユーザービット

00:00:00:00 - FF FF FF FF

3. ステップ1と2を繰り返して、値を変更します。

4. 開始番号の設定が終わると、STARTボタンを押します。

「FREE RUN」モードの場合には、タイムコードを歩進します。

5. 記録または編集を行います。

2 外部タイムコードの設定(TC SW EXT)

1 VTRを停止モードにします。

2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。

3 TC INT/EXTスイッチを「EXT」にします。(外部タイムコードの選択)

4 セットアップメニューNo.505(EXT TC SEL)で以下の設定ができます。

LTC : コネクタ部のTIME CODE IN端子(XLR)に入力されるLTC信号がTCとして記録されます。

<ノート> LTCはビデオ信号と同期している必要があります。

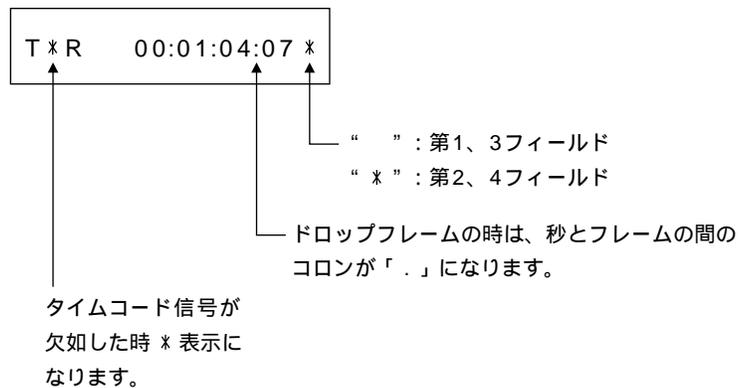
VITC : 入力ビデオ信号のVITCがTCとして記録されます。

タイムコード / ユーザービットの再生

- 1 STOPモードにします。
- 2 TC/CTLスイッチを「TC」にします。
- 3 TC/UBスイッチを「TC」または「UB」にします。
TC : タイムコードが表示されます。
UB : ユーザービットが表示されます。
 - タイムコードが読み取れなくなった場合は、CTLで補間します。
- 4 PLAYボタンを押します。
再生が開始され、タイムコードがディスプレイに表示されます。
セットアップメニューNo.007(SUPER)が「ON」の場合、VIDEO OUT 3 / SERIAL OUT 3端子からの映像信号に、タイムコード値がスーパーインポーズされます。

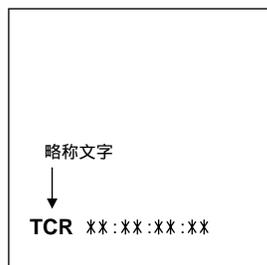
< ノート >

- ドロップフレームタイムコードを読んでいる時は、秒とフレームの間のコロンのピリオドに変わります。
- タイムコード信号が欠如した時にはCTL信号で自動的に補います。
ディスプレイは以下のようになります。



スーパーインポーズ画面

コントロール信号やタイムコードなどが略称文字で表示されます。

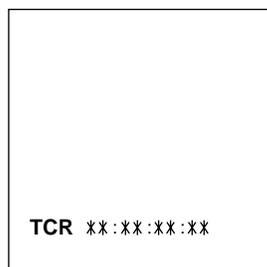


モニターテレビ

- CTL (コントロール信号)
- TCR (TCタイムコードの再生値)
- UBR (TCユーザービットの再生値)

表示文字

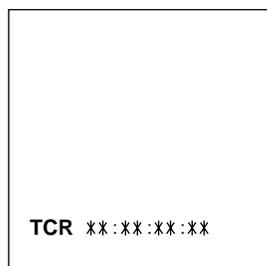
スーパーインポーズの表示文字は、セットアップメニューNo.011(CHARA TYPE)で文字の背影を変えることができます。



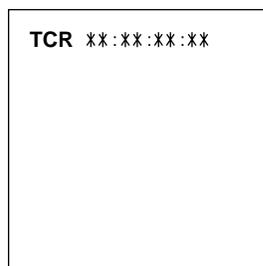
モニターテレビ

表示位置

スーパーインポーズの表示位置はセットアップメニューNo.009(CHARA H-POS)とセットアップメニューNo.010(CHARA V-POS)で変えることができます。



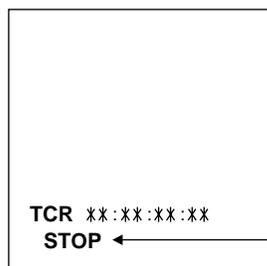
モニターテレビ



モニターテレビ

動作モード

セットアップメニューNo.008(DISPLAY SEL)でVTRの動作モードも表示されます。



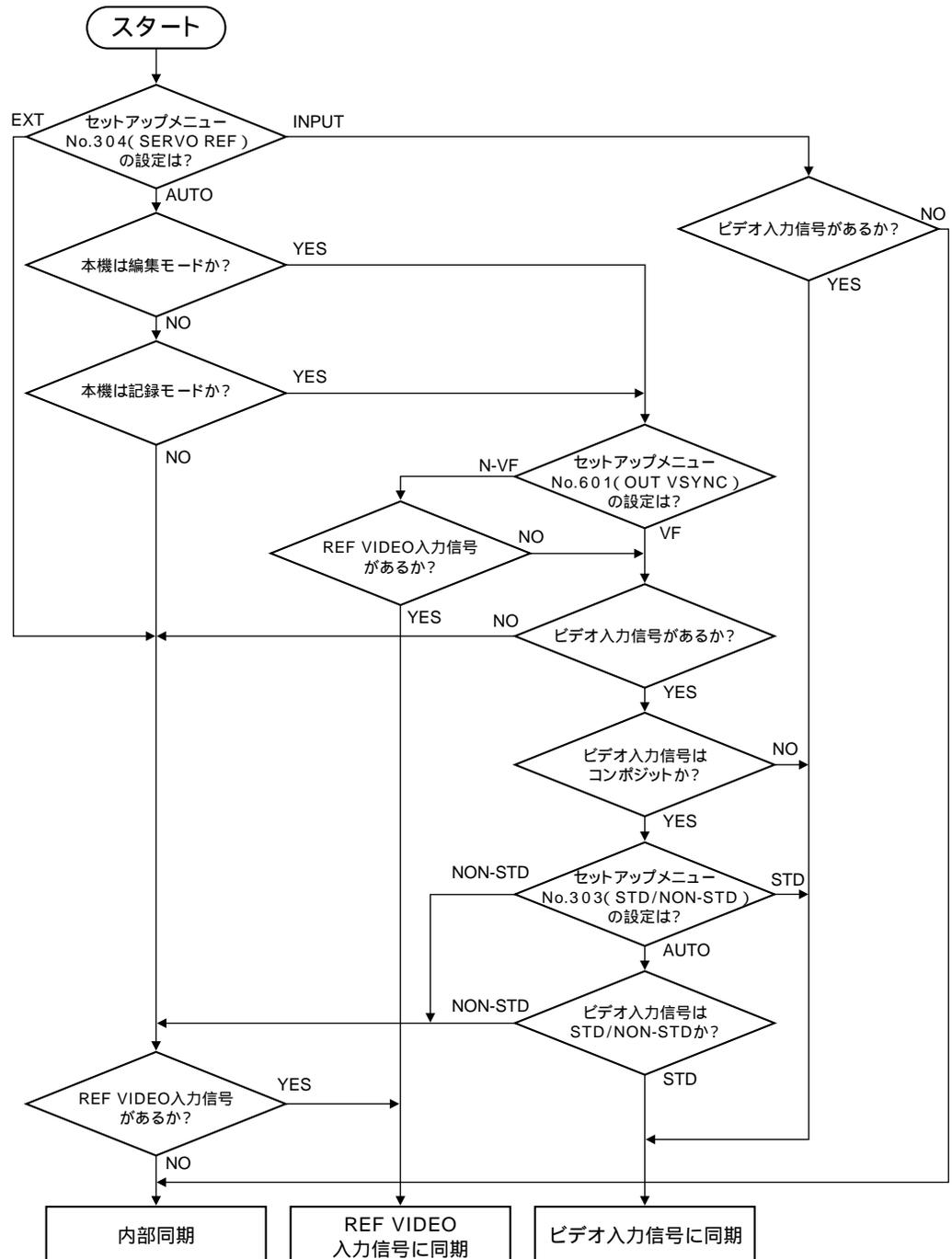
モニターテレビ

出力映像信号とサーボのリファレンス

出力信号とサーボ用のリファレンス(基準)信号がどのように選択されるかを説明します。

出力映像信号の外部同期

出力映像信号は、REF VIDEO入力信号または、ビデオ入力信号に同期して出力されます。下図のようにセットアップメニューの設定、VTRのモード、ビデオ入力信号の有無に応じて選択されます。



< ノート >

セットアップメニューNo.600 (INT SG) でBBまたはCBを選択した場合は、REF VIDEO入力信号の有無により、

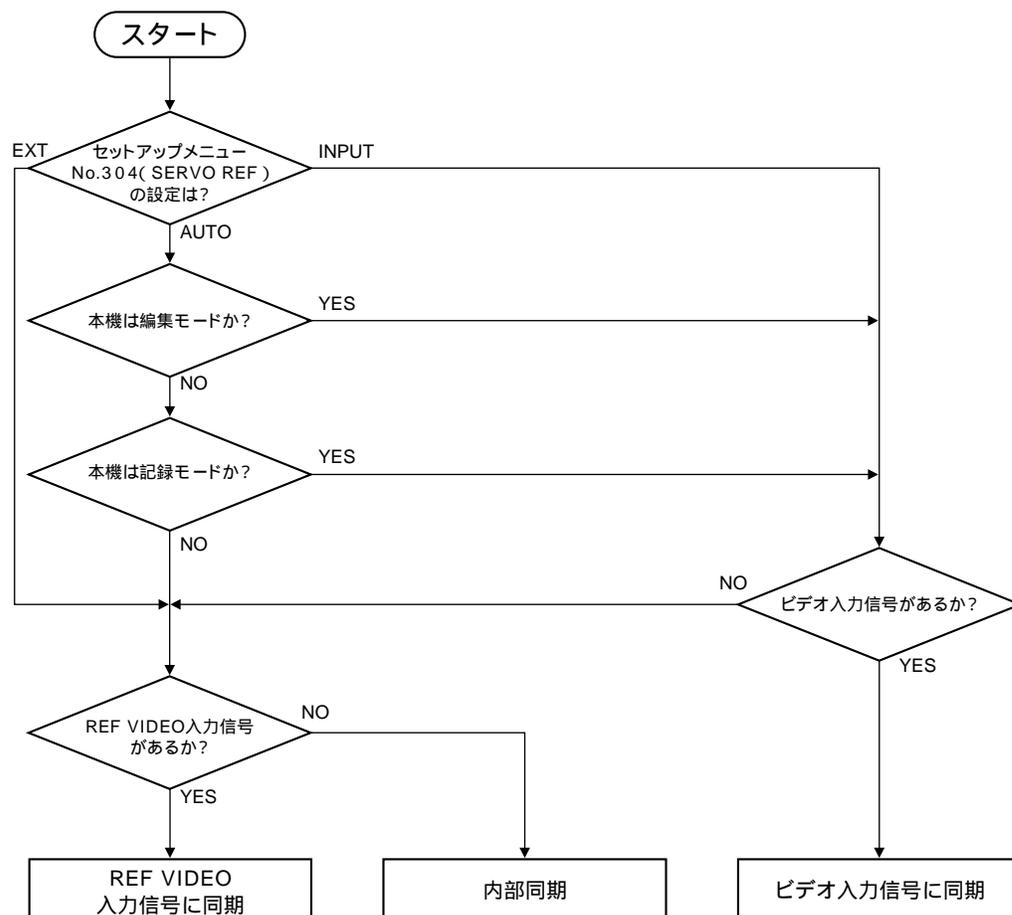
- REF VIDEO入力信号が有る場合：REF VIDEO入力信号に同期
- REF VIDEO入力信号が無い場合：内部同期

となります。

出力映像信号とサーボのリファレンス

サーボ用リファレンス信号

サーボ用のリファレンス信号としてREF VIDEO入力信号、ビデオ入力信号が選択されます。下図のようにセットアップメニューの設定、VTRのモード、ビデオ入力信号の有無に応じて選択されます。



< ノート >

セットアップメニューNo.600(INT SG)でBBまたはCBを選択した場合は、REF VIDEO入力信号の有無により、

- REF VIDEO入力信号が有る場合：REF VIDEO入力信号に同期
- REF VIDEO入力信号が無い場合：内部同期

となります。

音声 V フェード機能

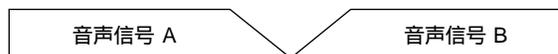
編集時、編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.311、312)の情報をテープ上に記録し、再生時にその情報を感知しその部分を自動的にVフェード/カット処理します。(ただし、再生フェード選択(No.727)がAUTOの場合)

編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.311、No.312)がCUTの場合



編集の繋ぎ目でノイズがでます。

編集点の繋ぎ方の選択(セットアップメニューNo.311、No.312)がFADEの場合



瞬間的にVフェードにして、ノイズを消します。

< ノート >

- 再生フェード選択(No.727)がCUTの場合、すべての繋ぎ目がCUTになります。
- 再生フェード選択(No.727)がFADEの場合、すべての繋ぎ目がVフェードします。

音声の記録チャンネルとモニター出力の選択

音声の記録チャンネル

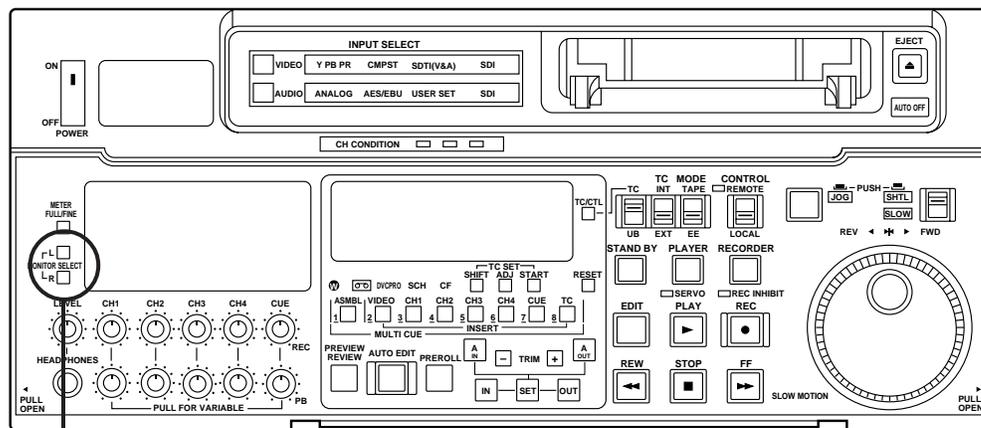
AUDIOのセットアップメニューにより以下のように音声を選択できます。

記録トラック	記録信号
CH1	CH1入力 / CH2入力 / CH1入力 + CH2入力
CH2	CH1入力 / CH2入力 / CH1入力 + CH2入力
CH3	CH3入力 / CH4入力 / CH3入力 + CH4入力
CH4	CH3入力 / CH4入力 / CH3入力 + CH4入力
CUE	CUE入力 / CH1入力 / CH2入力 / CH3入力 / CH4入力 / CH1入力 + CH2入力 / CH3入力 + CH4入力 / CH1入力 + CH2入力 + CH3入力 + CH4入力

モニター出力チャンネル

MONITOR SELECTスイッチにより以下のように選択できます。

モニター出力	出力信号
L	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH1 + CH2 / CH3 + CH4 / CH1 + CH3 / CH2 + CH4 / CUE
R	CH1 / CH2 / CH3 / CH4 / CH1 + CH2 / CH3 + CH4 / CH1 + CH3 / CH2 + CH4 / CUE



MONITOR
SELECT スイッチ

回路板

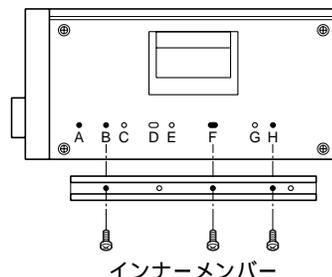
回路板	略称名	フルネーム	設定目的	初期設定
F8基板 ADDA1	SW1	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH1のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	600Ω
	SW41	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH2のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	600Ω
	SW101	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH3のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	600Ω
	SW141	AUDIO INPUT IMPEDANCE SW	CH4のAUDIO入カインピーダンスを設定 します。 HIGH/600Ω	600Ω
H1基板 CUE	SW101	CUE INPUT IMPEDANCE SW	CUE入カインピーダンスを設定します。 HIGH/600Ω	600Ω

ラックマウント

本機はラックマウントアダプタAJ-MA75P(別売品)をご使用になりますと19インチ標準ラックマウントに組み込むことができます。取り付けレールは、摂津金属工業(株)製18インチレール(品番C-305-18)とブラケット(品番RBA2-35)を使用することをお薦めします。詳しくは購入店にご相談ください。

- 1 スライドレールのインナーメンバーを取り付けます。
ネジ止め箇所は下図を参照してください。

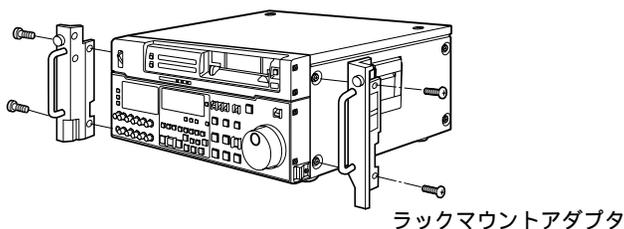
インナーメンバー右(R)側のネジ止め箇所



左(L)側も対称の位置で
取り付けてください
注)側板にはアルファベットの
刻印はありません。

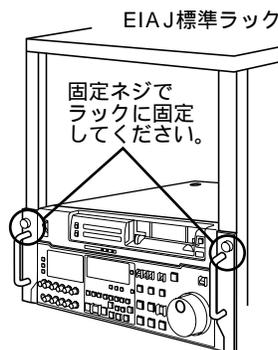
使用するネジは、長さ制限があります。長さ10ミリ以下のものをご使用ください。
インナーメンバーは、必ず6個ネジ止めしてください。

- 2 アウターメンバーのブラケットをラックに取り付けます。
左右の高さが同じであることを確認してください。
- 3 左右の側板を取りつけるフロント側のビス4本を外します。
- 4 AJ-MA75Pに付属のビス4個でラックマウントアダプタAJ-MA75Pを取り付けます。



ラックマウントアダプタ

- 5 本機底面のゴム足(4ヶ所)を外し、本機をラックに取り付けます。
本機取り付け後、レールの上でスムーズに移動できることを確認します。



<ノート>

- ラック内の温度は5 ~ 40 に保ってください。
- VTR を引き出した時倒れないようにラックはしっかりと床にボルトで固定してください。

ビデオヘッドクリーニング

本機には、自動的にヘッドの汚れを軽減するオートヘッドクリーニング機能がついていますが、より信頼性を高めるために適時ビデオヘッドを清掃することをお勧めいたします。
なお、具体的なクリーニング方法についてはサービス会社または販売会社にご相談ください。

結露

露つきが起こるのは、暖房された部屋の窓ガラス一面に水滴(露)がつくのと同じ原理です。本機やテープを温度・湿度差の大きいところに移動したときに起こります。

- 湯気がたちこもる湿度の多いところや暖房した直後の部屋へ移動した時。
- 冷房されているところから急に温度・湿度の高いところへ移動した時。

このような所へ移動した時は、すぐ電源を入れずに10分程度放置したまでお待ちください。もし、本機に結露が発生した時は、AUTO OFFランプが点灯し、カセットテープは自動的に排出されます。

そのまま、電源を入れた状態で、AUTO OFFランプが消えるまでお待ちください。

お手入れについて

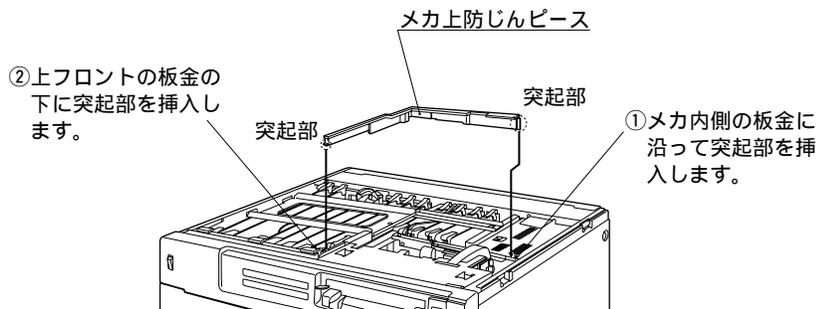
お手入れ前には、電源スイッチをOFFにし、必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。

キャビネットの清掃は柔らかい布で行ってください。汚れのひどい時は、台所用洗剤をうすめ、布に浸して固く絞って拭きます。汚れを拭き取ったのち、乾いた布で仕上げを行ってください。

<ノート>

アルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。外装部品表面が変色したり、塗装が落ちたりする原因になります。

メカ上防じんピースの取り付け方法



エラーメッセージ

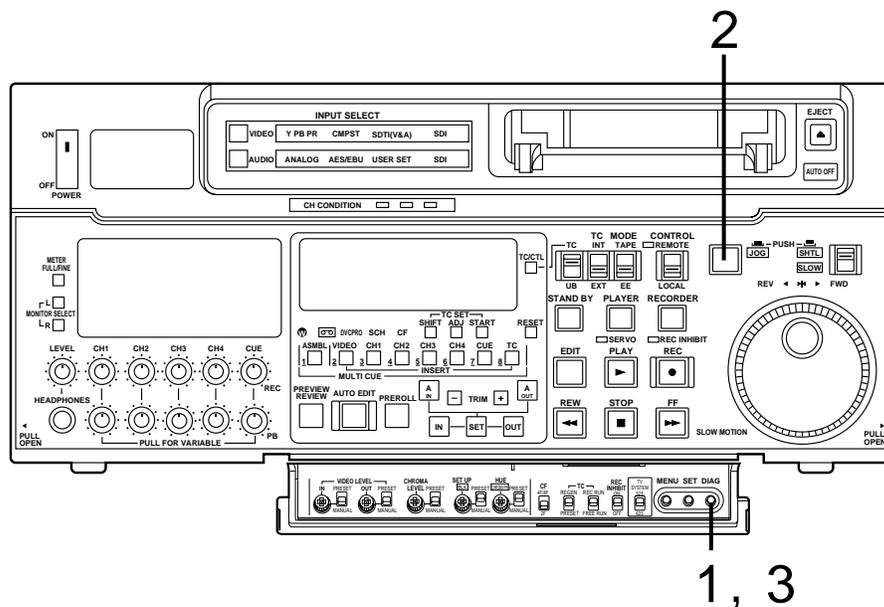
本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯します。ダイアグメニューを開くとカウンタ表示部、モニターテレビにその内容を表示します。また、本機の動作に異常が発生すると、AUTO OFFランプが点灯し、カウンタ表示部にメッセージを表示します。

ダイアグメニュー

VTRの情報を表示します。VTRの情報にはワーニング情報、デッキのシリアルNo.、アワーメータ(使用時間)情報があります。モニターテレビとコネクタ部のVIDEO OUT 3/SERIAL OUT 3端子と接続している場合は、モニターテレビにダイアグメニューが出ます。

ダイアグメニューの表示

- 1 DIAGボタンを押します。
モニターテレビにダイアグメニューの画面が、カウンタ表示部にメッセージがそれぞれ表示されます。
- 2 サーチボタンを押すたびに、ワーニング情報、デッキのシリアルNo.、アワーメータ情報の表示が切替わります。
- 3 再度DIAGボタンを押すと元の表示に戻ります。



ワーニング情報の表示

- ワーニング発生(ワーニングランプ点灯)時は、ワーニングメッセージを表示します。ワーニングが発生していない場合は、「NO WARNING」を表示します。
- 複数のワーニングが発生している場合は、サーチダイヤルを回すと各内容を確認することができます。

アワーメータ情報の表示

サーチダイヤルを回すと、カーソル(*)が移動し、カーソルのある項目の内容をカウンタ表示部に表示します。

項目No.	項目	内容
Ser	*****	デッキのシリアルNo.を表示します。
H00	OPERATION	電源が投入されている時間を1時間単位で表示します。
H01	DRUM RUN	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。
H02	TAPE RUN	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。
H03	THREADING	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。
H11	DRUM RUN r	ドラムが回転している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H12	TAPE RUN r	FF、REW、PLAY、SEARCH (JOG、VAR、SHTL)、REC、EDITモード時(ただし、JOG、VAR、SHTL STILLは除く)に、テープが走行している時間を1時間単位で表示します。(リセット可能)
H13	THREADING r	スレッティング/アンスレッティングの回数を1回単位で表示します。(リセット可能)
H30	POWER ON	電源が投入された回数を1回単位で表示します。

< ノート >

- アワーメータ情報のリセット可能な項目は、メンテナンスを行った場合等に販売店によりリセットします。
- ダイアグメニュー表示中は、サーチボタンおよびサーチダイヤルによる操作はできなくなります。

セットアップメニューNo.008(DISPLAY SEL)でT&S&Mが選択されている場合、ワーニングまたはエラー発生時、モード表示部にメッセージを表示します。複数発生時は優先順位の高いものが表示されます。

優先順位	表示	内容
高い ▲ ↓ ▼ 低い	エラーメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機の動作に異常が発生するとAUTO OFFランプが点灯し、エラーメッセージを表示します。
	INT SG	セットアップメニューNo.600 (INT SG)で「BB」または「CB」が選択されている場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	NO INPUT	アナログオーディオを除き、INPUT SELECTスイッチにより選択されている端子に入力信号が無い場合に、RECボタンまたはEDITボタンを押すと (E-Eモード)、開始2秒間表示されます。編集の開始時2秒間も同様に表示されます。
	ワーニングメッセージ (エラーメッセージ表参照)	本機にワーニングが発生すると、ワーニングランプが点灯し、ワーニングメッセージを表示します。複数のワーニングが発生している場合は、優先順位の高いものを表示します。

エラーメッセージ

ワーニングメッセージ

優先順位	カウンタ表示部およびモニターテレビの表示	内容	VTRの動作
高い ▲ ↓ 低い	UNKNOWN SIG	SDTI入力信号が、DVCPRO/DVフォーマット*1でない場合に表示されます。	記録動作不可
	NOT 1×25M SIG	SDTI入力信号が、DVCPRO(25Mbps)フォーマットの1倍速転送信号でない場合に表示されます。	記録動作不可
	NOT 1×50M SIG	SDTI入力信号が、DVCPRO50(50Mbps)フォーマットの1倍速転送信号でない場合に表示されます。	記録動作不可
	INVALID VIDEO SIG	SDTI入力信号の圧縮ビデオ信号が、不正規な場合に表示されます。	動作継続*2 編集動作不可
	INVALID AUDIO SIG	SDTI入力信号のオーディオ信号が、不正規な場合に表示されます。	動作継続*3 編集動作不可
	INVALID TC SIG	SDTI入力信号のタイムコードが、不正規な場合に表示されます。	動作継続*4 編集動作不可
	FAN STOP	ファンモータが停止した場合に表示します。	動作継続
	NO RF	再生時、テープのブランク部分を1秒以上検出した場合に表示します。 下記の条件を全て満たした時、ブランク部分として認識します。 <ul style="list-style-type: none"> • 全てのヘッド出力がない。 • 再生データが読み取れない。 • CTLがない。(ただしDV/DVCAMテープを除く。) 	動作継続
	SERVO NOT LOCKED	再生、記録、編集時、サーボが3秒以上外れた場合に表示します。	動作継続
	LOW RF	再生、記録、編集時にエンベレベルが通常の約1/3の状態を1秒以上検出した場合に表示します。	動作継続
	HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化し、ビデオ/オーディオのいずれかの再生信号に修正/補間がかかった場合に表示します。	動作継続
OVER RECORDING	内蔵のオーディオメモリーを用いて、ヴォイスオーバー編集を行う場合、メモリーへの記録が20秒を超えた時に表示します。	動作継続	

*1 データストリームフォーマットがSMPTE 321M準拠

*2 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、テープへの記録は行われず消去動作のみが行われます。

*3 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、オーディオはミュート記録されます。

*4 ワーニングは記録動作中のみ表示されます。この場合、内部発生されたタイムコードが記録されます。

エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯)

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR(処置)の動作
CAP ROTATE TOO SLOW	CAP ROTA TOO SLOW	キャプスタンモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
CAP TENSION ERROR	CAP TENSION ERROR	キャプスタンモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
DEW	DEW	結露を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅しEJECTモードへ移行します。EJECT後、結露を除去するためにドラムが回転します。 結露が解除されると、「AUTO OFF」ランプ、メッセージ表示が消えVTRは使用可能となります。 ● EJECTモードで結露を検出すると、その時点でドラムが回転します。 ● カセットが挿入されている時に結露を検出すると、ドラムの回転を止め、EJECT後にドラムが回転します。	EJECT
DRUM ROTATE TOO FAST	DRUM ROTA TOO FAST	シリンダモータの回転数が異常に高い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
DRUM ROTATE TOO SLOW	DRUM ROTA TOO SLOW	シリンダモータの回転数が異常に低い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
DRUM TORQUE ERROR	DRUM TORQUE ERROR	シリンダモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯し、メッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
E-FF	E-FF	ローディング途中または、ローディング完了後に、テープ始端およびテープ終端を同時に検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
FRONT LOAD ERROR	FRONT LOAD ERROR	ローディング途中 (ハーフポジション) の終始端処理動作で、巻き取り側リールが一定時間空回りした場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
FRONT LOAD MOTOR	FRONT LOAD MOTOR	EJECTモードに移行し6秒経過してもカセットアップしない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > カセット挿入後、6秒経過してもカセットダウンにならない場合、EJECTモードへ移行します。	停止 (POWER OFF ON)
LOADING MOTOR	LOADING MOTOR	アンローディング動作が6秒以内に完了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。 < ノート > ローディング動作が6秒以内に完了しない場合、EJECTモード (アンローディングモード) へ移行します。	停止 (POWER OFF ON)
REEL DIR UNMATCH	REEL DIR UNMATCH	巻き取り側のリールモータが逆転した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)

エラーメッセージ (AUTO OFF ランプ点灯)

カウンタ表示部の表示	モニターテレビの表示	内 容	VTR(処置)の動作
REEL TENSION ERROR	REEL TENSION ERROR	リールモードでS側テンション異常を検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
SERVO COMM ERROR	SERVO COMM ERROR	サーボマイコンが10秒経過しても、システムコントロールマイコンの指示に従わない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
SERVO CONTROL ERROR	SERVO CONTROL ERR	サーボマイコンからの応答が1秒以上ない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
SERVO ERROR	SERVO ERROR	瞬停等でサーボマイコンのみRESETがかかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
S-FF/REW TIMEOVER	S-FF/REW TIMEOVER	始末端処理動作が終了しない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
S REEL ROTA TOO FAST	S REEL TOO FAST	Sリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
S REEL TORQUE ERROR	S REEL TORQUE ERR	Sリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合。若しくは、電流検出抵抗に異常電流が流れていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
T REEL ROTA TOO FAST	T REEL TOO FAST	Tリールモータの回転が異常に速い場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
T REEL TORQUE ERROR	T REEL TORQUE ERR	Tリールモータに異常トルクがかかっていることを検出した場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
UNLOAD ERROR	UNLOAD ERROR	アンローディング時テープを巻き取らなかった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
WINDUP ERROR	WINDUP ERROR	テープ総量検出後、テープ走行中、巻き取り側リールのテープ巻き取り量と、送り出し側リールのテープ送り出し量が、異常に異なった場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)
WINDUP REEL NOT ROTA	W-UP REEL NOT ROTA	カセット挿入後、テープ総量未検出状態でテープ走行中、テープ巻き取り側リールがテープ巻き取っていない場合、「AUTO OFF」ランプが点灯しメッセージ表示が点滅します。	停止 (POWER OFF ON)

RS-232C インターフェース

1. 概要

(1) RS-232Cインターフェースを使用することにより、コマンドによるVTR操作が可能になります。
(112～114ページのコマンド一覧をご参照ください。)

(2) RS-232Cインターフェースからのコマンド受け付け条件

フロントパネルのREMOTE/LOCAL SW : REMOTE

セットアップメニューNo. 204「RS232C SEL」: ON

上記条件が成立していない場合は、外部に対して[ACK]+[STX] ER001 [ETX]の返答を行います。

[ACK]の返信をするかしないかは、セットアップメニュー項目No.209「RETURN ACK」の設定に従います。

2. ハードウェア仕様

外部インターフェース仕様

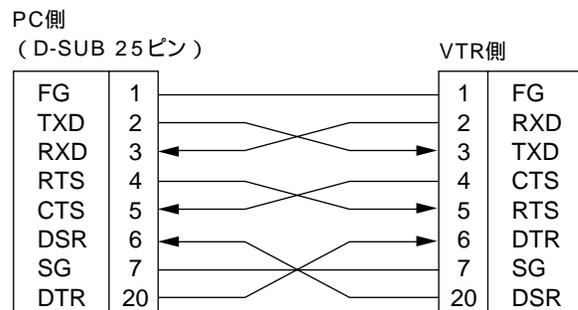
(1) 端子仕様

コネクタ : D-SUB 25ピン(クロスケーブル対応)

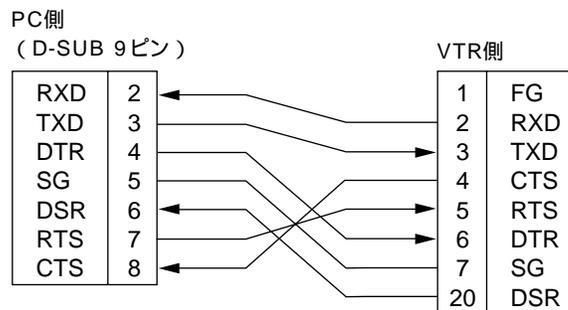
ピン配列	信号	回路名称	内容
1	FG	保安用接地	フレームグラウンド
2	RXD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TXD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	SG	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データ・セット・レディ	通信可能状態後正電圧出力

(2) コントローラ(PC)との接続例

(D-SUB 25ピン クロスケーブルを使用)



(D-SUB 9ピン-25ピン クロスケーブルを使用)



RS-232C インターフェース

3. ソフトウェア仕様

プロトコル

(1) 通信条件

通信方式	調歩同期式・全二重
通信速度	300/600/1200/2400/4800/9600
ビット長	7 bit/8 bit
ストップビット	1 bit/2 bit
パリティビット	NONE/ODD/EVEN
ACKコード	ACKコードを返信しない / ACKコードを返信する <ノート> ACKコードとは、コントローラ側から正常なデータの送信があった場合、VTR側からコントローラに対して返信するコードのことです。

工場出荷時の設定は、_____ で示しています。

設定の変更は、下記のセットアップメニュー項目で変更できます。

通信条件	セットアップメニュー項目
通信速度	No.205 BAUD RATE
ビット長	No.206 DATA LENGTH
ストップビット	No.207 STOP BIT
パリティビット	No.208 PARITY
ACKコード	No.209 RETURN ACK

(2) 送信フォーマット[コントローラ(PC) VTR]

データフォーマット

[STX] [command] [:] [data] [ETX]

02h XX XX XX 3Ah XX-XX 03h (ASCIIコード:記号、数字、英大文字)

20h<XX<7Fh

- [command] : コマンド識別子です。
コマンドとして3バイトの識別子(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を送信します。
- [:] : コロンは、コマンドとデータとの区切りを意味するコードです。
- [data] : 必要なバイト数のデータ(ASCIIコード:記号、数字、英大文字)を付け加えることができます。

コントローラからの送信手順概略

1. 送信コマンドは、STX(START OF TEXT = 02h)で始まります。次に続くCOMMANDによりコマンドの識別を行い、必要に応じてデータを付け加えます。
最後にETX(END OF TEXT = 03h)で終了します。
2. 新たに別のコマンドを送信する場合は、VTRからの応答を待ってから送信します。
(111ページ参照)
3. ETXを送信する前に再度STXを送信すると、VTR側の内部受信データバッファはクリアされます。コマンドエラーをコントローラへ返信し、再度受信したSTXを先頭として、新たにデータ処理を行います。

RS-232C インターフェース

5. コマンド一覧

(1) 動作制御(Operation)関連コマンド

< ノート >

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後に ER001(無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
STOP	[STX] OSP [ETX]	[STX] OSP [ETX]	テープ走行を停止するコマンドです。
EJECT	[STX] OEJ [ETX]	[STX] OEJ [ETX]	カセットテープをイジェクトするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)およびNo.111(FRZ MODE SEL)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
PLAY	[STX] OPL [ETX]	[STX] OPL [ETX]	再生を開始するコマンドです。
REWIND	[STX] ORW [ETX]	[STX] ORW [ETX]	テープを巻き戻すコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102(FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
FAST FORWARD	[STX] OFF [ETX]	[STX] OFF [ETX]	テープを早送りするコマンドです。 出力画および音声の状態は、セットアップメニューNo.105(AUTO EE SEL)の設定により異なります。 最高速度は、セットアップメニューNo.102(FF. REW MAX)の設定により異なります。 詳細は、各セットアップメニューをご参照ください。
REC	[STX] ORC [ETX]	[STX] ORC [ETX]	録画を開始するコマンドです。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
SHTL FORWARD	[STX] OSF:data [ETX]	[STX] OSF [ETX]	正方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL (STILL) 1: ×0.03 (×0.03) 2: ×0.1 (×0.1) 3: ×0.2 (×0.2) 4: ×0.5 (×0.5) 5: ×1 (×1) 6: ×2 (×1.85) 7: ×4.1 (×3.1) 8: ×9.5 (×9.5) 9: ×16*1 (×16*1) *1 [本速度は、セットアップメニューNo.101(SHTL MAX)の設定により異なります。] A: ×32*1 (×32*1) ()内はDV/DVCAM時。		
SHTL REVERSE	[STX] OSR:data [ETX]	[STX] OSR [ETX]	逆方向シャトルのコマンドです。
	data = n: speed data 0: STILL (STILL) 1: ×0.03 (×0.03) 2: ×0.1 (×0.1) 3: ×0.2 (×0.2) 4: ×0.5 (×0.5) 5: ×1 (×1) 6: ×2 (×1.85) 7: ×4.1 (×3.1) 8: ×9.5 (×9.5) 9: ×16*1 (×16*1) *1 [本速度は、セットアップメニューNo.101(SHTL MAX)の設定により異なります。] A: ×32*1 (×32*1) ()内はDV/DVCAM時。		
STANDBY OFF	[STX] OBF [ETX]	[STX] OBF [ETX]	VTRをスタンバイOFFにするコマンドです。
STANDBY ON	[STX] OBN [ETX]	[STX] OBN [ETX]	VTRをスタンバイONにするコマンドです。

RS-232C インターフェイス

(2) 問い合わせ(Question)関連コマンド

< ノート >

- 返信(完了)メッセージは、データ受信時に [ACK] を返信し、その後返信する実行メッセージのみを記載しています。
- 下記表に記載されていないコマンドについては、[ACK] を返信後に ER001(無効コマンド) を返信します。

VTR操作	送信コマンド	返信(完了)メッセージ	補 足
CTL/TC DATA REQUEST	[STX] QCD [ETX]	[STX] CD data [ETX]	カウンター値を問い合わせるコマンドです。
		data = f w gh mm ss ff f = F w = S gh = CTL: g = SP (20h) : プラス時 - (2Dh) : マイナス時 h = 0 ~ 9 : 時 TC: gh = 00 ~ 23 : 時 mm = 00 ~ 59 : 分 ss = 00 ~ 59 : 秒 ff = 00 ~ 29 : フレーム(525モード) 00 ~ 24 : フレーム(625モード)	フロント表示モード に合わせてCTLかTC を返信します。
STATUS REQUEST	[STX] QOP [ETX]	[STX] xxx [ETX]	VTRの動作モードを問い合わせるコマンドです。
		xxx = OEJ: EJECT OFF: FAST FORWARD OPL: PLAY ORC: REC ORW: REWIND OSP: STOP (STANDBY ON含む) SRS: (IN/OUT) PREROLL OBF: STANDBY OFF OSF: SHTL FORWARD OSR: SHTL REVERSE OJG: JOG FORWARD/REVERSE OSW: VAR FORWARD/REVERSE EAE: AUTO EDIT EON: EDIT ON (MANUAL EDIT) EPV: PREVIEW ERV: REVIEW	
ID(機器番号) REQUEST	[STX] QID [ETX]	[STX] data [ETX]	使用機器を問い合わせるコマンドです。
		data = AJ-D960	

(3) Microsoft QuickBASIC サンプルプログラム

```
CLS
STX$ = CHR$(&H2): ETX$ = CHR$ (&H3): NAK$ = CHR$(15): ACK$ = CHR$(&H6)
PRINT "*** RS-232C COMMUNICATION SAMPLE PROGRAM ***"
PRINT "Type Command 'QUIT' to quit."
PRINT

REM *** Communication Port Initial & Open ***
REM Port 1,9600Bps,No parity,8 bit data,1 stop bit
OPEN "COM1:9600,N,8,1" FOR RANDOM AS #1 LEN = 256

REM *** Input Command & Send Command ***
SendCmd:
INPUT "Input Command ="; SEND$
IF SEND$ = "QUIT" THEN GOTO ProgEnd
PRINT #1, STX$ + SEND$ + ETX$

REM *** Wait for Receive Command ***
WHILE LOC(1) = 0
    WAITKEY$ = INKEY$
    IF WAITKEY$ = "Q" THEN PRINT "**** Quit ****": GOTO ProgEnd
WEND

REM *** Receive Command ***
RecvCmd:
RCV$ = INPUT$(1, #1)
IF RCV$ = STX$ THEN RCV$ = "[Stx]"
IF RCV$ = ACK$ THEN RCV$ = "[Ack]"
IF RCV$ = NAK$ THEN RCV$ = "[Nak]"
IF RCV$ = ETX$ THEN BUFFER$ = BUFFER$ + "[Etx]": GOTO DispOut
BUFFER$ = BUFFER$ + RCV$
GOTO RecvCmd

REM *** Output Receive Command ***
DispOut:
PRINT "Receive Command ="; BUFFER$
PRINT
BUFFER$ = ""
GOTO SendCmd

REM *** End Program ***
ProgEnd:
CLOSE
END
```

*Microsoft QuickBASICはマイクロソフト社の商標です。

SDTI インターフェイスボード

本機にSDTIインターフェイスボードAJ-YAC960P(別売品)を装着することにより、SDTIフォーマット*1(圧縮デジタルインターフェイス)を用いたデジタルデータの入出力が可能になります。

*1 SDTI(Serial Data Transport Interface)はSMPTE 305M準拠です。

SDTI上で伝送されるデータストリームフォーマットはSMPTE 321M準拠です。

SDTI/SDI 共用入力の使用方法

1. SDI入力として使用する場合

1-1 セットアップメニューNo.650(SER IN MODE)がMANUに設定されている場合
フロントパネルのINPUT SELECTスイッチでSDIを選択します。

1-2 セットアップメニューNo.650(SER IN MODE)がAUTOに設定されている場合
フロントパネルのINPUT SELECTスイッチでSDTIまたはSDIを選択します。
入力信号に応じて自動でSDIが選択されます。

2. SDTI入力として使用する場合

2-1 セットアップメニューNo.650(SER IN MODE)がMANUに設定されている場合
フロントパネルのINPUT SELECTスイッチでSDTIを選択します。

2-2 セットアップメニューNo.650(SER IN MODE)がAUTOに設定されている場合
フロントパネルのINPUT SELECTスイッチでSDTIまたはSDIを選択します。
入力信号に応じて自動でSDTIが選択されます。

2-3 タイムコードの選択

SDTI入力信号のタイムコードを選択する場合には、TC INT/EXTスイッチを「EXT」に設定し、セットアップメニューNo.505(EXT TC SEL)でVITCを選択します。

< ノート >

- 入力信号としてSDTIが選択された場合は、ビデオ、オーディオ信号ともにSDTI信号が選択されます。
- SDTI入力信号のビデオ、オーディオの調整はできません。VIDEO INPUT LEVEL表示は0dB固定になります。

SDTI/SDI 共用出力の使用方法

1. SDI出力として使用する場合

1-1 EEモード、DVCPRO50/DVCPROフォーマットテープ再生の場合
セットアップメニューNo.652(SER OUT1 SEL)をSDIに設定します。

1-2 DV/DVCAMフォーマットテープ再生の場合
セットアップメニューNo.652(SER OUT1 SEL)をSDIまたはAUTOに設定します。

2. SDTI出力として使用する場合

2-1 EEモード、DVCPRO50/DVCPROフォーマットテープ再生の場合
セットアップメニューNo.652(SER OUT1 SEL)をSDTIまたはAUTOに設定します。

2-2 DV/DVCAMフォーマットテープ再生の場合
セットアップメニューNo.652(SER OUT1 SEL)をSDTIに設定します。

< ノート >

- DV/DVCAMフォーマットのテープを再生した場合、SDTI出力はDV圧縮信号*1になります。
- SDTI出力信号のビデオ、オーディオの調整はできません。
- SLOW/STILL再生時には、SDTI出力として未処理のビデオ、オーディオ信号が出力されます。これらのビデオ、オーディオ信号を他の機器でモニターすると、本機で再生したビデオ、オーディオ信号と異なる場合があります。

*1 IEC61834-2準拠

2 倍速転送モードの使用方法

セットアップメニューNo.653(SDTI MODE)を「2X_P」に設定することにより、2倍速転送モードとなります。DVCPRO50/DVCPROテープを挿入してPLAYボタンを押すことにより、VTRは2倍速再生動作を行い、SDTIに2倍速信号が出力されます。

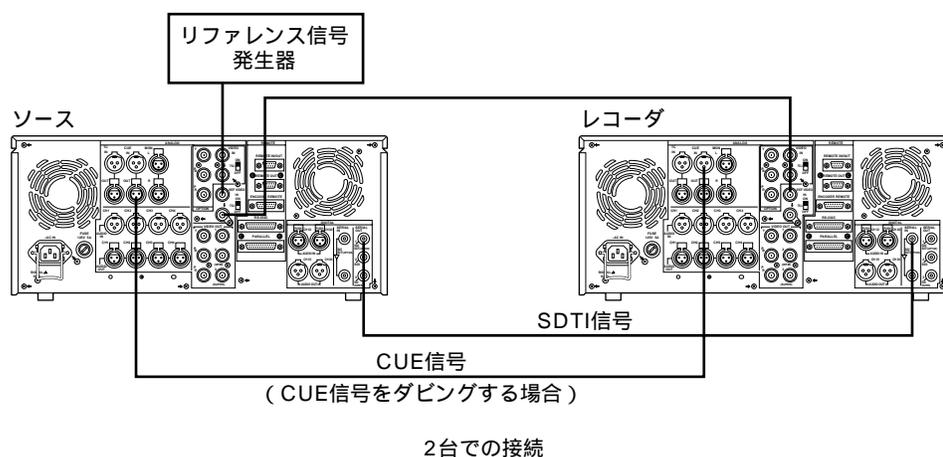
< ノート >

- セットアップメニューNo.653(SDTI MODE)の設定は、セットアップメニューNo.652(SER OUT1 SEL)が「SDTI」あるいは「AUTO」の設定の場合のみ有効になります。
- 2倍速転送モードでは、PLAYボタンを押すと常に2倍速再生動作を行い、1倍速での再生はできません。
- 2倍速転送モードでは、テープを挿入するとREC INHIBITランプが点灯し、記録動作は禁止されます。また、常にTAPEモードとなりEE画は出力されません。
- DV/DVCAMテープを挿入した場合は、セットアップメニューNo.653(SDTI MODE)の設定に関係なく、1倍速再生動作となります。

SDTI インターフェイスボード

SDTI を使用する場合のご注意

- SDTI入力信号が、セットアップメニューNo.012(SYS FORMAT)で選択されたDVCPRO50/DVCPROフォーマットの1倍速転送信号の場合のみ記録できます。ただし、通常の1倍速再生以外の再生信号を入力した時の記録およびEEの画像・音声は保証されません。
- SDTI入力信号のビデオ、オーディオ、タイムコードがすべてセットアップメニューNo.012(SYS FORMAT)で選択されたDVCPRO50/DVCPROフォーマットに準拠した正規のデータである場合にのみ編集動作が可能です。
- CUE信号はSDTIでは伝送されません。CUE信号をダビングする場合は、CUE信号用に別途ケーブルを接続してください。この場合、セットアップメニューNo.726(REC CUE)による選択は無効になり、CUE入力固定になります。
- DV/DVCAMフォーマットで記録されたテープをSDTIダビングすることはできません。DV/DVCAMフォーマットで記録されたテープをダビングする場合にはSDIを使用してください。



コネクタの信号

VIDEO IN

SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 2	アクティブスルー
Y、P _B 、P _R (ANALOG)	BNC × 3	(ボード オプション)
VIDEO IN	BNC × 2	ループスルー75Ω終端スイッチ付 (ボード オプション)
REF VIDEO IN	BNC × 2	ループスルー75Ω終端スイッチ付

VIDEO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3
Y、P _B 、P _R (ANALOG)	BNC × 3
VIDEO OUT	BNC × 3

AUDIO IN

SERIAL IN (DIGITAL)	BNC × 2	アクティブスルー
AUDIO IN (DIGITAL)	XLR × 2	CH1/CH2、CH3/CH4 AES/EBU フォーマット
AUDIO IN (ANALOG)	XLR × 4	CH1、CH2、CH3、CH4
CUE IN	XLR × 1	
TIME CODE IN	XLR × 1	

ピンNo.	内容
1	GND
2	HOT
3	COLD

AUDIO OUT

SERIAL OUT (DIGITAL)	BNC × 3	
AUDIO OUT (DIGITAL)	XLR × 2	CH1/CH2、CH3/CH4 AES/EBU フォーマット
AUDIO OUT (ANALOG)	XLR × 4	CH1、CH2、CH3、CH4
CUE OUT	XLR × 1	
TIME CODE OUT	XLR × 1	
MONITOR OUT	XLR × 2	L/R
HEADPHONES(フロント) M6		

RS-422A REMOTE (9P)

REMOTE IN/OUT

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	RECEIVE COMMON	7	TRANSMIT B
2	TRANSMIT A	5		8	RECEIVE A
3	RECEIVE B	6	TRANSMIT COMMON	9	FRAME GROUND

REMOTE OUT

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	FRAME GROUND	4	TRANSMIT COMMON	7	RECEIVE B
2	RECEIVE A	5		8	TRANSMIT A
3	TRANSMIT B	6	RECEIVE COMMON	9	FRAME GROUND

コネクタの信号

PARALLEL REMOTE (25P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1	PLAY COMMAND	10		19	STNAD BY ON STATUS
2	STOP COMMAND	11		20	PREROLL STATUS
3	FF COMMAND	12	+10V以上、MAX 300mA	21	SERVO LOCK STATUS
4	REW COMMAND	13	PLAY STATUS	22	OPERATION ENABLE STATUS
5	REC COMMAND	14	STOP STATUS	23	
6	EJECT COMMAND	15	FF STATUS	24	
7	STAND BY COMMAND	16	REW STATUS	25	GND
8	PREROLL COMMAND	17	REC STATUS		
9	IN SET COMMAND	18	EJECT STATUS		

< ノート >

- COMMANDはTTLレベル、アクティブLOW エッジは100msec以上の電気信号を入力してください。
- STATUSはオープンコレクタ、シンク電流はMax.6mAで出力されます。

RS-232C REMOTE (D-SUB 25 ピン、クロスケーブル対応)

ピンNo.	略号	回路名称	内容
1	FRANE GROUND	保安用接地	フレームグランド
2	RxD	受信データ	PCへデータを送信する
3	TxD	送信データ	PCからデータを受信する
4	CTS	送信可	5番ピンと短絡
5	RTS	送信要求	4番ピンと短絡
6	DTR	データ端末レディ	未処理
7	GND	信号用接地	信号用GND
20	DSR	データセットレディ	通信可能状態後正電力出力

ENCODER REMOTE (15P)

ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容	ピンNo.	信号内容
1		6	SYSTEM H 0	11	RET GND
2	SET UP	7	SYS. SC COARSE (2)	12	
3	C LEVEL	8	- 12V	13	
4	GND	9	HUE	14	SYS. SC FINE
5	+12V	10	VIDEO LEVEL	15	SYS. SC COARSE (1)

定 格

[総合]

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	270 W (オプション未挿入時 230 W)

動作周囲温度	5 ~ 40
動作周囲湿度	10% ~ 90% (結露なし)
重量	19 kg
外形寸法	424(幅) × 175(高さ) × 415(奥行き)mm(セット足、ジャック、JOGダイヤルを除く)
記録フォーマット	DVCPRO50/DVCPROフォーマット切換
記録ビデオ信号	525i/625i切換
記録オーディオ信号	DVCPRO50 : 48 kHz 16bit 4CH DVCPRO : 48 kHz 16bit 2CH
記録トラック	デジタルビデオ・オーディオ : ヘリカルトラック タイムコードはサブコード領域に記録 キュートラック : 1トラック コントロールトラック : 1トラック
テープ速度	67.640 mm/秒(525i) 67.708 mm/秒(625i)
記録時間	92分(AJ-5P92LP使用時) 33分(AJ-5P33MP使用時)
使用テープ	メタルテープ
早送り/巻戻し時間	3分以内(AJ-5P92LP使用時) 2分以内(AJ-5P33MP使用時)
デジタルスロー	DVCPRO50/DVCPRO : -1 ~ +2倍速 DV/DVCAM : -1 ~ +1倍速
編集精度	±0フレーム(タイムコード使用時)
テープタイマー精度	±1フレーム(連続CTL信号使用時)
サーボロック時間	0.5秒以内(カラーフレンジング/スタンバイON)

[ビデオ]

デジタルビデオ	
サンプリング周波数	525i/625i : Y ; 13.5 MHz/P _B , P _R ; 6.75 MHz(DVCPRO50)
量子化	8 bits
ビデオ圧縮方式	DCT + 適応量子化 + 可変長符号化
ビデオ圧縮比率	DVCPRO50 : 1/3.3 DVCPRO : 1/5
エラー訂正	リードソロモンプロダクトコード
ビデオ記録再生ビットレート	DVCPRO50 : 50 Mbps DVCPRO : 25 Mbps
デジタル入力-アナログコンポーネント出力ビデオ	
映像帯域	525i : Y ; 30 Hz ~ 5.5 MHz (±0.5 dB)、5.75 MHz (-2.0 dB) P _B , P _R ; 30 Hz ~ 2.5 MHz (±0.5 dB)、2.75 MHz (-2.0 dB) 625i : Y ; 25 Hz ~ 5.5 MHz (±1.0 dB)、5.75 MHz (-2.0 dB) P _B , P _R ; 25 Hz ~ 2.5 MHz (±1.0 dB)、2.75 MHz (-2.0 dB)
S/N比	60 dB以上
Kファクター	1%以下
Y/P _B , P _R ディレイ	10 nsec以下
ビデオ入力端子	
アナログコンポーネント入力(オプション)	BNC × 3 (Y, P _B , P _R) Y : 1.0 Vp-p、75Ω P _B , P _R : 0.525/0.757 Vp-p切換、75Ω (75%カラーバー、0%セットアップ)
アナログコンポジット入力(オプション)	BNC × 2、ループスルー、75ΩON/OFF切換
リファレンス入力	アナログコンポジット、BNC × 2、ループスルー、75ΩON/OFF切換
シリアルデジタルコンポーネント入力	SMPTE259M-C規格に準拠 BNC × 2、アクティブスルー
SDTI入力(オプション)	SMPTE305M / 321M規格に準拠 BNC × 2、アクティブスルー(SDI入力端子共用)

定 格

ビデオ出力端子	
アナログコンポーネント出力	BNC × 3 (Y, P _B , P _R) Y : 1.0 Vp-p、75Ω P _B , P _R : 0.525/0.757 Vp-p切換、75Ω (75%カラーバー、0%セットアップ)
アナログコンポジット出力	BNC × 3、ビデオ 1、ビデオ 2(ビデオ/WFM切換可)、ビデオ 3(スーパーON/OFF)
シリアルデジタルコンポーネント出力	BNC × 3、SMPTE259M-C規格に準拠 SDI 1、SDI 2、SDI 3(スーパーON/OFF)
SDTI出力(オプション)	BNC × 1、SMPTE305M/321M規格に準拠(SDI1出力端子共用)
ビデオ調整範囲	
コンポジットビデオ入力信号	± 3 dB
ビデオ出力ゲイン	± 3 dB
ビデオ出力クロマゲイン	± 3 dB
ビデオ出力クロマ位相	± 30°
ビデオ出力セットアップ	± 14 IRE
ビデオ出力シンク位相	± 15 μsec
ビデオ出力SC位相	± 180°
[オーディオ]	
デジタルオーディオ	
サンプリング周波数	48 kHz (ビデオに同期)
量子化	16 bits
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz ± 1.0 dB (基準レベルにて)
ダイナミックレンジ	90 dB以上 (1 kHz、エンファシスOFF、“A” weighted)
歪率	0.05%以下 (1 kHz、エンファシスOFF、基準レベル)
クロストーク	- 80 dB以下 (1 kHz、2チャンネル間)
ワウ&フラッター	測定限界値以下
ヘッドルーム	525i : 20 dB 625i : 18 dB
エンファシス	T1 = 50 μsec、T2 = 15 μsec (ON/OFF 切換可能)
キュートラック	
周波数特性	300 Hz ~ 6 kHz ± 3.0 dB
オーディオ入力端子	
アナログ入力(CH1/CH2/CH3/CH4)	XLR × 4、600Ω/Highインピーダンス切換可能(600Ωで出荷) + 4/0/- 20 dBm切換可能
デジタル入力(CH1/CH2、CH3/CH4)	XLR × 2、AES/EBUフォーマット
シリアルデジタル入力	SMPTE259M-C/272M-A規格に準拠 (BNC、75Ω)
キュートラック入力	XLR × 1、600Ω/Highインピーダンス切換可能(600Ωで出荷) + 4/0/- 20/- 60 dBm切換可能
オーディオ出力端子	
アナログ出力(CH1/CH2/CH3/CH4)	XLR × 4、Lowインピーダンス、+ 4/0/- 20 dBm(600Ω負荷時)切換可能
デジタル出力(CH1/CH2、CH3/CH4)	XLR × 2、AES/EBUフォーマット
シリアルデジタル出力	SMPTE259M-C/272M-A規格に準拠 (BNC、75Ω)
キュートラック出力	XLR × 1、Lowインピーダンス、+ 4/0/- 20 dBm(600Ω負荷時)切換可能
モニター出力	XLR × 2、Lowインピーダンス、+ 4/0/- 20 dBm(600Ω負荷時)切換可能
ヘッドホン出力	M6、8Ω、レベル可変
[その他入出力信号]	
タイムコード入力	XLR × 1、0.5 ~ 8 Vp-p、10 kΩ
タイムコード出力	XLR × 1、Lowインピーダンス、2.0 ± 0.5 Vp-p(600Ω負荷時)
RS-422A入力	D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース
RS-422A出力	D-sub 9pin、RS-422Aインターフェース
RS-232C	D-sub 25pin、RS-232Cインターフェース
パラレル入出力	D-sub 25pin
エンコーダリモート	D-sub 15pin

松下電器産業株式会社 放送システム事業部

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

VQT8387

S1299H1030-100 ④